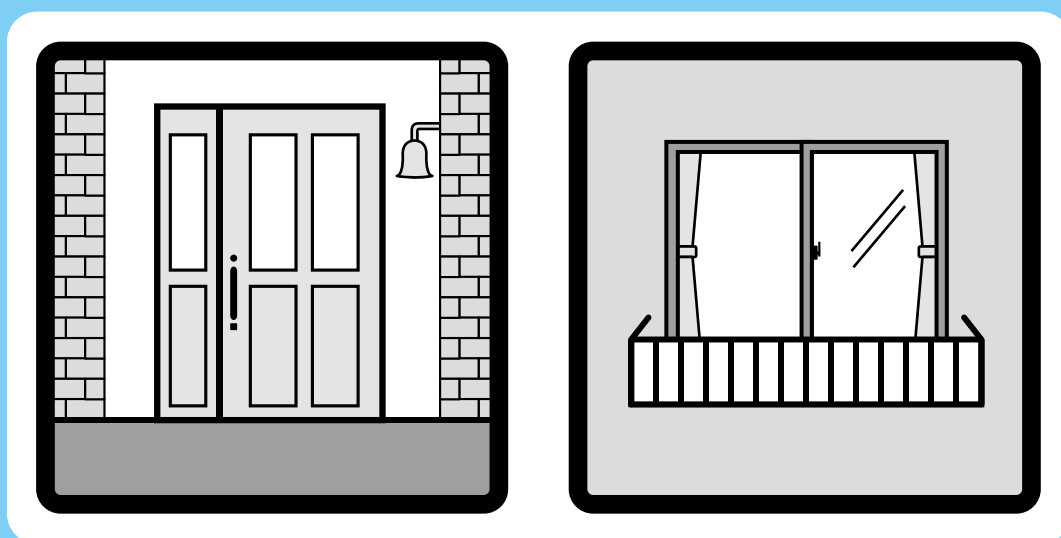
お施主様用保存版

お施主様・使用者様向け取扱説明書

使い方＆お手入れ ガイドブック

● 窓・ドア・窓まわり編 ●

YKK AP商品を長く安全にお使いいただくために、正しい操作方法・適切なお手入れ方法・使用上の注意点・お願い・商品保証などを掲載しています。説明をよくお読みいただき、保管くださいますようお願いいたします。

販売店・工務店・建築会社の皆様へ

この取扱説明書は施工後必ず、お施主様へお渡しください。

目　次

■ 第1章　安全にお使いいただくために ········ P. 1
■ 第2章　窓の種類 ········ P. 3
■ 第3章　商品の特長／商品の使い方

1．引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓 ········ P. 5
2．シャッター(手動タイプ) ········ P. 8
3．内部操作シャッター ········ P.11
4．雨戸 ········ P.12
5．たてすべり出し窓 ········ P.13
6．上げ下げ窓 ········ P.17
7．オーニング窓 ········ P.19
8．ガラスルーバー窓 ········ P.20
9．すべり出し窓 ········ P.21
10．内倒し窓 ········ P.24
11．外倒し窓 ········ P.25
12．平行突出し窓 ········ P.26
13．ダブルハング換気窓 ········ P.27
14．出窓 ········ P.28
15．天窓 ········ P.29
16．高所用窓 ········ P.30
17．ブラインド入複層ガラス ········ P.31
18．装飾格子 ········ P.32
19．玄関ドア ········ P.33
20．玄関引戸・土間引戸 ········ P.39
21．勝手口ドア ········ P.41
22．勝手口引戸 ········ P.43
23．目隠し ········ P.44
24．フラワーボックス ········ P.45
25．窓手すり ········ P.46

■ 第4章　お手入れ方法 ········ P.47
■ 第5章　知っていただきたい現象 ········ P.82
■ 第6章　困った時には ········ P.86
■ 第7章　窓の性能 ········ P.94
■ 第8章　安全に関するポイント ········ P.96
■ 第9章　保守点検 ········ P.99
■ 第10章　商品の保証について ········ P.100

第1章　安全にお使いいただくために

● 安全にお使いいただくために・・・

1. 窓、ドア、引戸、網戸の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ちゆっくりと行ってください。
2. 窓、ドア、引戸、網戸の取りはずしや、調整などを行う前に、必ずこの取扱説明書を読んで正しい操作を行ってください。
3. 窓や網戸の取りはずしや取付け、調整などを行う際は、周囲に人がいないことを確認し安全に十分注意して行ってください。
4. 窓、ドア、引戸をしっかり閉め、確実に錠をかけてください。施錠後は、錠がかかっていることを確認してください。
5. 窓、ドア、引戸、網戸に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。
6. 長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみが発生することがあります。商品のねじ部品がはずれたり、ゆるんでいないか時々点検してください。（第9章 保証点検（P.99）もご参照ください。）

● 安全に関するポイント～けがの防止

窓やドア／引戸などは日常、何気なく使用していると思いますが、ちょっとの不注意がけがにつながることがあります。日常生活の中でご注意していただきたいポイントを以下にご紹介しますので、家庭内でのけが防止の参考にしてください。（第8章　安全に関するポイント（P.96）もご参照ください。）

●はさむ

・窓、ドア、引戸、網戸の開閉にあたっては必ず引手やハンドルを持って操作してください。
・窓、ドア、引戸、網戸のすき間に絶対に手や指を置かないでください。

手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

・窓や網戸は勢いよく開閉しないでください。

手や指をはさんで大けがをするおそれがあります。窓の破損につながるおそれがあります。

●ぶつかる

・窓、ドア、引戸、網戸のお手入れをするときには、端部や部品のかどにご注意ください。

窓、ドア、引戸、網戸の端部や部品のかどに手をぶつけてけがをするおそれがあります。

・窓のそばを通る時は、開いている窓にご注意ください。

開いている窓にぶつかり、けがや窓の破損につながるおそれがあります。

第1章 安全にお使いいただくために

●落ちる

・お手入れなどで、窓や網戸をはずし、再び取付けるときは、表示ラベルにしたがってはずれ止め部品を必ずかけてご使用ください。
・ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

はずれ止め部品が正しくかかっていないと窓がはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・窓、ドア、引戸に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。

窓、ドア、引戸の破損や脱落・転落・転倒によるけがのおそれがあります。

・網戸に寄りかかるなど、荷重をかけないでください。
網戸の破損や急に網戸がはずれて転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
(網戸は防虫を目的としていますので、人の転落防止効果はありません。)

・お手入れなどで、窓から身を乗り出さないでください。

バランスをくずし、転落するおそれがあります。

● 安全に関する表示について・・・

人身事故や財産上の損害を未然に防止するために守っていただきたい内容を示しています。
内容をご理解のうえ、商品をご使用ください。

表　示		意　味
⚠警告		取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険の発生が想定されることを示します。
⚠注意		取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
	!	「必ず行ってもらうこと」を示します。
	⃠	「してはいけないこと」を示します。
お願い		指示に従わないと、使用者が損傷を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。

その他の表示

一読	「ご使用前に読んでいただきたいこと」を示します。

※デザイン、仕様などは商品改良のため、予告なく変更する場合があります。

商品の特長【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

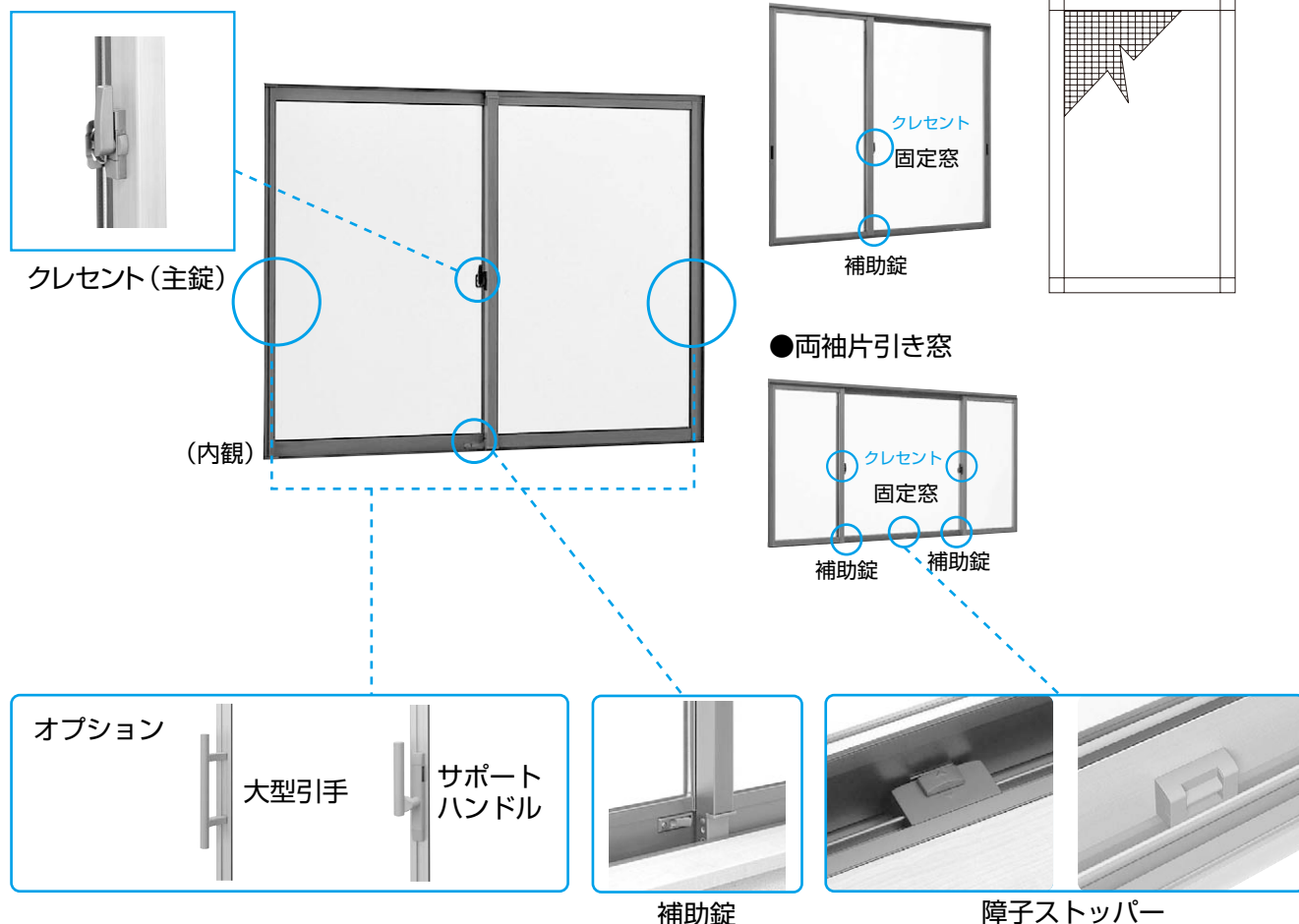
● 商品の特長

・左右にスライドして開閉する窓です。
・クレセント（主錠）は、無締りに配慮した空掛け防止機能が付いています。
・クレセント（主錠）と補助錠をあわせてお使いいただくことで、より防犯性が高まります。

● ご使用上の注意

⚠ 注 意

- 窓は、ご使用中にはずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 網戸は、ご使用中にはずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

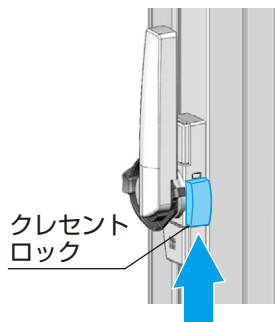
・外出時や就寝時には必ず窓を閉め、クレセント（主錠）だけでなくクレセントロックや補助錠も必ず施錠してください。

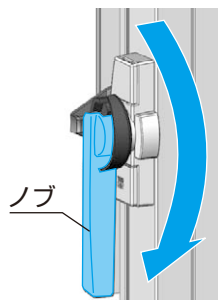
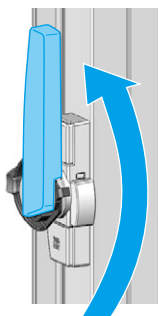
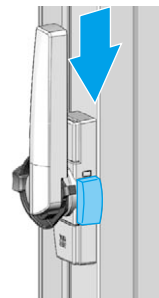
商品の使い方【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

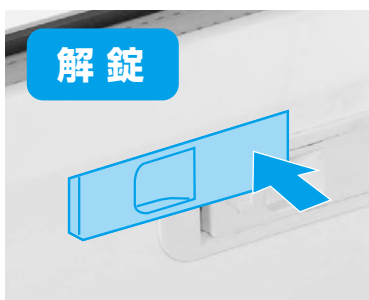
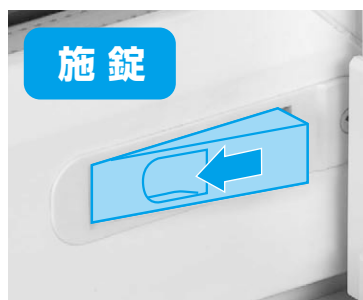
● クレセント（主錠）の操作方法

・クレセント（主錠）の操作はノブをつかみ、ゆっくりと確実に行ってください。
可動部に、はさまりけがをするおそれがあります。

解 錠

①クレセントロックを上げる

②ノブを下にまわす

施 錠

①窓を閉め、ノブを上にまわす

②クレセントロックを下げる

※窓が開いている状態では空掛け防止機能が働きノブはまわりません。

● 補助錠の操作方法

・飛び出した補助錠を押す

・補助錠に指をかけて引く

● 障子ストッパーの操作方法（片引き窓・両袖片引き窓共通）

・固定窓を開ける場合は、障子ストッパーが解錠されていることを必ず確認してください。無理に動かすと部品破損や下枠破損につながるおそれがあります。
・固定窓を開けない時は必ず障子ストッパーを施錠してください。

「フレミンフJ」の場合

「エイピアJ」・「エピソード」の場合

解錠
施錠

第3章 商品の使い方【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

● 窓の開閉方法

・ガラスなど引手以外で窓の開閉操作はしないでください。

開け方

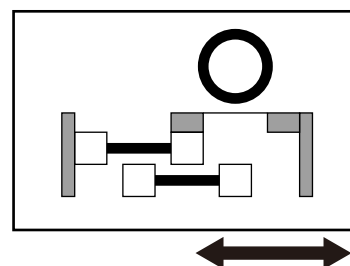
①補助錠を解錠する
②クレセント（主錠）を解錠する
③引手に指をかけ、静かに開けたい位置までスライドさせる

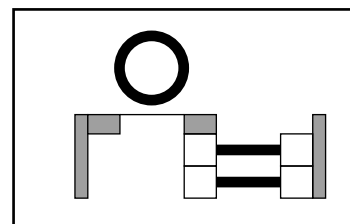
閉め方

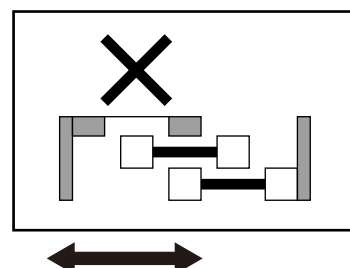
①引手に指をかけ、最後まで閉める
②クレセント（主錠）を施錠する
③窓が開かないことを確認する
④補助錠を施錠する

● 引違い窓用網戸の操作方法

・大きな網戸は、網戸があることに気付かず網戸に衝突する場合があります。衝突防止のために網戸の存在を目立たせる網戸用サインプレート（オプション）を貼るなどの配慮をお願いします。
・網戸のご使用中でもまれに虫が侵入する場合があります。虫の大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできません。

・引違い窓の網戸を室内側から見て右側で使用する場合
①室内側から見て右側の窓を開ける
②網戸を右側に最後まで閉める

※右側の窓で換気量の調整ができます

・引違い窓の網戸を室内側から見て左側で使用する場合
①室内側から見て左側の窓を全開にする
②網戸を左側に最後まで閉める

※換気量の調整はできません。
換気量調整のため左側の窓を動かすと、窓と網戸の間にすきまができ、網戸としての機能を十分に発揮できません。

商品の特長【シャッター（手動タイプ）】

※電動商品の場合は、商品付属の取扱説明書（お施主様保存版）をご覧ください。

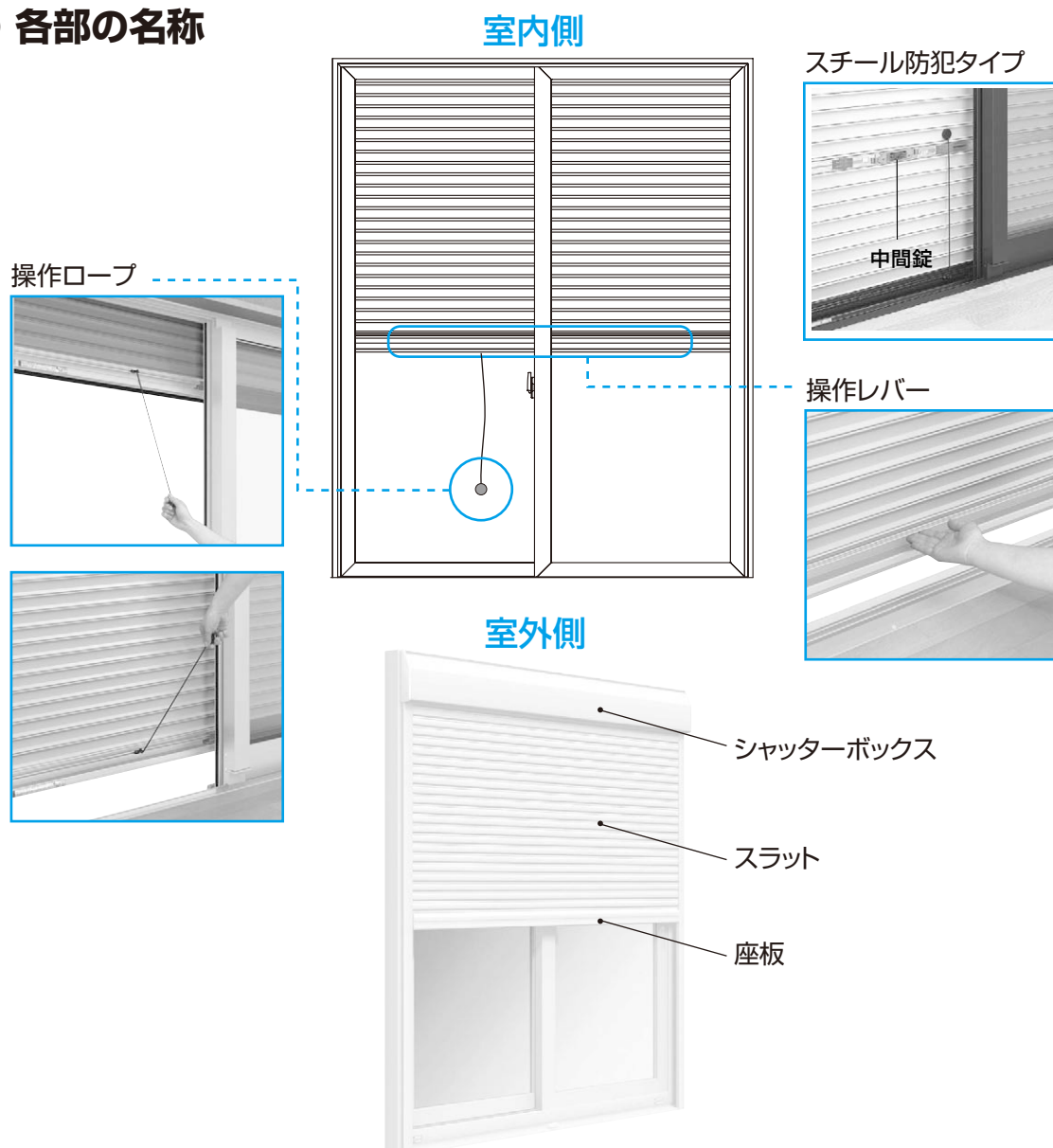
● 商品の特長（手動）

・手動でシャッターの開閉ができます。
・操作ロープで高い位置にあるシャッターを閉めることができ、低い位置でも立ったまま操作できます。
・シャッターを閉めきると、自動的にロックがかかります。
・内側の窓とあわせて施錠することで防犯性が高まります。

● ご使用上の注意

お願い

・シャッターを閉める際は、開閉位置に手や足を出さないでください。また周りに人や物がないことを確認してください。手や足をはさまれけがをするおそれがあります。
・強風雨時にはシャッターだけではなく内側の窓も閉めて、必ず施錠してください。
シャッターの破損による事故や漏水につながります。
・シャッターボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。
無理な重さをかけると、変形して転落によりけがをするおそれがあります。

● 各部の名称

第3章 商品の特長／商品の使い方【シャッター（手動タイプ）】

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

- 防犯のためシャッター内側の窓は必ず施錠してください。
- シャッターが凍結した場合、解けるまで開閉操作しないでください。無理な操作は、故障につながります。
- 左右の片寄りを防ぐため、座板の中央付近を持って開閉してください。
- 雨などで濡れている場合、水滴が落ちることがありますので、ゆっくり開閉してください。
- シャッターを閉めても外からの光を完全にさえぎることはできません。必要に応じて遮光カーテンなどの併用をお願いします。
- 窓用シャッターの使用を続けていると、部品の摩耗や劣化により開閉異常が生じることがあります。継続的にご使用していただくために、定期的な点検をお願いします。

● シャッターの開閉方法

- 操作ロープをご使用の際は、操作ロープを巻き込まないようにご注意ください。
  全開時には、操作ロープをシャッターに付けずに下げておいてください。

開け方

操作レバーの場合

①操作レバーに手を掛けて持ち上げ、解錠する
②座板の中央付近に手をかけて持ち上げる

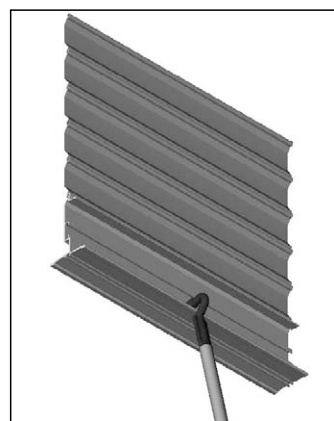
操作ロープの場合

①操作ロープを引き上げて、解錠する
②そのまま操作ロープを引き上げる

閉め方

①座板または操作ロープを持ち引き下げる
②下枠とシャッターの間に操作ロープをはさまないように注意してシャッターを閉めきる

③閉めた後、操作ロープは、スラットに貼り付ける

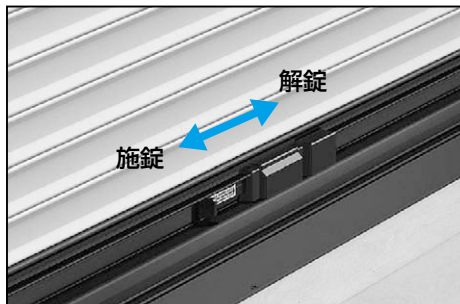
フック棒（別売品）を使った場合

座板のヒレに引っかけてご使用ください

※自動的に施錠されます。
（但し、内外錠付座板、土間引戸用シャッター、スチール防犯タイプの中間錠は除く。）

● 錠の操作方法

•内外錠付座板の場合

■室外からの操作

シリンダー錠に専用キーを差し込み矢印方向にまわしてください。

■室内からの操作

操作レバーを矢印方向に動かしてください。

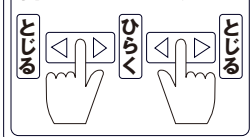
•土間引戸用シャッターの場合

■室外からの操作

シリンダー錠に専用キーを差し込み矢印方向にまわしてください。

■室内からの操作

ツマミを矢印方向にまわしてください。

•中間錠の場合（スチール防犯タイプ）

解　錠

①中間錠のツマミを押しながら中央へスライドする

②施錠されていることを確認する

施　錠

①中間錠のツマミを押しながら左右へスライドする

②施錠されていることを確認する

第3章 商品の特長／商品の使い方【内部操作シャッター】

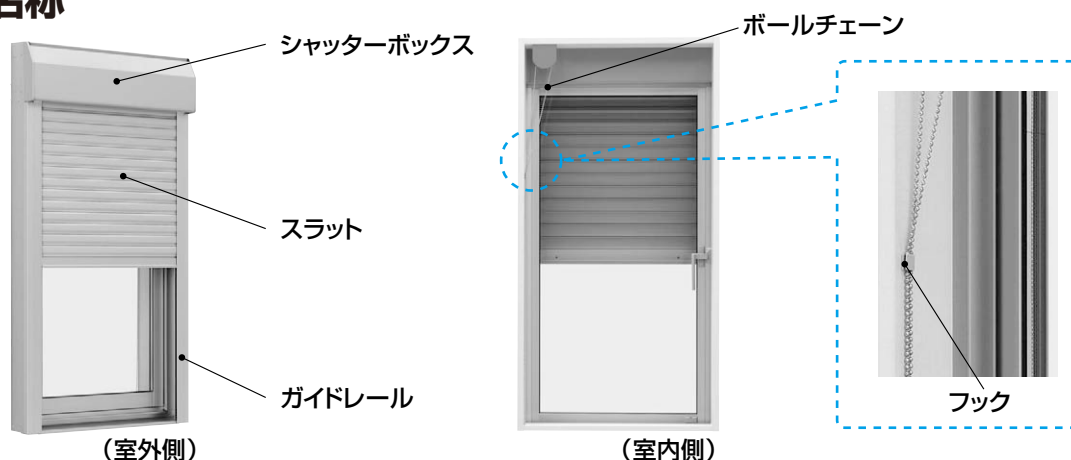
● 商品の特長

・窓を開けずに室内からボールチェーンを操作して開閉できるシャッターです。

● ご使用上の注意

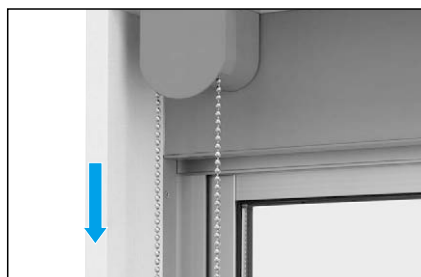
お願い

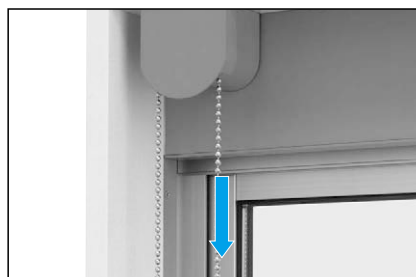
・シャッターを閉める際は、開閉位置に手や足を出さないでください。また周りに人や物がないことを確認してください。手や足をはさまれけがをするおそれがあります。
・強風雨時にはシャッターだけではなく内側の窓も閉めて、必ず施錠してください。
シャッターの破損による事故や漏水につながります。
・シャッターボックスに乗ったり、はしごをかけたりしないでください。
無理な重さをかけると、変形して転落によりけがをするおそれがあります。
・シャッターを操作しないときは、ボールチェーンをコードフックにかけてください。ボールチェーンを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・防犯のためシャッター内側の窓は必ず施錠してください。
・シャッターが凍結した場合、解けるまで開閉操作しないでください。無理な操作は故障につながります。
・雨などで濡れている場合、水滴が落ちることがありますので、ゆっくり開閉してください。
・シャッターを閉めても外からの光を完全に防ぐことはできません。遮光カーテンなどの併用をお願いします。
・窓用シャッターの使用を続けていると、部品の摩耗や劣化により開閉異常が生じることがあります。継続的にご使用していただくために、定期的な点検をお願いします。

● シャッターの開閉方法

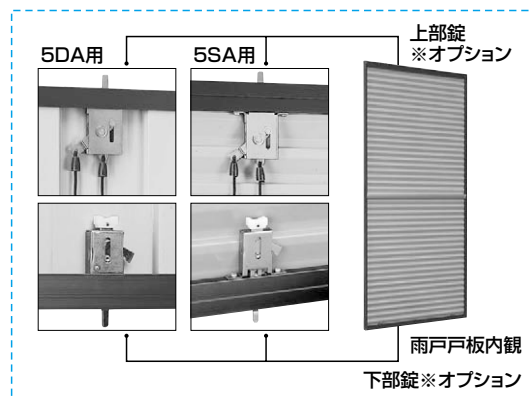
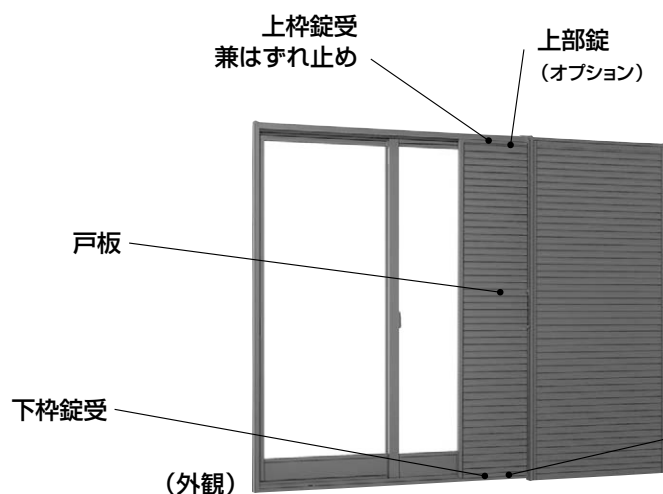
開け方

①ボールチェーンをフックからはずす
②室内側から見て左側のボールチェーンを引いて
　スラットを巻き上げる
③ボールチェーンをフックにかける

閉め方

①ボールチェーンをフックからはずす
②室内側から見て右側のボールチェーンを引いて
　スラットを下げる
③ボールチェーンをフックにかける

第3章 商品の特長／商品の使い方【雨戸】

● 商品の特長

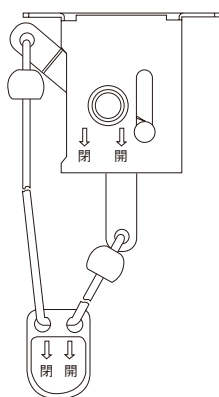
・雨戸は、防犯、防雨、防風などの目的で開口部の外側に設ける建具です。
・断熱材を入れた断熱性や防音性に優れた雨戸もあります。

● 各部の名称

▶ 引違い窓の使い方については（P.5）をご覧ください。

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・防犯のため、雨戸内部の窓は必ず施錠してください。

● 錠の操作方法（オプション）

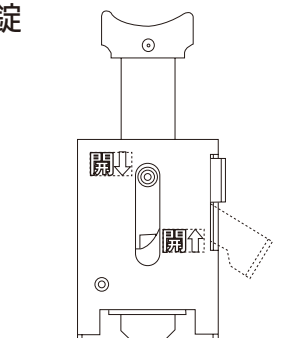
・上部錠

解　錠

・操作レバー（開）を引く

施　錠

・操作レバー（閉）を引く

・下部錠

解　錠

・操作レバー（開）を上に押し上げる

施　錠

・操作レバー（閉）を押し込む

第3章 商品の特長【たてすべり出し窓】

● 商品の特長

・窓を室外側に開き、開閉する窓です。
・ハンドル(主錠)で施錠・解錠ができます。
・全開すると窓が90°まで開き、室内から窓の外側を清掃することができます。

● ご使用上の注意

お 願 い

・開閉時、たてすべり出しアームに手や指をはさまないよう、ご注意ください。
・風の強い時は窓を閉め、必ず施錠してください。施錠しないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

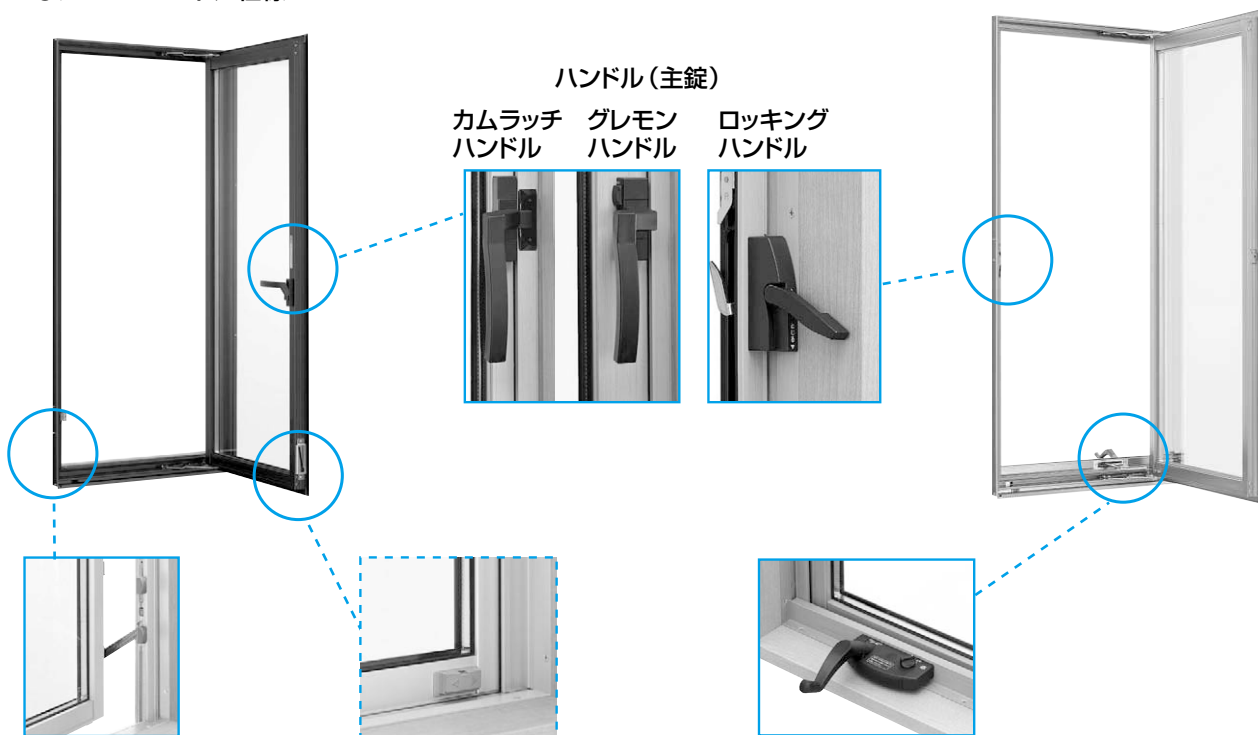
● 各部の名称

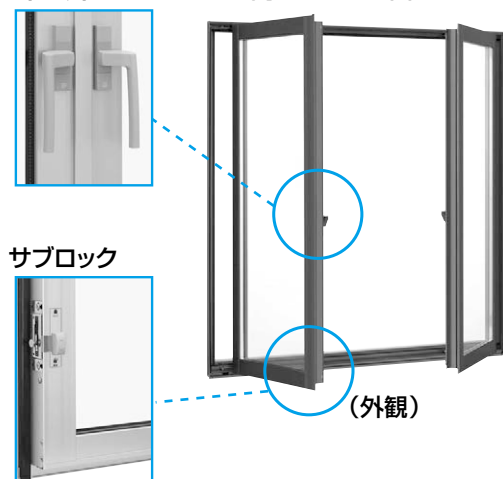
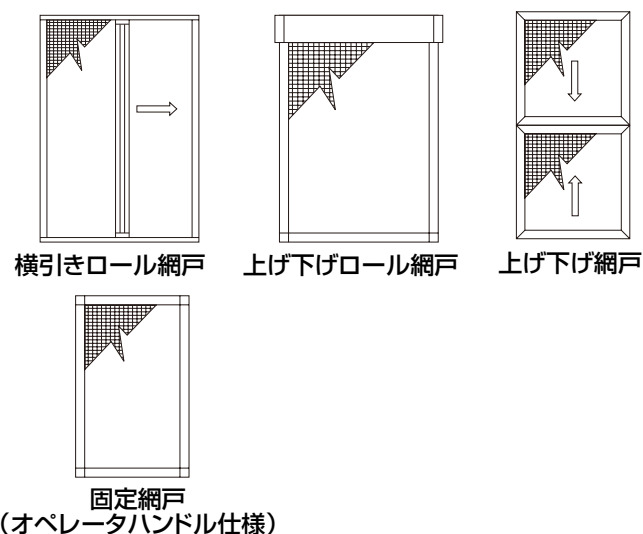
●カムラッチハンドル仕様
●グレモンハンドル仕様

ハンドル(主錠)
カムラッチハンドル
グレモンハンドル
ロッキングハンドル

●オペレータハンドル仕様

●網戸(オプション)

横引きロール網戸
上げ下げロール網戸
上げ下げ網戸
固定網戸(オペレータハンドル仕様)

グレモンハンドル(主錠)

●両たてすべり出し窓

(外観)

サブロック

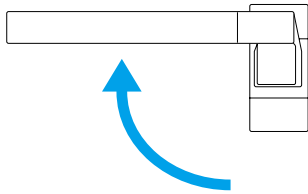
商品の特長【たてすべり出し窓】

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

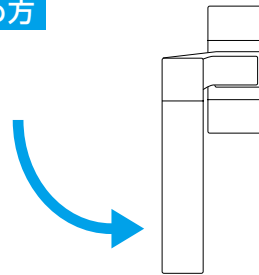
・窓の開閉は、解錠状態にして、静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、窓や部品を破損するおそれがあります。
・外出時や就寝時には必ず窓を閉め、ハンドル（主錠）を施錠してください。
・両たてすべり出し窓は、必ず室内から見て左側の窓から閉めてください。

● 窓の開閉方法

カムラッチハンドル・グレモンハンドルの場合

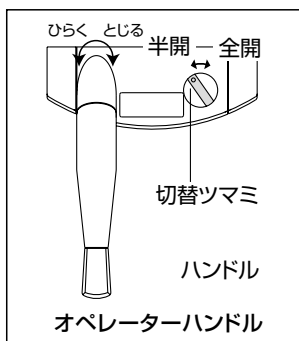
開け方

ハンドルを【ヨコ】にすると解錠

①ハンドルを90°まわして解錠する
（ハンドルは【ヨコ】）
②ハンドルを【ヨコ】解錠状態にしたまま、
窓を室外側へ押出して開く

閉め方

ハンドルを【タテ】にすると施錠

①ハンドルを【ヨコ】解錠状態にしたまま、
窓を室内側へ引く
②窓を完全に閉めてから、ハンドルを
90°まわして施錠する(ハンドルは【タテ】)
③窓が開かないことを確認する

オペレーターハンドルの場合

・窓を閉めたときは、ロッキングハンドルを必ず施錠してください。
施錠しないと雨水やすきま風が入ることがあります。
・窓を閉めるときは、オペレーターハンドルをゆっくりとまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

開け方

ロッキングハンドル

①ロッキングハンドルを
上げ解錠する
②オペレーターハンドル
の切替ツマミにて、全
開半開の選択をする
③オペレーターハンドル
を「ひらく」の方向に
回す

閉め方

ロッキングハンドル

①オペレーターハンド
ルを「とじる」の方向
に回す
②窓を閉めた後、ロッキ
ングハンドルを下げ
施錠する

● オペレーターハンドルの全開・半開設定方法

全開に設定

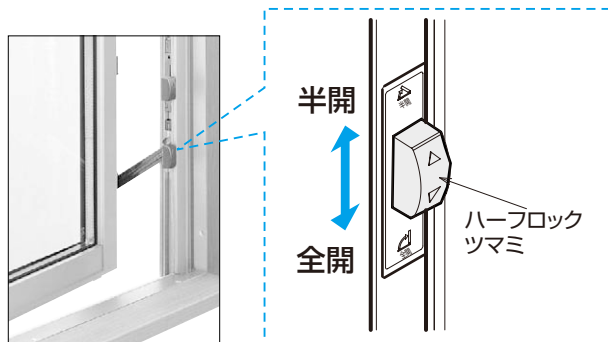
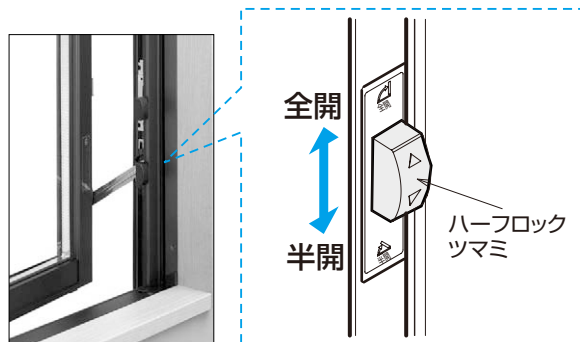
①窓を完全に閉める
②オペレーターハンドルの切替ツマミを「半開」の位置から「全開」の位置に切替える
※全開に設定すると、90°まで開きます。

半開に設定

①窓を完全に閉める
②オペレーターハンドルの切替ツマミを「全開」の位置から「半開」の位置に切替える
※半開に設定すると、ストップ機構が働き、一定以上開きません。

● ハーフロックの操作方法（ハーフロック付きの場合）

・ハーフロックには防犯機能はありません。
・外出時や就寝時には必ずハンドル(主錠）を施錠してください。

「フレミングJ」「エイピアJ」の場合

「エピソード」の場合

全開に設定

①窓を完全に閉める
②ハーフロックツマミを「半開」の位置から「全開」の位置に切替える
※全開に設定すると、90°まで開きます。

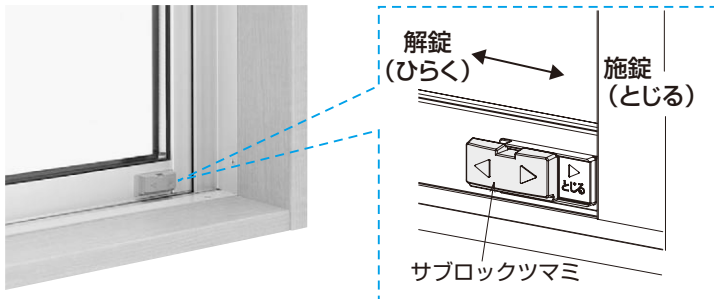
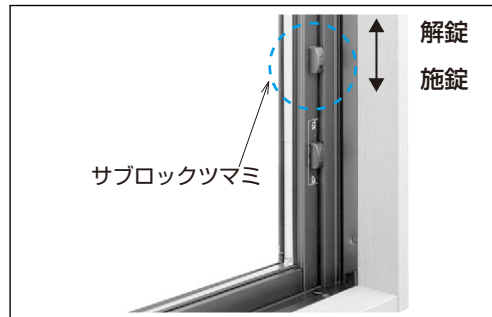
半開に設定

①窓を完全に閉める
②ハーフロックツマミを「全開」の位置から「半開」の位置に切替える
※半開に設定すると、ストップ機構が働き、一定以上開きません。

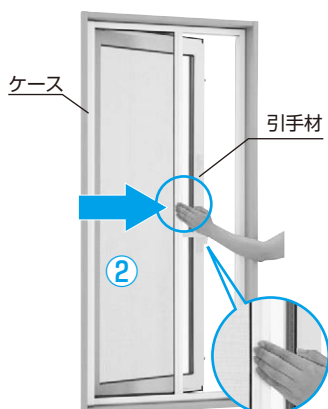
● サブロックの操作方法（サブロック付きの場合）

・ハンドル（主錠）を施錠するときは、サブロックも必ず施錠してください。
・サブロックツマミは、窓を閉めて操作してください。

※サブロックツマミを操作して施錠・解錠できます。

「フレミングJ」たてすべり出し窓
「エイピアJ」たてすべり出し窓の場合

「エピソード」たてすべり出し窓
両たてすべり出し窓（共通）の場合

● 横引ロール網戸の操作方法

- 窓を閉じた状態で網戸を引き出すと引手材にハンドルが当たりますので、必ず窓を開けた状態で網戸を引き出してください。
- 網戸は自動で収納されますので、引手材とケースに手をはさまないようにご注意ください。
- 網戸を収納するときは、ネットがスムーズに巻き取られるようにしてください。
  ネットが最後まで巻き取られなかった場合は、無理に手で押し込もうとせずに 2 ～ 3 回開閉し、ネットを巻き直してください。
- ネットを手で無理に押し込むとネットが折れてくせがつき、十分に巻き取られなくなる場合があります。

開け方

①窓を開ける
②引手材の中央付近を持ち、網戸を引き出す
③網戸を全閉にする
※引手材は自動的に固定されます。

閉め方

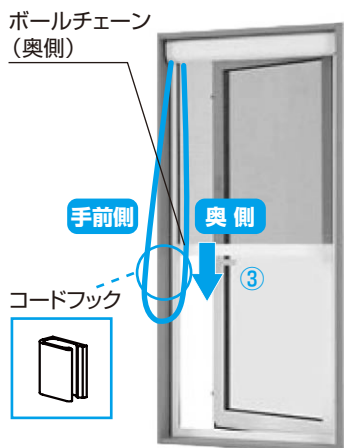
①解除ツマミを矢印の方向に押し上げ解除する
※固定されていた引手材が解除され、網戸が自動的に収納されます。

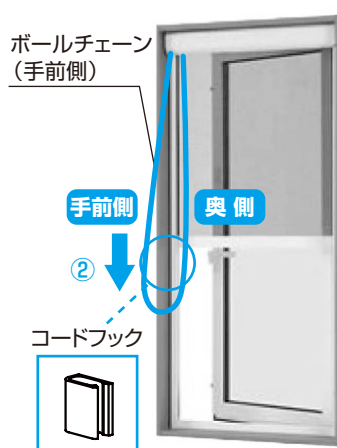
● 上げ下げロール網戸の操作方法

お願い

- 網戸を操作しない時はボールチェーンをコードフックにかけてください。ボールチェーンを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 網戸の開閉操作は、ボールチェーン以外で行わないでください。
  破損や不具合の原因となります。
- ボールチェーンを強く引くとボールチェーンが切れるなど故障につながるおそれがあります。
- 窓を閉じた状態で網戸を下げると網戸がハンドルに当たりますので必ず窓を開けた状態で網戸を操作してください。
- 網戸を閉める際、ネットの下端部を引っ張らないでください。ネットがはずれるおそれがあります。

開け方

①窓を開ける
②ボールチェーンをコードフックからはずす
③奥側のボールチェーンを引いてネットを巻き上げる
④ボールチェーンをコードフックにかける

閉め方

①ボールチェーンをコードフックからはずす
②手前側のボールチェーンを引いてネットを下げる
③ボールチェーンをコードフックにかける

商品の特長【上げ下げ窓】

● 商品の特長

・窓を上下にスライドして開閉する窓です。
・両上げ下げ窓は、上下の窓が連動して開閉します。
・クレセント（主錠）とサブロックの計2ヶ所の錠を装着しています。
・室内から窓の外側を清掃することができます。

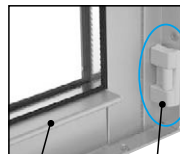
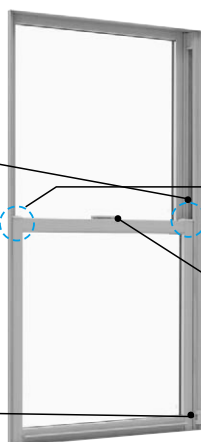
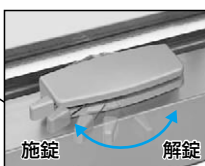
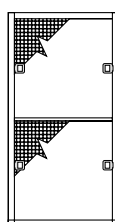
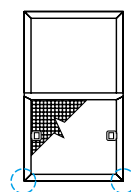
● ご使用上の注意

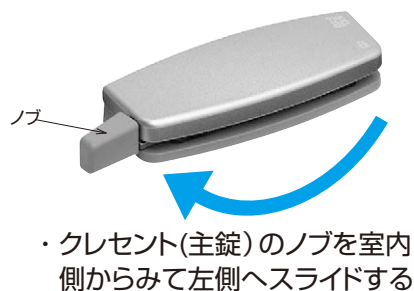
⚠ 注 意

❗ 網戸は、ご使用中はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お 願 い

・下窓の室外側ガラス面を清掃する際や網戸の脱着するとき以外は、下窓を室内側に倒さないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・下窓を室内側に倒した状態での放置、窓の開閉や無理な荷重をかけないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出時や就寝時には必ず窓を閉め、クレセント(主錠）だけでなくサブロックも必ず施錠してください。

第3章 商品の使い方【上げ下げ窓】

● クレセント(主錠)の操作方法

解錠

・クレセント(主錠)のノブを室内側からみて左側へスライドする

施錠

・クレセント(主錠)のノブを室内側からみて右側へスライドする

● サブロックの操作方法

「エピソード」の場合

解錠

・サブロックのツマミを室内側に引く

施錠

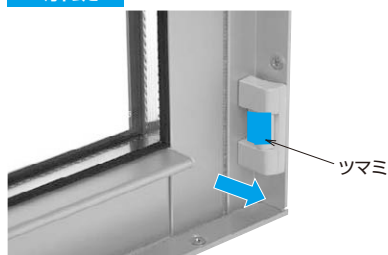
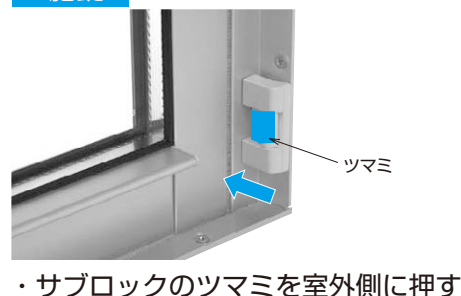
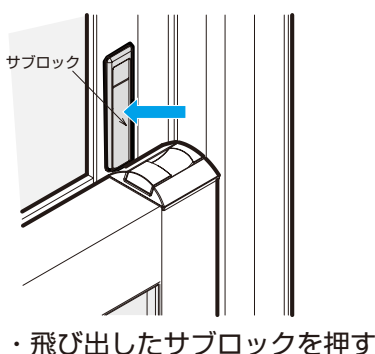
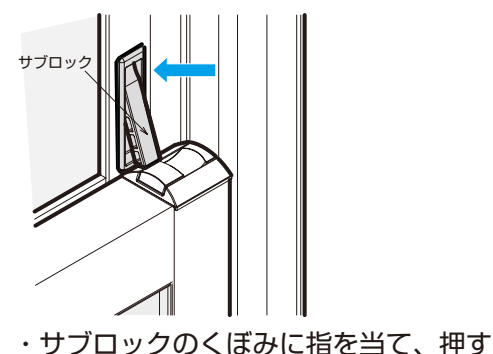
・サブロックのツマミを室外側に押す

「フレミングJ」「エイピアJ」の場合

解錠

・飛び出したサブロックを押す

施錠

・サブロックのくぼみに指を当て、押す

● 窓の開閉方法

・開閉操作は、必ず引手を持って両手で静かに操作してください。

開け方

①サブロックを解錠する
②クレセント(主錠)を室内側からみて左側へスライドして解錠する
③引手を持ち、静かに開けたい位置まで下窓を引き上げる

閉め方

①引手を持ち、静かに最後まで下窓を引き下げる
②クレセント(主錠)を室内側からみて右側へスライドして施錠する
③サブロックを施錠する
④窓が開かないことを確認する

第3章 商品の特長／商品の使い方【オーニング窓】

● 商品の特長

・突き出し窓を上下連続して設け、開閉を連動させた通気性に優れた窓です。

・窓の開き角度は、ハンドル操作により全閉の状態から約50°の位置まで無段階に調整できます。

● ご使用上の注意

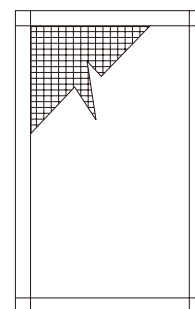
お 願 い

・風の強い時は窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

● 各部の名称

オペレーターハンドル

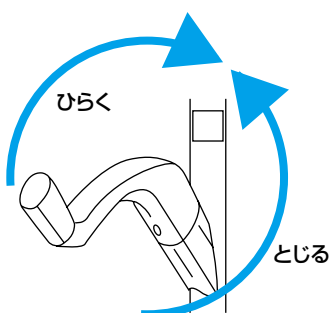
（室内側）

（室外側）

固定網戸
（オプション）

● 窓の開閉方法

・窓を少しずつ引き寄せて閉じる構造となっておりますので、窓が閉じたと思ってもオペレーターハンドルが動かなくなるまで回して閉めきってください。

・オペレーターハンドルを回し開閉する

第3章 商品の特長／商品の使い方【ガラスルーバー窓】

● 商品の特長

・光を透過するガラスで羽根を構成し、オペレーターハンドルで羽根を回転させて
　開閉する窓です。

● ご使用上の注意

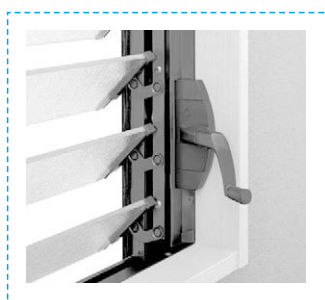
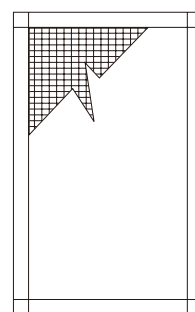
お願い

・防犯のため、外出時や就寝時には必ず窓を閉めてください。
　窓を開けたままにしておくとガラスをはずされるおそれがあります。

● 各部の名称

オペレーターハンドル

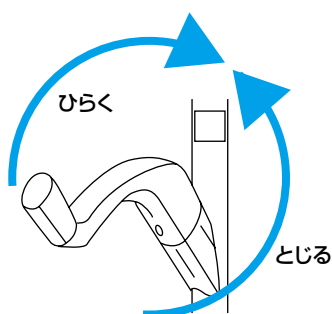
（室内側）

（室外側）

固定網戸
（オプション）

● 窓の開閉方法

・窓を閉める時は、オペレーターハンドルをゆっくりとまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

・オペレーターハンドルを回し開閉する

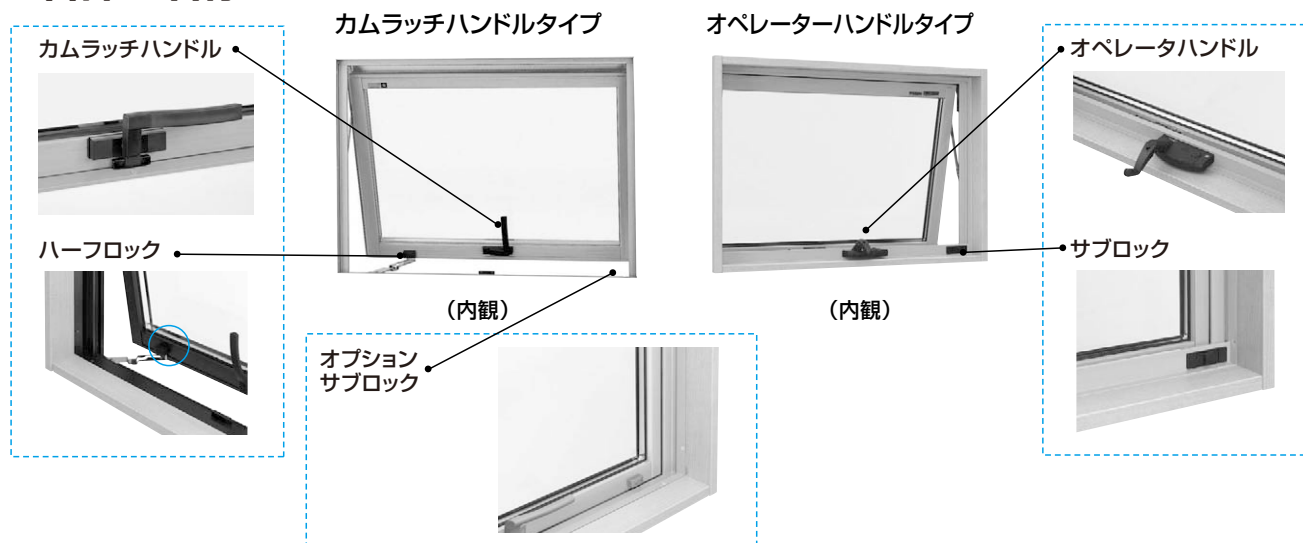
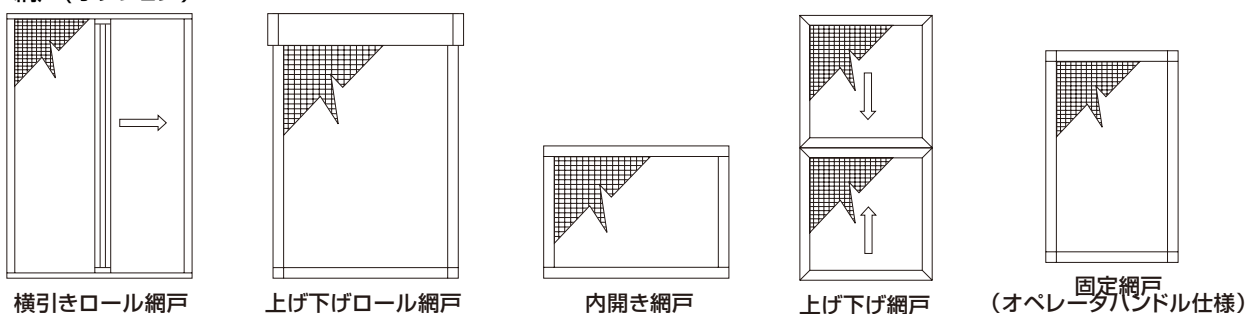
第3章 商品の特長【すべり出し窓】

● 商品の特長

・窓を室外側に開き、開閉する窓です。
・ハンドル(主錠)で施錠・解錠ができます。

● ご使用上の注意

お願い

・開閉時、すべり出しアームに手や指をはさまないよう、ご注意ください。
・風の強い時は窓を閉め、必ず施錠してください。施錠しないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

● 各部の名称

・網戸(オプション)

横引きロール網戸

上げ下げロール網戸

内開き網戸

上げ下げ網戸

固定網戸
（オペレータハンドル仕様）

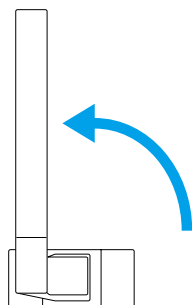
● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・窓の開閉は、解錠状態にして、静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、窓や部品を破損するおそれがあります。
・外出時や就寝時には必ず窓を閉め、ハンドル（主錠）を施錠してください。

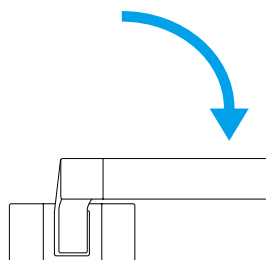
第3章 商品の使い方【すべり出し窓】

● 窓の開閉方法

カムラッチハンドル・グレモンハンドルの場合

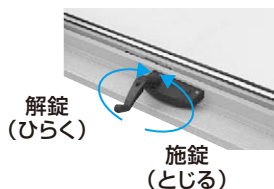
解錠

ハンドルを【タテ】にすると解錠

①ハンドルを90°まわして解錠する
　(ハンドルは【タテ】)
②ハンドルを【タテ】解錠状態にしたまま、
　窓を室外側へ押出して開く

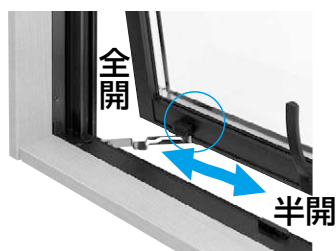
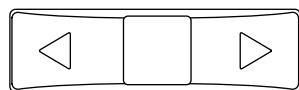
施錠

ハンドルを【ヨコ】にすると施錠

①ハンドルを【タテ】解錠状態にしたまま、
　窓を室内側へ引く
②窓を完全に閉めてから、ハンドルを90°まわし
　て施錠する(ハンドルは【ヨコ】)
③窓が開かないことを確認する

オペレーターハンドルの場合

・窓を閉めるときは、オペレーターハンドルをゆっくりまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

・オペレーターハンドルを回し開閉する

● ハーフロックの操作方法

・ハーフロックには防犯機能はありません。外出時や就寝時には必ずハンドル(主錠)を施錠してください。

全開 ⇔ 半開

全開に設定

①窓を完全に閉める
②ハーフロックツマミを「半開」の位置から「全開」の位置に切替える

半開に設定

①窓を完全に閉める
②ハーフロックツマミを「全開」の位置から「半開」の位置に切替える
※半開に設定すると、ストップ機構が働き、一定以上開きません。

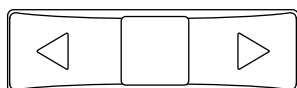
第3章 商品の使い方【すべり出し窓】

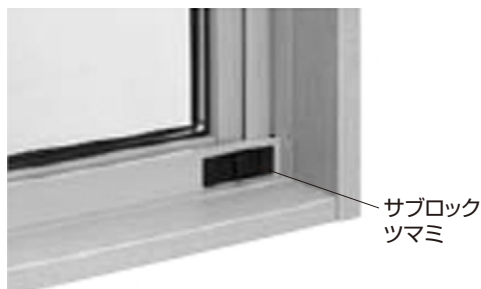
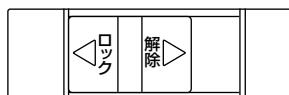
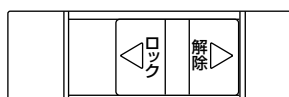
● サブロックの操作法法（サブロック付きの場合）

・ハンドル（主錠）を施錠するときは、サブロックも必ず施錠してください。
・サブロックツマミは、窓を閉めて操作してください。

※サブロックツマミを操作して施錠・解錠できます。

カムラッチハンドル仕様

サブロックツマミ

解除　施錠

オペレータハンドル仕様

サブロックツマミ

施錠
（ロック）

解除
（解除）

● 横引きロール網戸の操作方法

・たてすべり出し窓の横引きロール網戸の操作方法と同じです。（P.16　参照）

● 上げ下げロール網戸の操作方法

・たてすべり出し窓の上げ下げロール網戸の操作方法と同じです。（P.16　参照）

第3章 商品の特長／商品の使い方【内倒し窓】

● 商品の特長

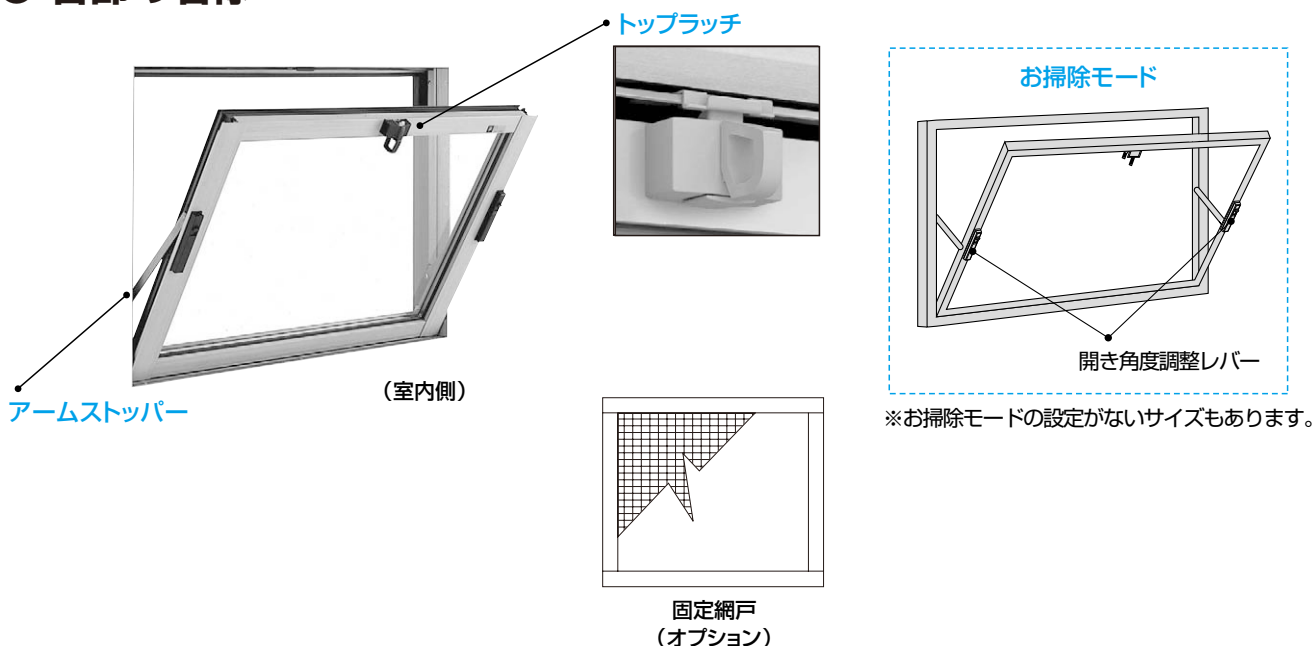
・室内側に倒して開閉する窓です。
・トップラッチで開閉操作ができます。
・室内から窓の外側を清掃することができます。

● ご使用上の注意

お 願 い

・風の強い時は窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。（お掃除モード付きの場合）
・室外側ガラス面を清掃する際や網戸を脱着するとき以外お掃除モードにしないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お掃除モードでの放置や無理な荷重をかけないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

※お掃除モードの設定がないサイズもあります。

● 窓の開閉方法

開け方

①トップラッチを下に引く
②トップラッチを引いた状態で静かに室内側に窓を起こす

閉め方

①窓を室外側に押す
②トップラッチが「カチッ」となるのを確認する

第3章 商品の特長／商品の使い方【外倒し窓】

● 商品の特長

・室外側に倒して開閉する窓です。
・開き角度は約60°です。引手を引くと自動的に障子が開きます。
・復帰用引手が付けられる復帰セットもあります。（オプション）

● ご使用上の注意

お 願 い

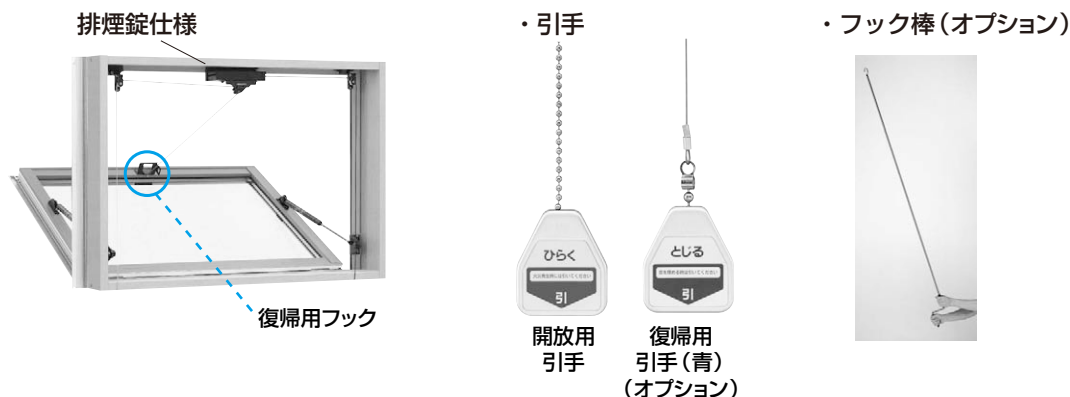
・風の強い時は窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

● 各部の名称

・引手

開放用引手

復帰用引手（青）（オプション）

・フック棒（オプション）

● 窓の開閉方法

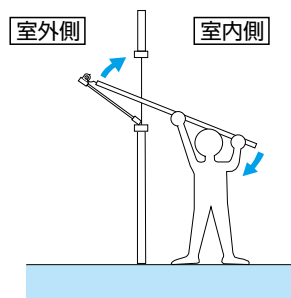
開け方

①開放用引手(赤)を引く
②排煙錠のラッチがはずれ、窓が開く

閉め方

①復帰用フックを室内側に引く
②排煙錠のラッチがかかるまで、窓を起こす

・復帰セット付きの場合(オプション)
①復帰用引手(青)を引く
②排煙錠のラッチがかかるまで、窓を室内側に引く

第3章 商品の特長／商品の使い方【平行突出し窓】

● 商品の特長

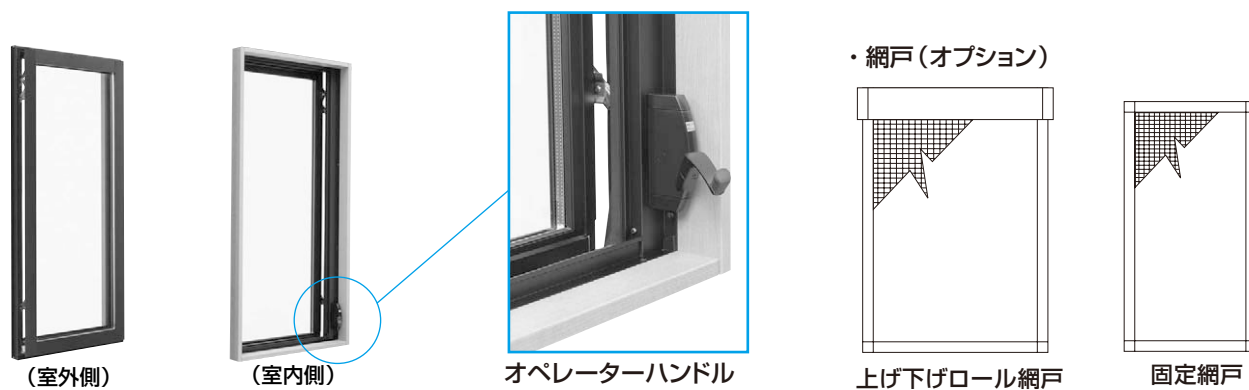
・オペレーターハンドルの操作により、障子が枠から平行に突き出して、開閉する窓です。

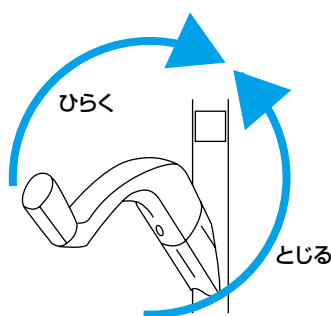
・障子は、最大40mm突出します。

● ご使用上の注意

お 願 い

・風の強い時は窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。

● 各部の名称

● オペレーターハンドルの操作方法

・窓を閉める時は、オペレーターハンドルをゆっくりとまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

・オペレーターハンドルを回し開閉する

● 上げ下げロール網戸の操作方法

・たてすべり出し窓の上げ下げロール網戸の操作方法と同じです。（P.16　参照）

第3章 商品の特長／商品の使い方【ダブルハング換気窓】

※電動商品の場合は、商品付属の取扱説明書（お施主様保存版）をご覧ください。

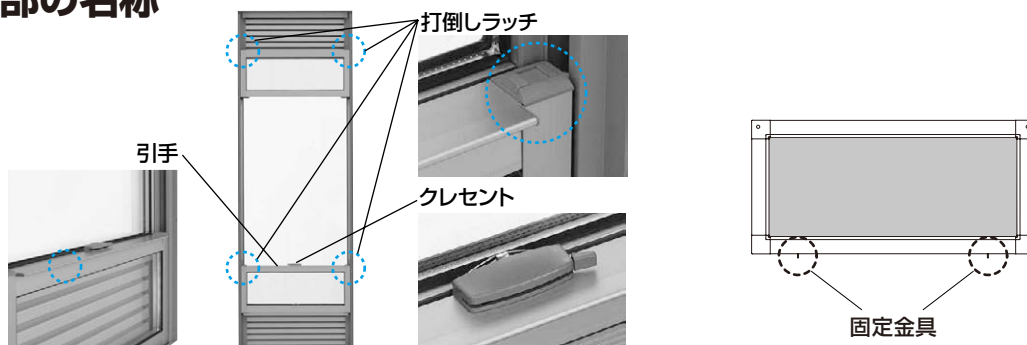
● 商品の特長

・開口部を上下に配置し温度差による“重力換気”を1つの窓で効果的に行なえる窓です。
・窓を開けた状態でも雨水の浸入を防ぐ機能があり、天候を気にせず換気が可能です。
・上下の窓が連動して開閉します。

● ご使用上の注意

お願い

・窓の室外側ガラス面を清掃する際や網戸の脱着をするとき以外は、窓を室内側に倒さないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・窓を室内側に倒した状態での放置、窓の開閉や無理な荷重をかけないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・雨天でも換気が可能ですが、風速5m/s（小枝が動く程度の強さ）を超える風を伴う雨のときは窓を越えて雨水が浸入し、室内をぬらすことがあります。

● クレセント（主錠）の操作方法

解錠

・クレセント(主錠）のノブを室内側からみて左側へスライドする

施錠

・クレセント(主錠）のノブを室内側からみて右側へスライドする

● 窓の開閉方法

・開閉操作は、必ず引手を持って両手で静かに操作してください。

開け方

①クレセントを室内側からみて左側へスライドして解錠する
②下側の窓の引手を持ち、静かに開けたい位置まで下窓を引き上げる

閉め方

①下側の窓の引手を持ち、静かに最後まで下窓を引き下げる
②クレセントを室内側からみて右側へスライドして施錠する
③窓が開かないことを確認する

第3章　商品の特長／商品の使い方【出窓】

● 商品の特長

・室内が広く使える面より持ち出した窓です。

● ご使用上の注意

⚠ 注 意

❗窓は、ご使用中はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

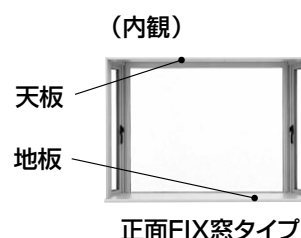
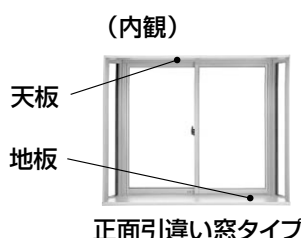
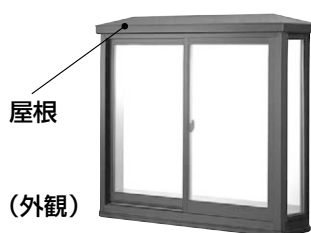
❗網戸は、ご使用中はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お 願 い

・開閉時、たてすべり出しアームに手や指をはさまないよう、ご注意ください。
・風の強い時は窓を閉め、必ず施錠してください。施錠しないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。
・地板には人が乗ったり、重い物を載せたりしないでください。出窓の破損や転落事故につながるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。また、地板が濡れた場合はすぐに拭き取ってください。
・出窓の屋根に乗ったり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形したり、転落によりけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

● 各部の名称

正面引違い窓タイプ

正面FIX窓タイプ

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出、就寝時は必ず窓を閉め、主錠だけでなくクレセントロックや補助錠も必ずかけてください。
・地板層の上に熱いなべ等を置かないでください。表面シートがはがれる事があります。

＜ステンレス地板＞

・「ヌメリ取り剤」等の固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。
・食塩、味噌、漬物、しょうゆ等の塩分が付着したままで放置しないでください。
・ぬれた包丁、缶詰等を放置しないでください。
・ワークトップの上に鍋等の熱いものを直接置かないでください。

＜人造大理石地板＞

・うがい薬や除光液、染料、インク等がついたら、すみやかにぬれぶきん等でふきとってください。

● 引違い窓の操作方法

・引違い窓の操作方法と同じです。（Ｐ．５　参照）

● たてすべり出し窓の操作方法

・たてすべり出し窓の操作方法と同じです。（Ｐ．１３　参照）

● シャッター(手動タイプ）の操作方法(オプション）

・シャッター(手動タイプ）の操作方法と同じです。（Ｐ．８　参照）

第3章 商品の特長／商品の使い方【天窓】

※電動商品の場合は、商品付属の取扱説明書（お施主様保存版）をご覧ください。

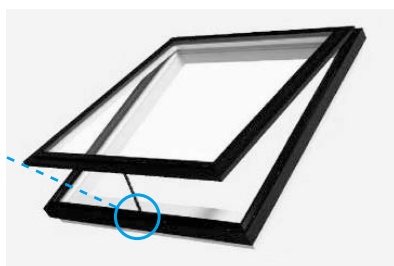
● 商品の特長

・ 屋根面についた明かり取りの窓です。
・ 採光効率が壁面より良く、均一な室内照度が得られます。

● ご使用上の注意

お 願 い

・風の強いときは窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。
・天窓の上には乗らないでください。ガラスが割れて転落するおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・室内で高温・多湿の状態が続く場所では結露が発生しやすくないなりますので、こまめに室内の換気をを行ってください。

● 窓の開閉方法（突出し窓の場合）

・窓を閉めるときは、オペレーターハンドルをゆっくりとまわし、オペレーターハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。

・オペレーターハンドルを回して開閉する

● 商品の特長

・高い場所に、換気を目的に取り付ける窓です。
・操作は、高窓用オペレーターまたはリモコンで開閉します。

● ご使用上の注意

お願い

・風の強い時は窓を閉めてください。窓を閉めないと窓が急激な開閉により衝撃を受け、破損や落下のおそれがあり、思わぬ事故につながります。
・ボールチェーンを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり

● 各部の名称

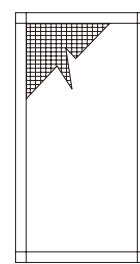
高所用換気窓

（室外側）

高所用たてすべり出し窓

（室内側）

高窓用オペレーター

電動ユニット

固定網戸
（オプション）

● 窓の開閉方法

高窓用オペレーターの場合

開け方

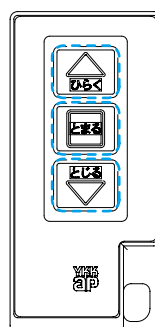
・室内側から見て左側の
ボールチェーンを引く

閉め方

・室内側から見て右側の
ボールチェーンを引く

電動ユニットの場合（リモコン操作）

窓を開ける	【ひらく】ボタンを押す
停止させる	【とまる】ボタンを押す
窓を閉める	【とじる】ボタンを押す

第3章 商品の特長／商品の使い方【ブラインド入り複層ガラス】

● 商品の特長

・プライバシーや遮光のため、ブラインドを内蔵した複層ガラスです。
・操作ひもで、ブラインドの開閉を行います。

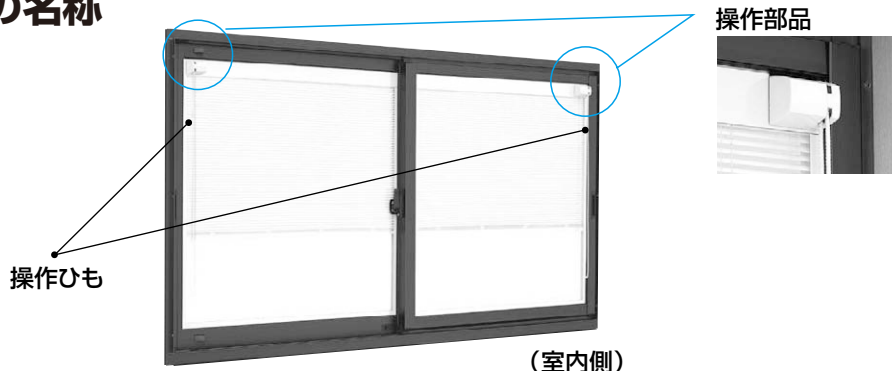
● ご使用上の注意

⚠ 警 告

❗ ブラインド操作部品およびブラインド上部のボックスに強力な磁石が内臓されています。
ペースメーカー等の電子医療機器を付けた方が、操作部に近づいた場合、磁力の影響を受ける可能性がありますので医療機器の取扱説明書等で安全を確認してください。

お 願 い

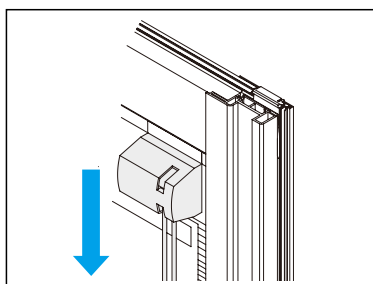
・操作ひもを体にひっかけたり巻きつけたりしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・無理に操作ひもを引かないでください。商品が破損する原因になります。
・冬期に気温が低くなった場合にガラスが内側に反りブラインドの開閉ができなくなることがあります。
ガラスの反りは室温または外気温が上がることで元に戻ります。ガラスが元に戻った状態でブラインドを操作してください。

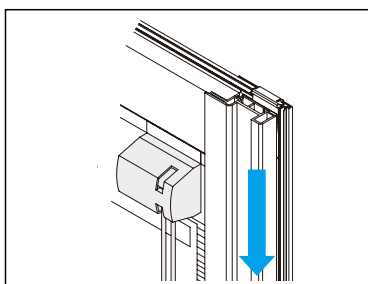
● ブラインドの開閉方法

・ブラインドが全開（全閉）になったときは、それ以上操作ひもを引かないでください。
ブラインドの破損、開閉不具合の原因になります。
・ガラスに対して操作ひもを斜めに引く操作はしないでください。
ブラインドの開閉ができなくなるおそれがある。

開け方

・奥側の操作ひもを引く

閉め方

・手前側の操作ひもを引く

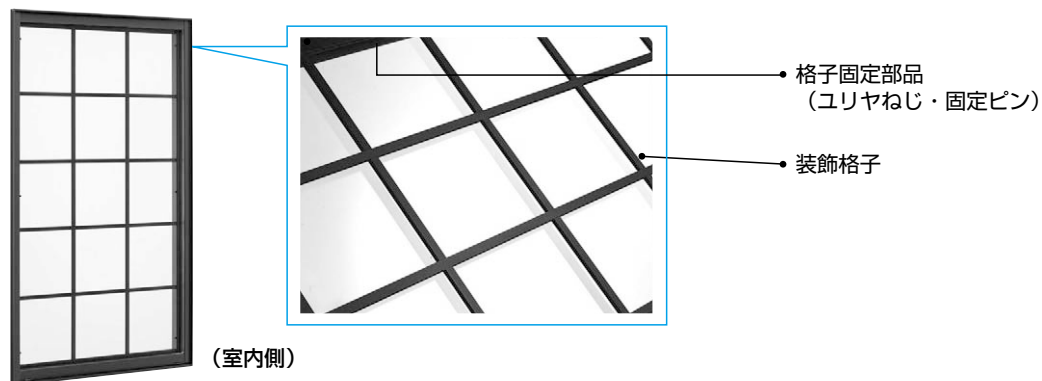
第3章 商品の特長【装飾格子】

● 商品の特長

・室内側に格子を取り付け、和のテイストを施します。
・清掃時に格子を取りはずすことができます。

● 各部の名称

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・操作がない商品にも保守点検は必要です。
保守点検は、P.99をご参照ください。

第3章 商品の特長【玄関ドア】

● 商品の特長

・家の主な出入り口で防犯性を持った、家の顔としての役割もったドアです。
・玄関ドアには、片開きタイプ、親子タイプ、両開きタイプなどがあります。
・玄関ドアシリーズにより、ピポッドヒンジタイプと丁番タイプがあります。

● ご使用上の注意

お 願 い

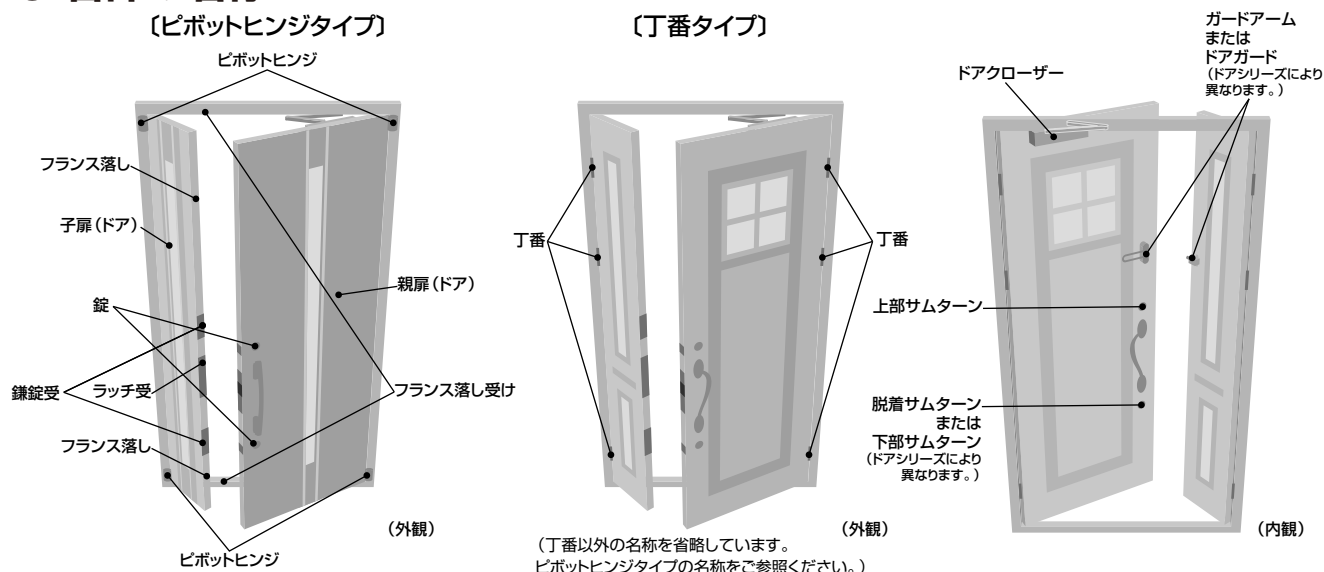
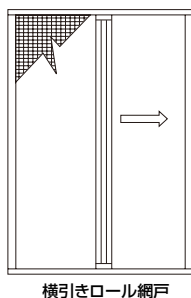
・**ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。**指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
・**ドアの開閉にあたっては必ずドアハンドルを持って操作してください。**ドアハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
・**ドア開閉時に、扉の下端部に足があたらないようにしてください。**足をはさんでけがをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉の時にはご注意ください。
・風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

● 各部の名称

（丁番以外の名称を省略しています。
ピボットヒンジタイプの名称をご参照ください。）

・通風タイプ

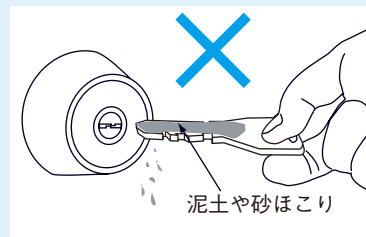
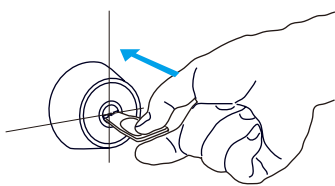
・網戸（オプション）

横引きロール網戸

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

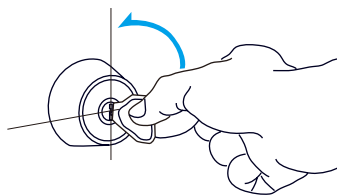
・外出時や就寝時にはすべての鍵をかけてください。
・鍵を紛失した時は、防犯のため、錠の交換をおすすめします。
・ドアにリースなどを飾る場合は、ドア表面にキズがつかないように飾りがドア表面に接する範囲を柔らかい布やシートで保護してください。

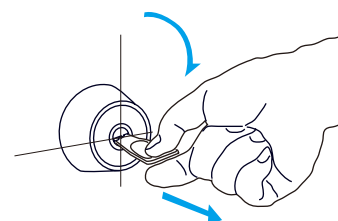
● シリンダー錠の操作方法

・鍵の操作方法

・誤って鍵を地面に落してしまったなどで、鍵のきざみ部分や溝に泥土や砂、ほこりが付着したまま鍵穴に鍵を差し込まないでください。作動不良や故障の原因となります。
鍵が汚れてしまった場合はP.50のお手入れをしてください。
・鍵で扉の開閉をしないでください。鍵が曲がり、正しくご使用できなくなる場合があります。

①鍵を奥まで差し込む

鍵を奥まで差し込む
鍵を奥まで差し込む前に回転させないでください

②鍵を回転させる

鍵を奥まで差し込んでから回転する

③鍵の方向を戻して抜く

鍵をもとの方向に戻してから抜く
鍵をもとの方向に戻す前に抜かないでください

※扉の開き勝手により回転方向が図と逆の方向になる場合があります。
※鍵の種類により鍵穴の向きが図と異なる場合があります。

・サムターンの操作方法

解　錠

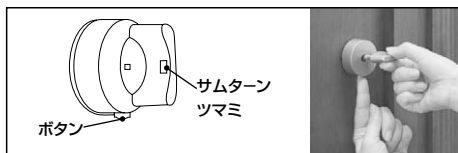
·サムターンツマミを90°まわして解錠する
（サムターンツマミは【タテ】）

施　錠

①ドアを閉める
②サムターンツマミを 90°まわして施錠する
(サムターンツマミは【ヨコ】)
③ドアが開かないことを確認する

● 脱着サムターンの脱着方法

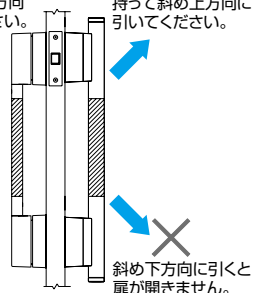
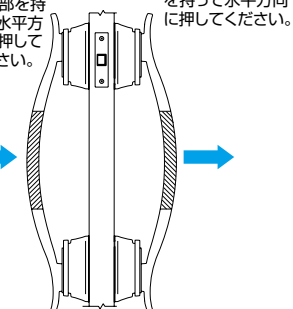
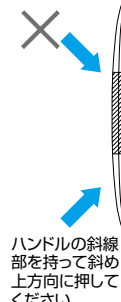
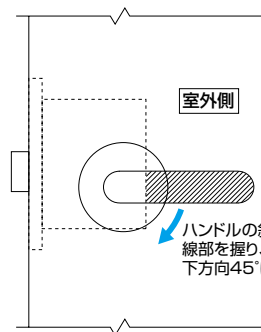
・外出時や就寝時にはサムターンツマミを取はずし、安全な場所に保管してください。
・はずしたサムターンツマミは、火災、緊急時の場合でもすぐに使用できるように場所を決めて保管していただくことをおすすめします。

はずし方

・下部の白いボタンを押しながらサムターンツマミを引く

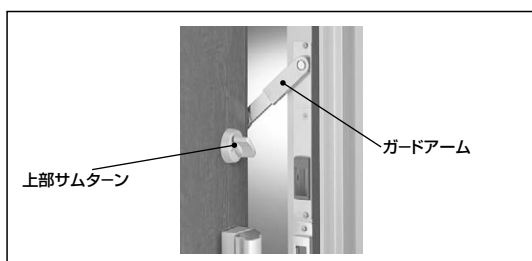
取付け方

・サムターンつまみの向きをあわせて、差込む

● ハンドルの操作方法

・ハンドルにはいくつか種類があり、使用方法が異なります。
　お使いのハンドルの使用方法をご確認ください。

● ガードアーム・ドアガードの操作方法

・ガードアーム、ドアガードは来訪者の確認用です。
・ドアガードのフックを出したまま、ドアの開閉をしないでください。

■ガードアーム

解錠

ガード時

施錠

かけ方

①ドアを閉める
②上部のサムターンを45°回す
※ガードアームが作動状態になります。

はずし方

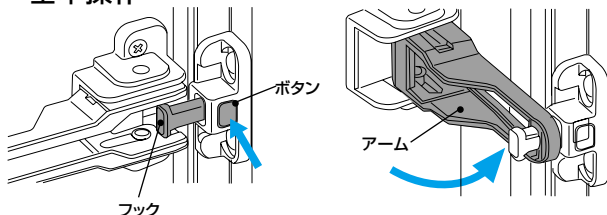
①ドアを閉める
②上部のサムターンを45°回す

第3章 商品の使い方【玄関ドア】

■ドアガード

・アームを動かす際は、アームを持って操作してください。
・ドアを開けた状態でアームやフックを操作しないでください。

■通風／ロック機構付ドアガード

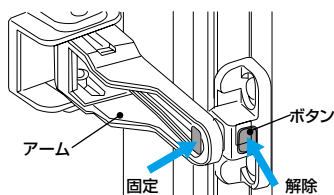
・基本操作

かけ方

①ドアを閉める
②ボタンを押してフックを出す
③アームを起こす

はずし方

①ドアを閉める
②アームを扉側に倒す
③フックを押して、フックを収納する

・通風機構操作

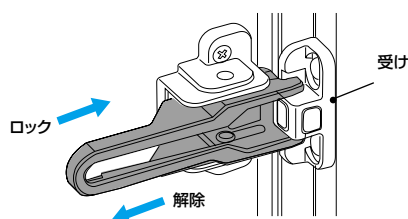
・室外側から通風機構の操作はできません。
・通風機構は錠、防犯に対する機構ではありません。外出時や就寝時などは使用はさけてください。

かけ方

①ドアガードをかける
②アームフックに当たるまで軽く押す
③フックを押し込み、アームを固定する
※ドアがすこし開いた状態で固定されます。

はずし方

①ドアを軽く押しながらボタンを押す
②フックが出て、固定が解除される
③ドアガードをはずす

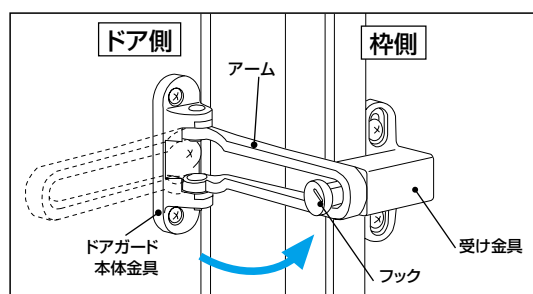
・ロック機構操作

・室外側からロック機構の操作はできません。
・ロックした状態では、シリンダー錠を解除してもドアは開きません。
・ロック機構はサムターンによる施錠と合わせてご使用ください。

かけ方

①ドアを閉める
②アームを受け側にスライドする
※ドアがロックされる

はずし方

①アームを解除側にスライドする
②ロックが解除される

■ドアガード

かけ方

①ドアを閉める
②指先でフックを手前に引く
③アームを起こす

はずし方

①ドアを閉める
②アームを扉側に倒す
③フックを押して、受け金具に収納する

商品の使い方【玄関ドア】

● リースフックの使用方法

※リーフフックの付いていない商品もあります。

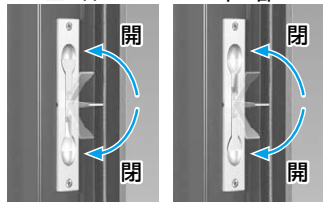
- 飾りによっては、ドア表面にキズを付ける可能性がありますので、ご注意ください。
- 飾りがドア表面に接する範囲は、柔らかい布やシートで保護してください。
- リースフックに掛ける飾りは500gまでにしてください。

● 子扉の開閉方法

- 親子ドアは子扉を必ず最初に閉めて、フランス落しかけてから親扉を閉めてください。
- 大きな荷物を出し入れする場合など、子扉を開くことにより、より大きな開口が確保できます。
- 子扉を開ける時には、壁などにぶつけないように注意してください。
- 子扉を開閉しない場合は必ずフランス落しをかけ、子扉を固定しておいてください。
- 受け部にゴミをつまらせないよう定期的にお手入れをしてください。

フランス落し

上　部

下　部

開け方

①親扉を開く
②上部のフランス落しのツマミを上に移動する
③下部のフランス落しのツマミを下に移動する
④子扉を開く

閉め方

①子扉を閉める
②下部のフランス落しのツマミを上に移動する
③上部のフランス落しのツマミを下に移動する
④子扉が動かないことを確認し、親扉を閉める

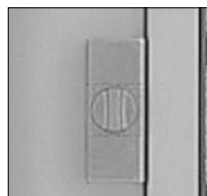
● 通風タイプ　障子ロック操作方法

■玄関ドア ヴェナート

・全閉時、60mm開放時の2箇所で上げ下げ障子をロックできます。

解除

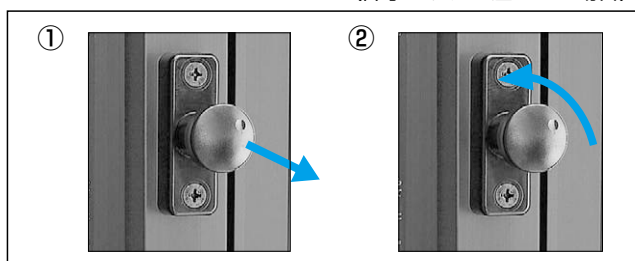
ツマミを90°左に回転する
※ロックが解除されます。

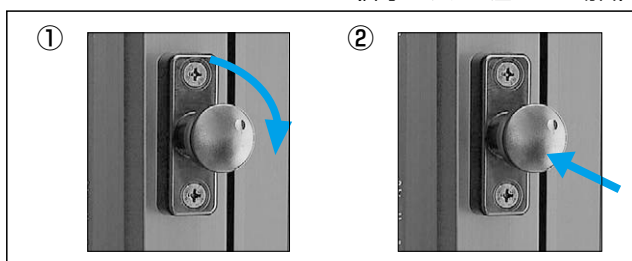
ロック

ツマミを90°右に回転する
※障子がロックされます。

■玄関ドアプロント

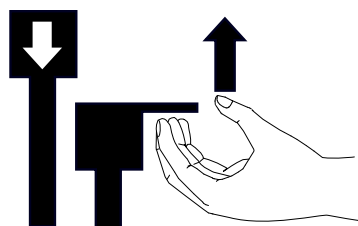
・全開時、50mm開放時、100mm開放時の3箇所で上げ下げ障子をロックできます。

解除

（障子ロックが左にある場合）

①ツマミを手前に引く
②ツマミを90°回転する
　※ロックの解除が保持されます。

ロック

①ツマミを90°回転する
②ツマミを押し込む

● 通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法

・上げ下げ障子の開閉はゆっくりと行ってください。
・防犯上、外出、就寝時には、必ず、上げ下げ障子を全閉状態にして障子ロックをしてください。

開け方

①障子ロックをはずす
②上げ下げ障子の引手を下から支えるように手を添えて窓を上げる
③障子ロックをロックする

閉め方

①障子ロックをはずす
②上げ下げ障子の引手をもち、窓をさげる
③障子ロックをロックする

● 横引ロール網戸（フラットタイプ）の操作方法

・たてすべり出し窓の横引きロール網戸の操作方法と同じです。（P．16　参照）

第3章 商品の特長【玄関引戸・土間引戸】

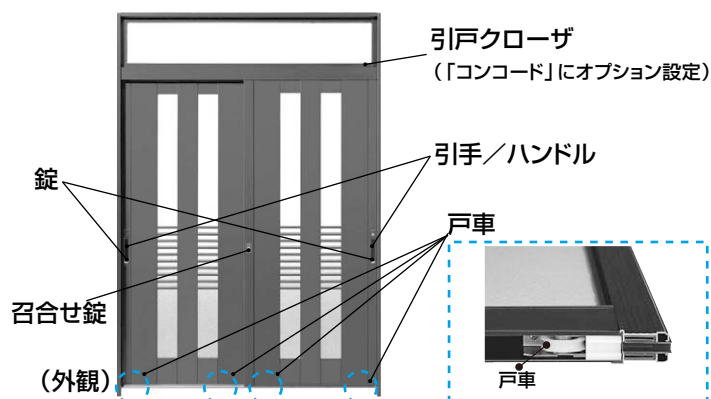
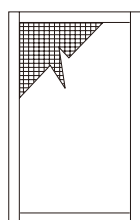
● 商品の特長

・家の主な出入り口で、和風の家に用いられる引戸です。
・隣地境界に近い出入り口に多く使用されます。

● ご使用上の注意

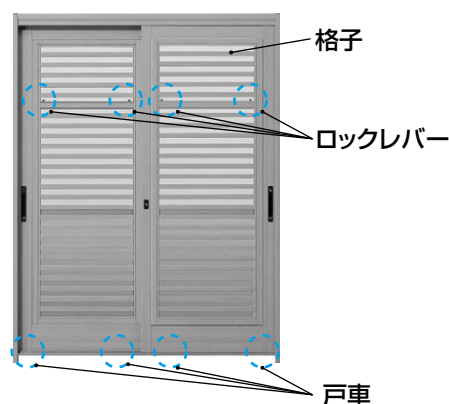
お 願 い

・引戸の開閉時には、必ず引手またはハンドルを持って操作してください。格子など引手やハンドル以外の場所を持って開閉すると、思わぬところで指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様はご注意ください。

● 各部の名称

●通風タイプ

写真は、内外障子可動タイプの障子下部を開けた状態です。

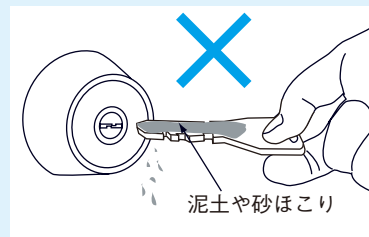
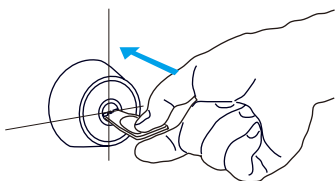
・網戸（オプション）

スライド網戸

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

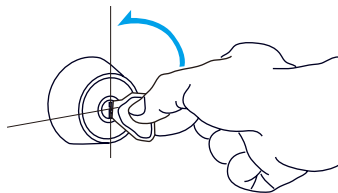
・外出時や就寝時には全ての錠をかけてください。
・鍵を紛失した時は、防犯のため、錠の交換をおすすめします。

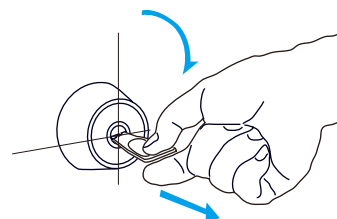
● シリンダー錠の操作方法

・鍵の操作方法

・誤って鍵を地面に落してしまったなどで、鍵のきざみ部分や溝に泥土や砂、ほこりが付着したまま鍵穴に鍵を差し込まないでください。作動不良や故障の原因となります。
鍵が汚れてしまった場合はP.50でお手入れをしてください。
・鍵で扉の開閉をしないでください。鍵が曲がり、正しくご使用できなくなる場合があります。

①鍵を奥まで差し込む

鍵を奥まで差し込む
鍵を奥まで差し込む前に回転させないでください

②鍵を回転させる

鍵を奥まで差し込んでから回転する

③鍵の方向を戻して抜く

鍵をもとの方向に戻してから抜く
鍵をもとの方向に戻す前に抜かないでください

※扉の開き勝手により回転方向が図と逆の方向になる場合があります。
※鍵の種類により鍵穴の向きが図と異なる場合があります。

・サムターンの操作方法

解　錠

・サムターンツマミを上に移動し解錠する(表示は【ひらく】)

施　錠

①引戸を閉める
②サムターンツマミを下に移動し施錠する（表示は【とじる】）
③引戸が開かないことを確認する

● コンコード　シリンダー錠の操作方法

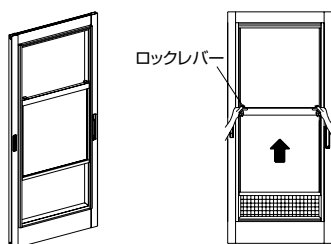
・玄関ドアのシリンダー錠の操作方法と同じです。（P．34　参照）

● コンコード　脱着サムターンの脱着方法

・玄関ドアの脱着サムターンの脱着方法と同じです。（P．34　参照）

● 通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法

・上げ下げ障子の開閉はゆっくりと行ってください。

・全開時、60mm開放時、370mm開放時、680mm開放時の4箇所で可動障子をロックできます。

①両端のロックレバーを指で押しながら、上げ下げ障子を開閉する
②固定したい位置でロックレバーから指をはなし固定する
③可動障子を上下にゆすり、固定されていることを確認する

商品の特長【勝手口ドア】

● 商品の特長

・勝手口に取り付けられるドアです。
・自然の風を取り込める通風ドアもあります。

● ご使用上の注意

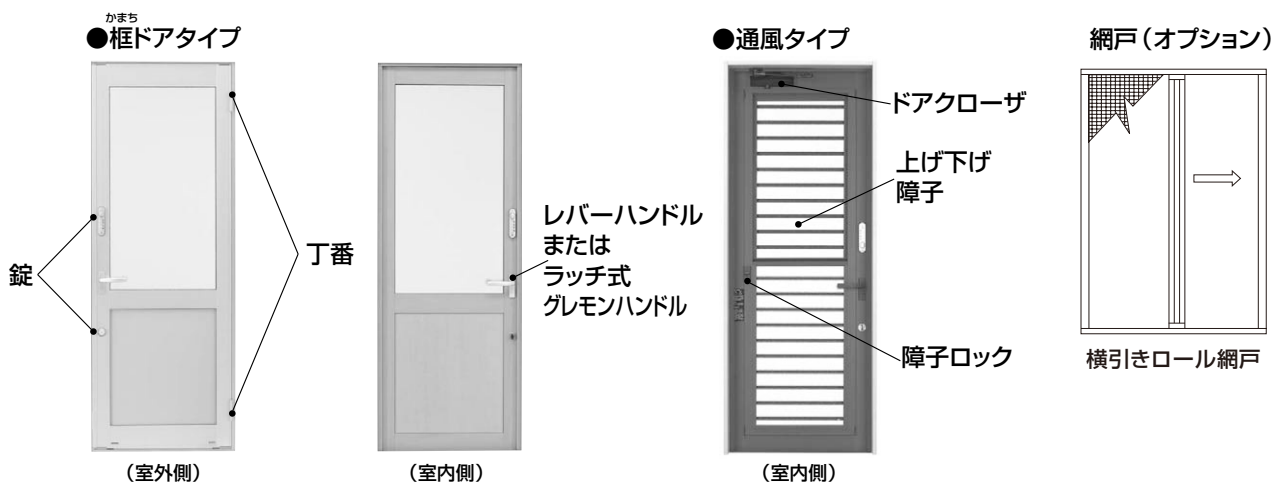
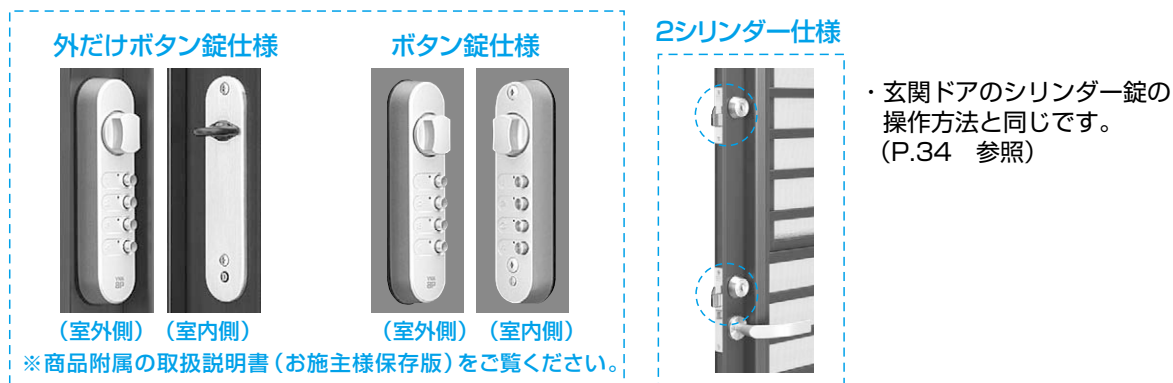
お願い

・**ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。**指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。
・**ドアの開閉にあたっては必ずハンドルを持って操作してください。**ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。
・**ドア開閉時に、扉の下端部に足があたらないようにしてください。**足を挟んでけがをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉の時にはご注意ください。
・風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

● 各部の名称

・錠(商品によって錠の有無や種類が違います。)

※商品附属の取扱説明書(お施主様保存版)をご覧ください。

・玄関ドアのシリンダー錠の操作方法と同じです。
(P.34 参照)

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出時や就寝時にはすべての鍵をかけてください。
・鍵を紛失した時は、防犯のため、錠の交換をおすすめします。

● レバーハンドルの操作方法

・玄関ドアのレバーハンドルの操作方法と同じです。（P．35　参照）

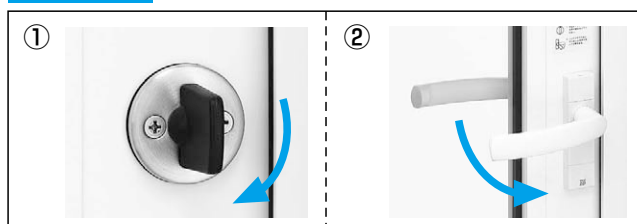
● ラッチ式グレモンハンドル（主錠）の操作方法（エピソードの場合）

・グレモン錠を施錠（ハンドルを上げる）しないとサムターン錠を施錠できません。
・ドアを開いた状態でグレモン錠を施錠（ハンドルを上げる）しないでください。そのままドアを閉めると、グレモン錠が枠に当たり、故障、破損の原因になります。
・ドアを閉める前にグレモン錠を施錠状態にしてしまった場合には解錠操作（ハンドルを下げる）を行ってください。
・ドアの開閉はハンドルを持ち、静かに行ってください。無理な操作や誤った操作をすると、ドアや部品を破損するおそれがあります。

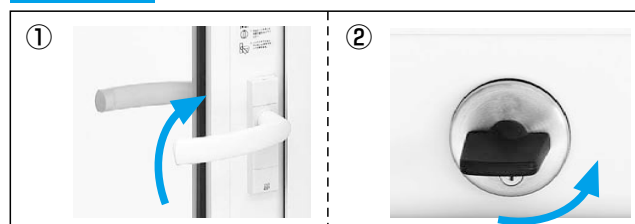
解除

①

①サムターンを回して解錠する

②

②ハンドルを下げる
※グレモン錠とラッチが解除され、ドアが開きます。

ロック

①

①ラッチがかかるまでドアを閉めて、ハンドルを上げる
※グレモン錠がかかります。

②

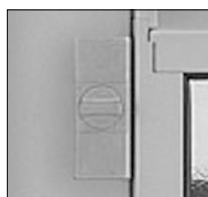
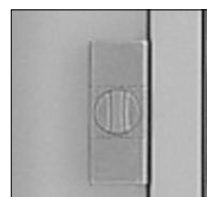
②サムターンを回して施錠する

● 通風タイプ　障子ロック操作方法

■エピソード　・全閉時、60mm開放時の2箇所で上げ下げ　障子をロックできます。

解除

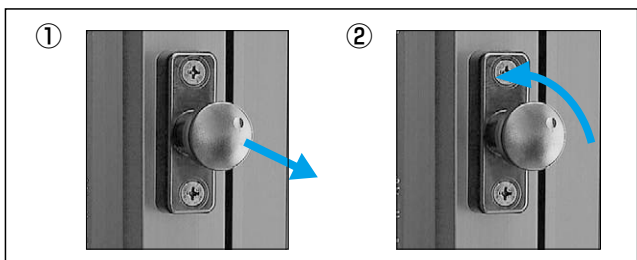
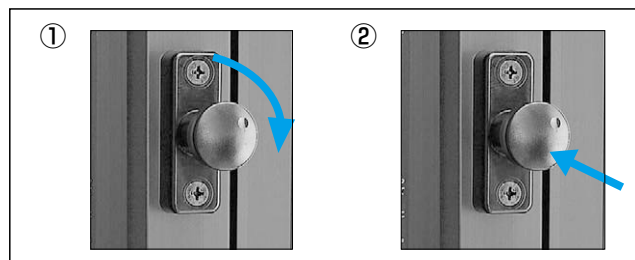
ツマミを90°左に回転する
※ロックが解除されます。

ロック

ツマミを90°右に回転する
※障子がロックされます。

■エアリフレ・フレミングJ・エイピアJ　・全開時、50mm開放時、100mm開放時の3箇所で上げ下げ障子をロックできます。

解除

①ツマミを手前に引く
②ツマミを90°回転する
※ロックの解除が保持されます。

ロック

①ツマミを90°回転する
②ツマミを押し込む

● 通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法

・玄関ドアの通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法と同じです。（P．38　参照）

● 横引ロール網戸（フラットタイプ）の開閉方法

・たてすべり出し窓の横引きロール網戸の操作方法と同じです。（P．16　参照）

第3章 商品の特長／商品の使い方【勝手口引戸】

● 商品の特長

・勝手口に取り付けられる片引き戸です。
・自然の風を取り込める通風片引き戸もあります。

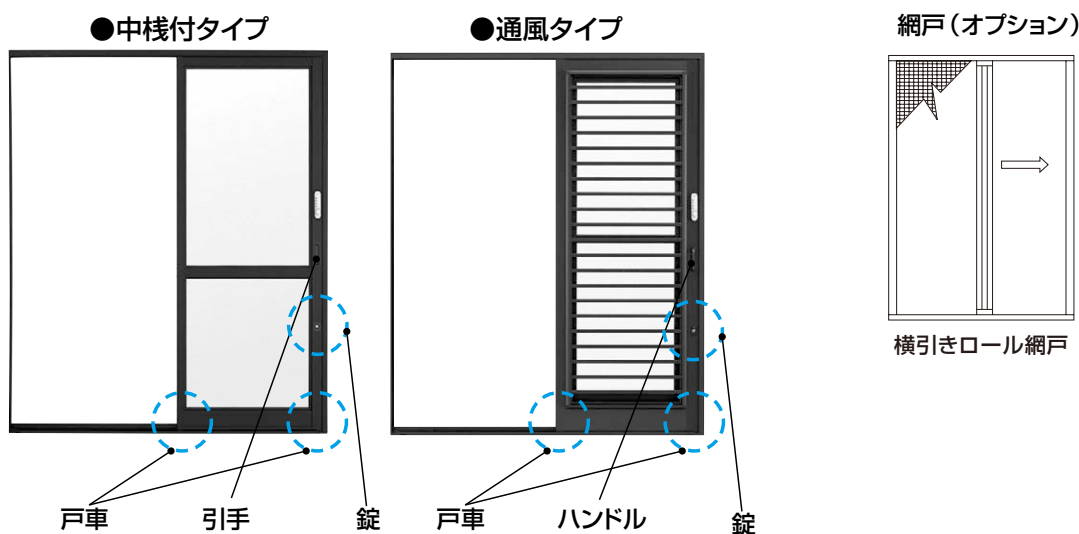
● ご使用上の注意

お願い

・引戸の開閉時には、必ず引手またはハンドルを持って操作してください。格子など、引手やハンドル以外の場所を持って開閉すると、思わぬところで指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様はご注意ください。

● 各部の名称

網戸（オプション）

横引きロール網戸

・錠（商品によって錠の有無や種類が違います。）

ボタン錠仕様

（室外側）（室内側）

※ボタン錠の操作方法に関しては別途説明書にてご確認ください。

2シリンダー仕様

・玄関ドアのシリンダー錠の操作方法と同じです。（P．34　参照）

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・外出時や就寝時にはすべての鍵をかけてください。
・鍵を紛失した時は、防犯のため、錠の交換をおすすめします。

● 通風タイプ　障子ロック操作方法

・玄関ドアの通風タイプ　障子ロックの操作方法と同じです。（P．38　参照）

● 通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法

・玄関ドアの通風タイプ　上げ下げ障子の開閉方法と同じです。（P．38　参照）

第3章 商品の特長／商品の使い方【目隠し】

● 商品の特長

・隣接する建物や通行者からの視線をさえぎります。
・採光や通気機能にすぐれたものもあります。

● ご使用上の注意

お 願 い

・商品に寄りかかったり、はしごをかけたりしないでください。商品の変形や破損だけでなく、転落につながるおそれがあります。

● 各部の名称

プライバシースクリーン

多機能ルーバー

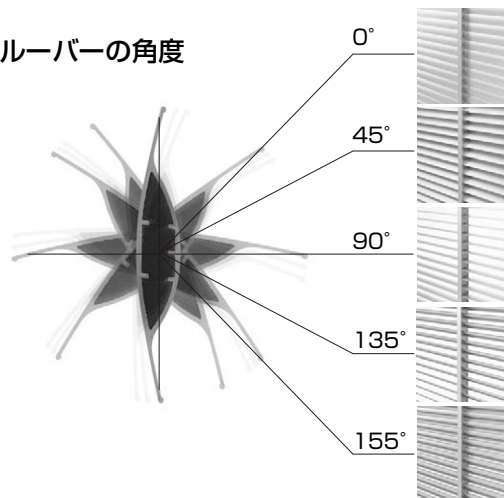
ウインバイザー

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・操作がない商品にも保守点検は必要です。
　保守点検は、P.99をご参照ください。
・ルーバーを持って開閉操作はしないでください。可動部が破損するおそれがあります。

● 多機能ルーバーの操作方法

ロック状態

解除状態

・ルーバーの角度

①上部のロック・解除ボタンを押し下げてロックを解除する
②操作ダイヤルを回転させ、ルーバーの角度調整する
※ルーバーの角度は0°～155°まで調整できます。
③止めたい角度で下部のロック・解除ボタンを押し上げロックする
※ロック・解除ボタンをロックしないと風などで角度が変わることがあります。

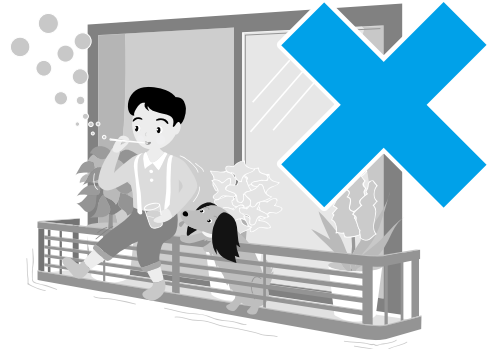
商品の特長【フラワーボックス】

● 商品の特長

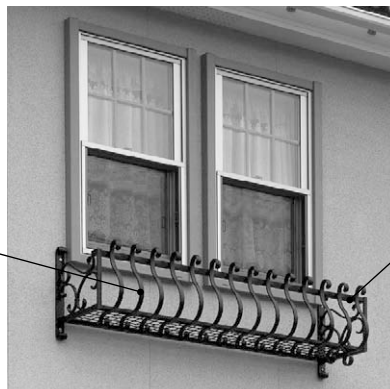
・窓辺で植木鉢やプランターなどを飾ることができる花台です。

● ご使用上の注意

⚠注 意

⃠ フラワーボックスには絶対に乗らないでください。また、エアコンの室外機などの重量物を置かないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。

お 願 い

・フラワーボックスにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。

● 各部の名称

※笠木に、注意に関する表示ラベルが貼付されていますので必ず読んでください。

⚠注意	花台には絶対に乗らないでください。また、エアコンの室外機等の重量物を置かないでください。

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・操作がない商品にも保守点検は必要です。
保守点検は、P.99をご参照ください。

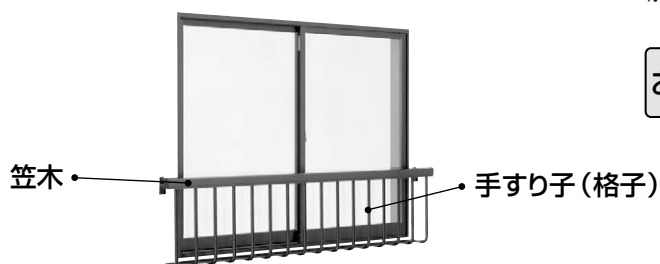
商品の特長【窓手すり】

● 商品の特長

・窓の外に設置され、人が外部へ転落することを防止するための手すりです。

● ご使用上の注意

お願い

・人が乗ったり、身を乗り出すなど無理な力をかけないでください。またロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。

※笠木に、注意に関する表示ラベルが貼付されていますので必ず読んでください。

お願い	無理な力（人が乗る、身を乗り出すなど）をかけないでください。落下、転落のおそれがあります。

● 商品に関して気をつけていただきたいこと

・操作がない商品にも保守点検は必要です。
　保守点検は、P.99をご参照ください。

第4章 お手入れ方法

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じたときの調整が大切です。お手入れしないままで放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。
汚れが付いたら早めにお手入れください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみ、腐食やさびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れください。また不具合が生じた場合、調整方法にしたがって調整してください。調整を行うことによりもとに戻ることがあります。

【薬品への配慮】
- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはく離などが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）がの表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。
  付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

【キズへの配慮】
- 金属たわしやカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズが付くおそれがあります。
- 日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などが付いたままふき掃除をすると、表面にキズが付くおそれがあります。

【電動商品の場合】
- お手入れのとき、電装部品に水がかからないようにご注意ください。故障するおそれがあります。
  電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取扱いの建築業者様、工務店様または販売店様にご相談ください。

【調整する場合】
- 商品の調整にあたっては、電動ドライバーは使わないでください。
  商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のねじをゆるめたりしないでください。
  商品の不具合やおもわぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する調整方法に従って調整を行ってください。
  ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取扱いの建築業者様、工務店様または販売店様に修理を依頼してください。

● アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品／アクリル・ポリカーボネート板

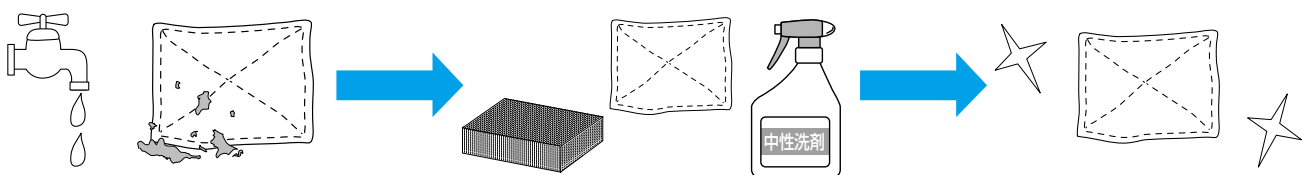
■スチール商品

・さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがついたら早めに洗い落としてください。
玄関ドアの鋼板表面を水拭きや中性洗剤によるお手入れを行っても表面の色や艶があせた状態が改善されない場合は、研磨材の入っていない鋼板に適したワックス（注1）を使い、お手入れ（注2）することをお勧めします。
注１：（ワックスの一例） セラリカコーテイングピュア
注２：ワックスを使用する場合にはワックスの用途を確認し、ワックスの説明書に従いお手入れを行ってください。ドア鋼板のお手入れに適さないワックスの使用は、変色や汚損の原因となります。

■樹脂製商品

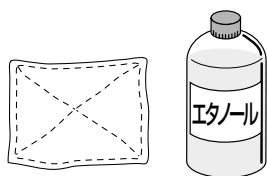
・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはく離が発生するおそれがあります。
・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。
・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはく離が発生するおそれがあります。

■アクリル・ポリカーボネート板

・有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーは商品にかからないようにしてください。
ひび割れの原因になります。

①柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ･砂などを洗い落とす

②柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきをする
※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い軽く洗い流します。

③乾いた布で、十分に水分をふき取る

汚れがひどい場合

①エタノールを柔らかい布にしめらせ、汚れを軽くふき取る
②すみやかに乾いた布で、エタノールをふき取る

※エタノールが商品に付いた状態で放置すると変色やはがれのおそれがあります。
※エタノールは「無水エタノール」の名称で薬局などで購入できます。

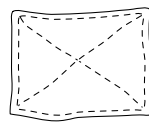
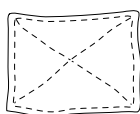
第4章 お手入れ方法

● アルミ・木の複合商品（エピソード　ウッド）

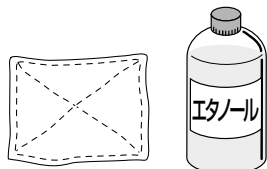
塗装面の劣化は木部分の劣化につながります。長期間塗装面が傷んだままにしておくと、取り替えに至ることもあります。木部分に木製家具ワックス（油性）をかけることにより、汚れが付きにくくなり、木部分の美しさを保つことができます。再塗装も含め日常のお手入れと、定期的なお手入れを行ってください。

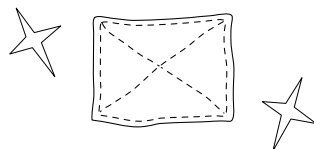
アルミ部分

「アルミ製商品」のお手入れをご覧ください（P.48参照）。

木部分

①かたく絞った柔らかい布で水ぶきをする
※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い軽く洗い流します。

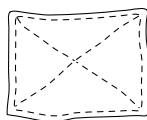
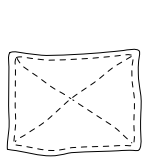
②必ず乾いた布で、十分に水分をふき取る
※木部分は湿気を嫌います。

マジック・クレヨンなどで汚れた場合

①エタノールを柔らかい布にしめらせ、汚れを軽くふき取る
②すみやかに乾いた布で、エタノールをふき取る
※エタノールが商品に付いた状態で放置すると変色やはがれのおそれがあります。
※エタノールは「無水エタノール」の名称で薬局などで購入できます。

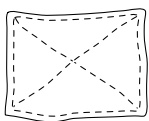
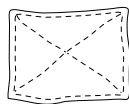
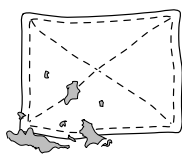
結露水・雨水などがかかった場合

・すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取る

※放置すると木部分に反りや狂い、カビなどの発生原因となることがあります。

● ガラス

・ガラス表面にキズがつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
・表面にキズがついてしまった場合はお早めにまずお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。

①柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取る

②乾いた布で、十分に水分をふき取る

● ハンドル・引手

①柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とす

②柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきをする
※水拭きで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い軽く洗い流します。

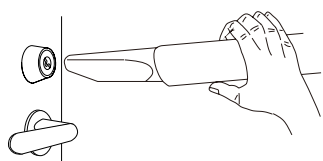
③乾いた布で、十分に水分をふき取る

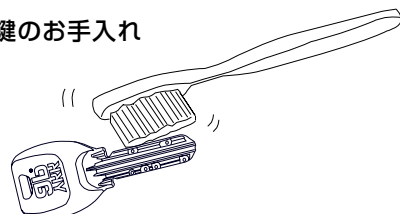
第4章 お手入れ方法

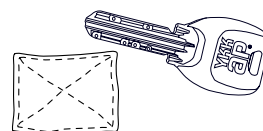
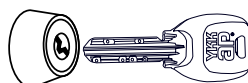
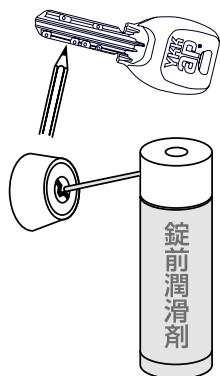
● 鍵・鍵穴

お願い

・油の含まれている潤滑剤（CRC、シリコンスプレーなど）はご使用しないでください。
油の含まれている潤滑剤をご使用されますと、油にホコリやゴミがついて鍵穴内部に粘着するため作動不良や故障の原因となります。

■鍵穴のお手入れ

掃除機を鍵穴につけ、左右にふって、中のゴミを吸い出すかパソコンのキーボードのゴミを飛ばすエアダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ばす

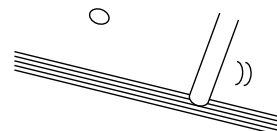
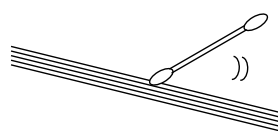
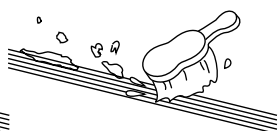
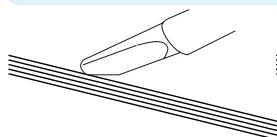
■鍵のお手入れ

古い歯ブラシなどで、きざみ部分や溝の汚れをかき出す
※定期的な清掃をしてください。

■鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき

①鍵のきざみ部分や溝を鉛筆でなぞるように黒く塗る、または錠前潤滑剤を鍵穴に少量スプレーする
※スプレーしすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。

②鍵穴に挿入し数回抜き差しする

③鍵に付着した黒い粉または潤滑剤を布などで必ずふき取る
※そのままご使用されますと、衣服等を汚す場合があります。

● 下枠・レール

・下枠やレールは特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れください。

①レールにミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取る、またはやわらかいブラシで砂ホコリを落とす

②割り箸の先に布を巻き付けたもので更にきれい汚れをふき取る

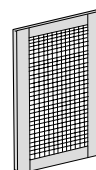
③レールにロウなどを塗り、窓を往復させ、ロウをふき取る
※レールと戸車ローラー部分のゴミを取り除くことができます。

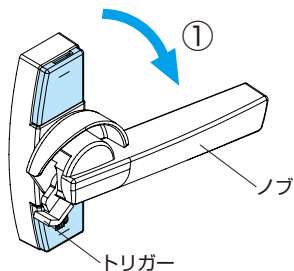
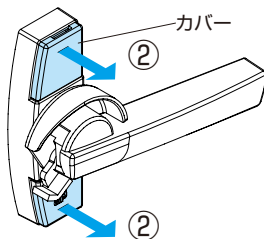
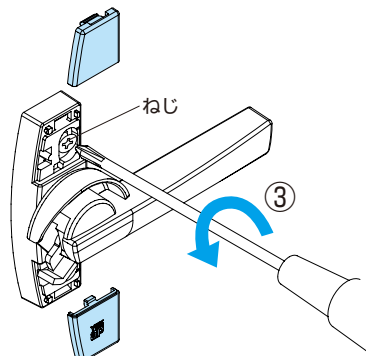
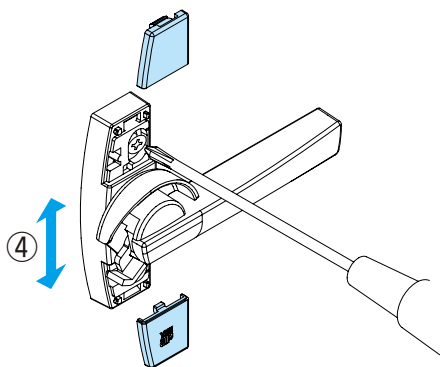
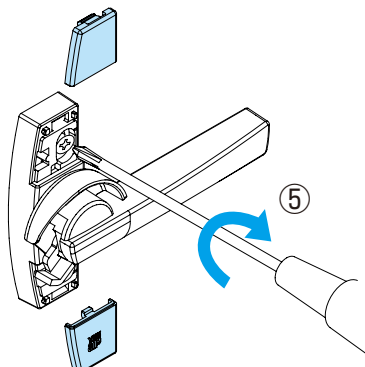
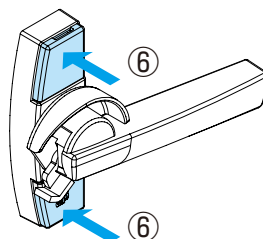
● 網戸（ネット部分）

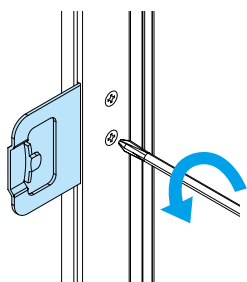
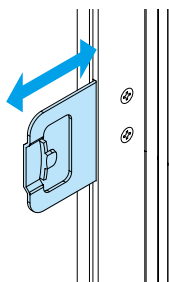
・網戸のはずし方・取付け方は、各商品のお手入れ方法をご覧ください。

①ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押えるように水洗いする
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い軽く洗い流します。

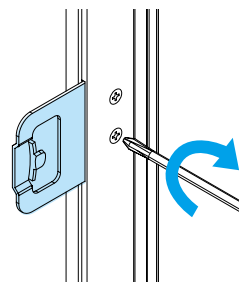
②水を十分にふき取り、乾燥させる

第4章 お手入れ方法【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

●クレセント（主錠）をかけても窓ががたつく場合などは、クレセントやクレセント受けの調整を行ってください。

● クレセント（主錠）の調整方法

① トリガーを指で押さえて、ノブを中間位置までまわす

② 上下のカバーをはずす

③ 上下のねじをゆるめる
※ ねじは絶対にはずさないでください 。

④ クレセントを上下に動かし調整する
※ 上下方向へ約2mm動かせます。

⑤ 調整後、上下のねじをしっかりしめる

⑥ 上下のカバーを取付ける

● クレセント受けの調整方法

① ねじをゆるめる
※ ねじは絶対にはずさないでください。

② クレセント受を左右に動かし調整する
※ 左右方向へ約2mm動かせます。

③ 調整後、上下のねじをしっかりしめる

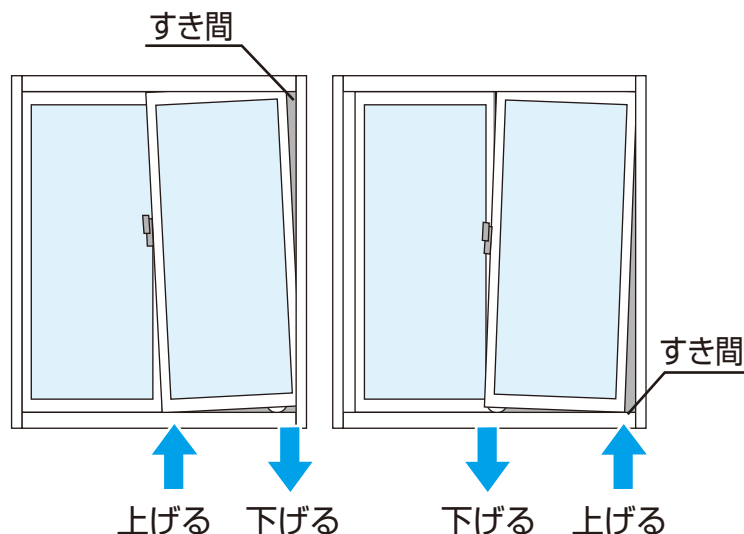
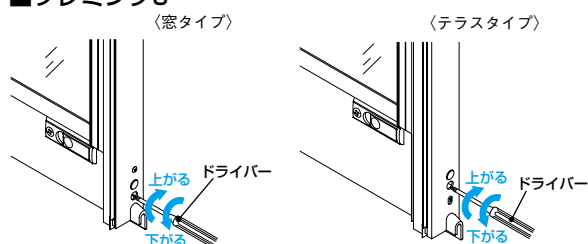
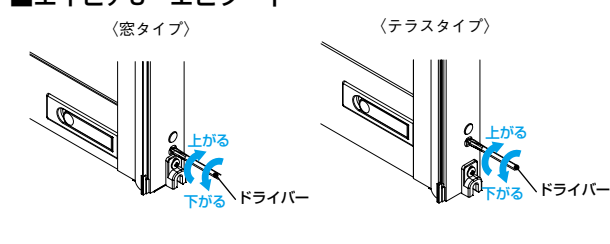
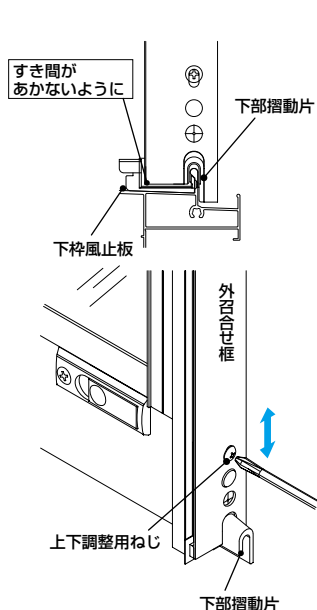
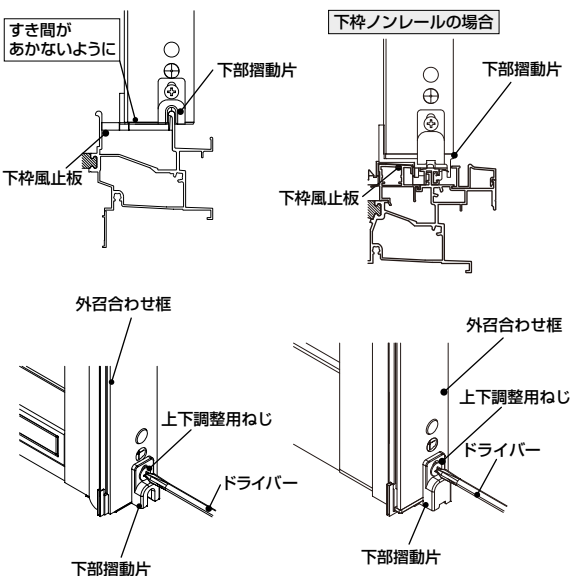
第4章 お手入れ方法【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

●窓を閉めても窓がしっかり閉らない場合などは、戸車の調整を行ってください。

・戸車調整を行ったときは、クレセント、クレセント受と下部摺動片（しゅうどうへん）も調整してください。

● 戸車の調整方法

① 穴ふさぎキャップをはずす

② ドライバーを回して調整する
※右にまわすと窓が上がります。
※左にまわすと窓が下がります。

③ 調整後、穴ふさぎキャップを付ける

■フレミングJ

■エイピアJ・エピソード

● 下部摺動片（しゅうどうへん）の調整方法

■フレミングJ　■エイピアJ・エピソード

①上下調整用ねじをゆるめる

②下部摺動片と下枠のすき間がなくなるように調整する

③上下調整用ねじをしっかりとしめる

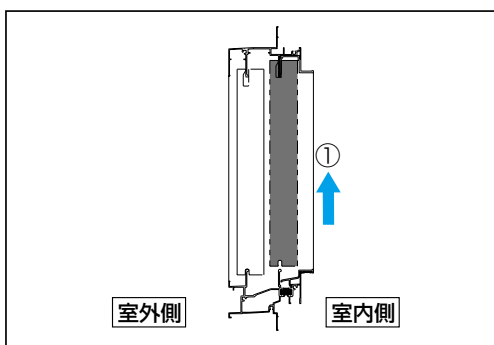
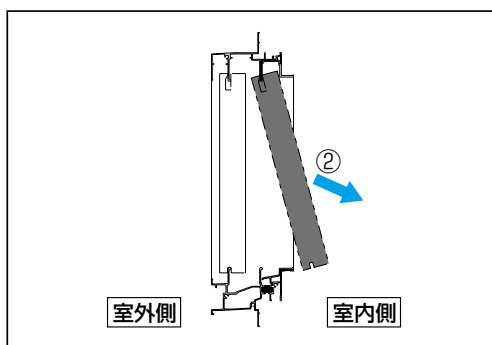
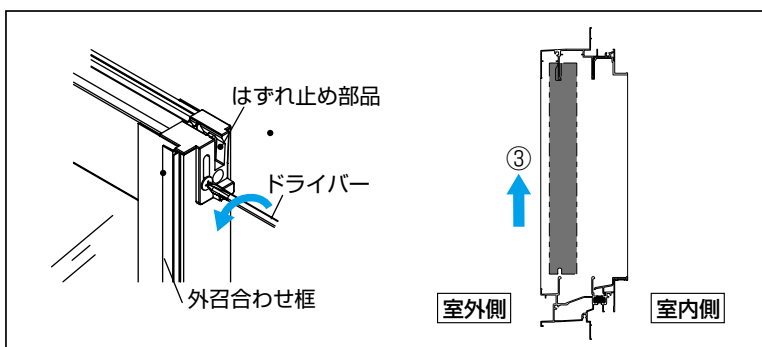
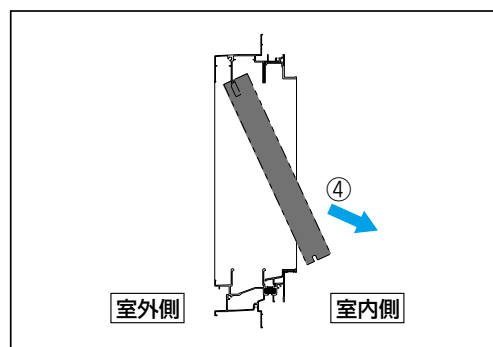
● 窓のはずし方・取付け方

⚠ 注 意

❗ お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、はずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・お手入れなどで必要な場合以外、窓をはずさないでください。
・ガラスの入った窓は重量が重くなっています。窓の取はずし、取付けを行う際は、2人以上で作業を行い、取扱は十分注意してください。

■「エイピアJ」・「エピソード」

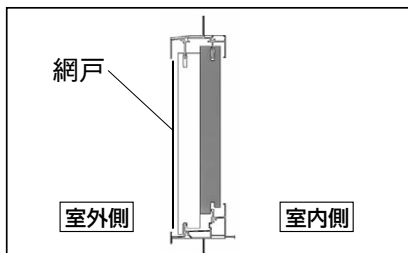
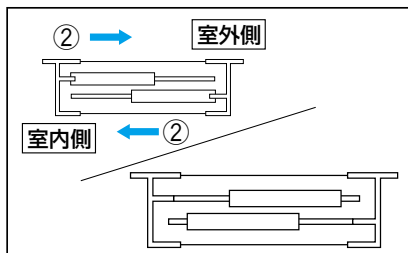
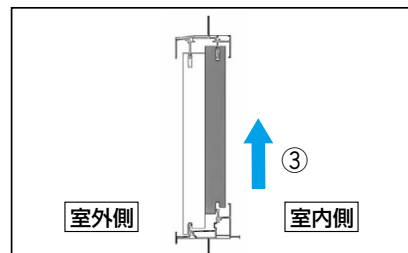
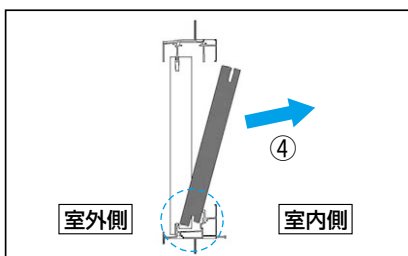
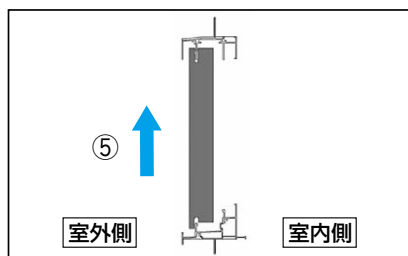
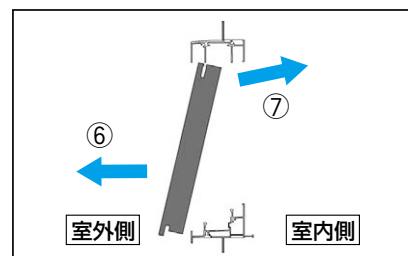
はずし方

①室内側の窓を持ち上げる

②持ち上げた窓の下部を手前に引いてはずす

③室外側の窓のはずれ止め部品の調整ねじをゆるめて解除し、窓を持ち上げる

②持ち上げた窓の下部を手前に引いてはずす

取付け方

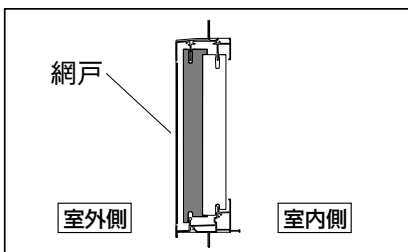
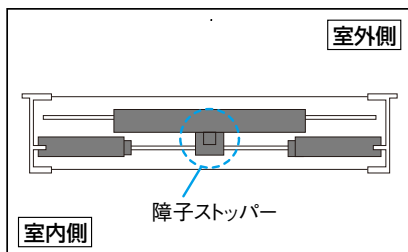
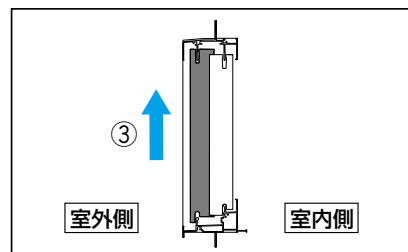
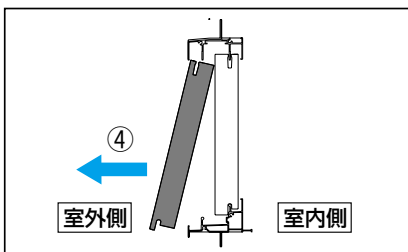
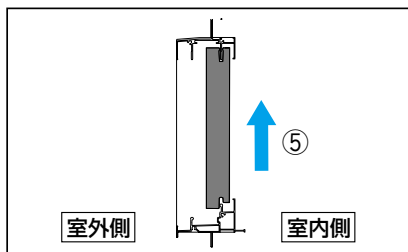
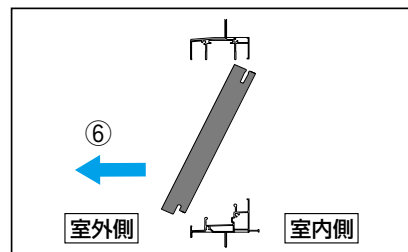
「はずし方」と逆の手順で行ってください。
※窓のはずれ止め部品は必ずかけてください。（P.55参照）

■「フレミングJ」

はずし方

・引違い窓・片引き窓<室内側から窓をはずす場合>

①「網戸のはずし方」（P.56参照）に従って、網戸をはずす

②窓を左右行き違いにする
※片引き窓の場合は最初に障子ストッパーを解除してください。（P.6参照）

③室内側の窓を持ち上げる

④持ち上げた窓を一度レールの間に下ろし、室内側に引いてはずす

⑤室外側の窓のはずれ止め部品の調整ねじをゆるめて解除し、窓を持ち上げる

⑥持ち上げた窓を一度室外側に出す
⑦室内側に引いてはずす

・両袖片引き窓

・窓は室外側からはずしてください。室内側からははずせません。
・2階以上に取付けている場合は、安全に十分ご注意いただき作業を行っていただくか、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。

①「網戸のはずし方」（P.56参照）に従って、網戸をはずす

②障子ストッパーを解除してください。（P.6参照）

③室外側の窓のはずれ止め部品の調整ねじをゆるめて解除し、窓を持ち上げる

④室外側に引いてはずす

④室内側の窓を持ち上げる

⑤持ち上げた窓を室外側に引いてはずす

取付け方

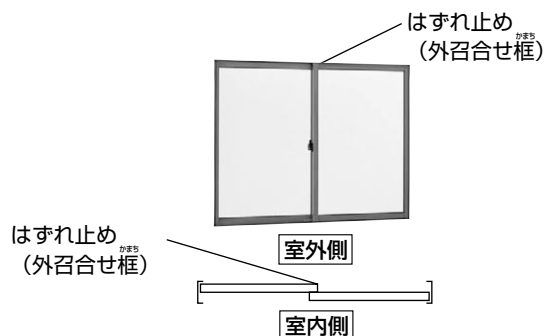
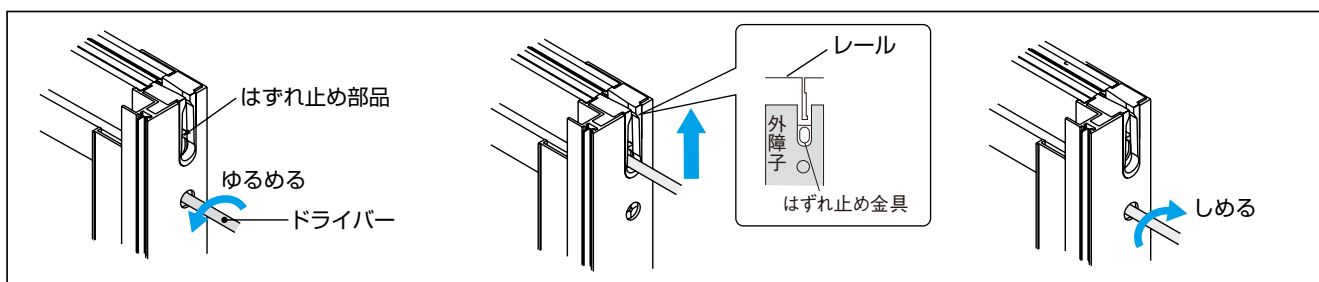
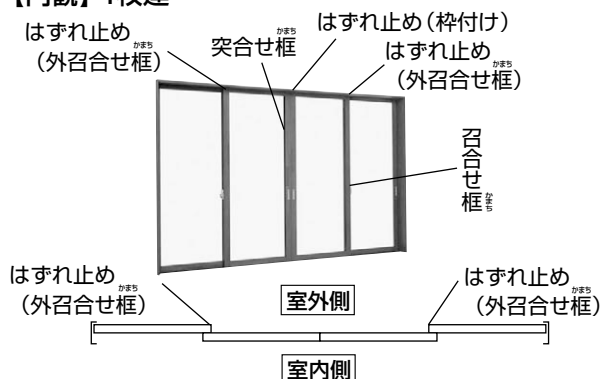
「はずし方」と逆の手順で行ってください。
※窓のはずれ止め部品は必ずかけてください。（P.55参照）

第4章 お手入れ方法【引違い窓・片引き窓・両袖片引き窓】

● 窓のはずれ止め部品のかけ方

⚠ 注 意

❗ お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、はずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

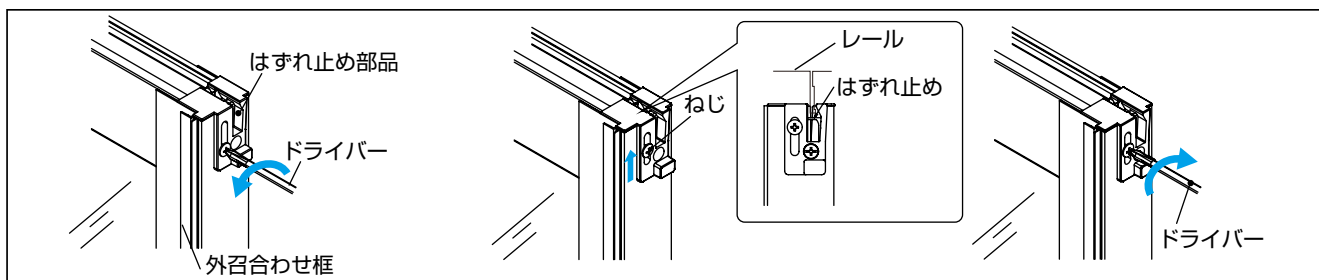
【内観】2枚建

【内観】4枚建

①調整ねじをゆるめる（反時計方向）

②はずれ止めを障子の開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げる

③窓を左右に動かし、レールとはずれ止めが干渉してないか確認する

④調整後、ねじをしっかりしめる（反時計方向）

⑤窓を持ち上げて、レールからはずれないことを確認する

■「エイピアJ」・「エピソード」の場合

①調整ねじをゆるめる（反時計方向）

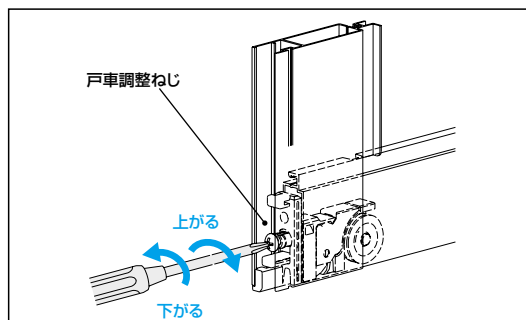
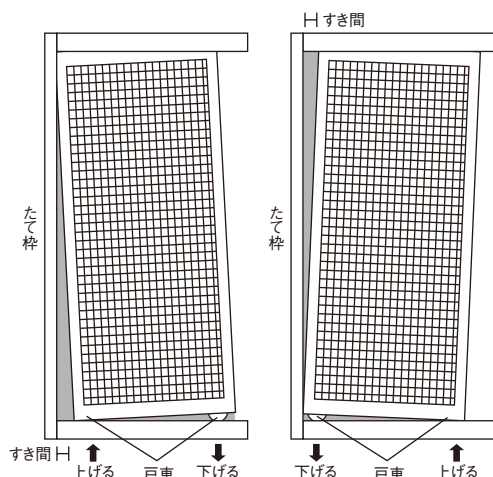
②はずれ止め部品を窓の開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げる

③窓を左右に動かし、レールとはずれ止めが干渉してないか確認する

④調整後、ねじをしっかりしめる（反時計方向）

⑤窓を持ち上げて、レールからはずれないことを確認する

● 網戸の調整方法

・網戸がきちんと閉まらない場合

①左右の上部はずれ止めのねじを１回転程度ゆるめ、はずれ止めを下げる
②戸車調整ねじを回し、上下に調整する
③左右上部のはずれ止めを開閉に支障のない範囲でいっぱいあげて、はずれ止めのねじをしっかりしめる
④網戸がはずれないことを確認する

● 網戸のはずし方

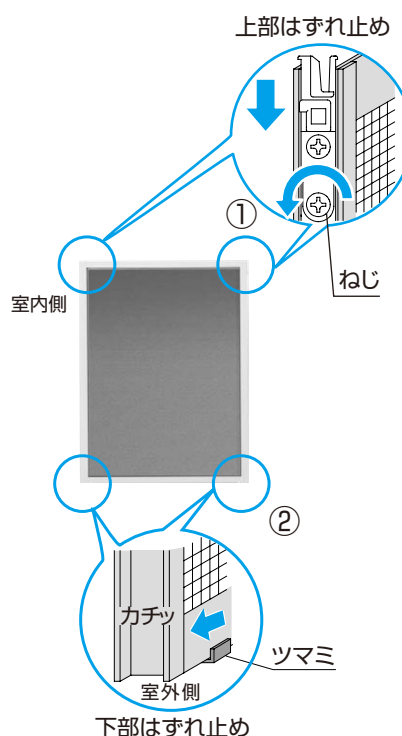
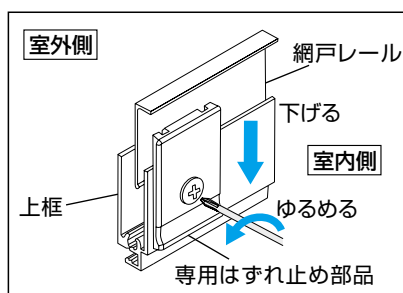
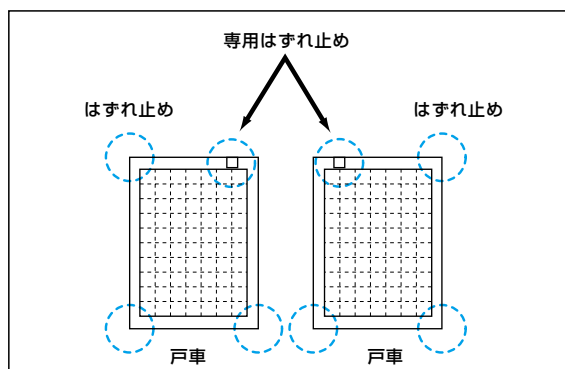
・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認のうえ、安全に十分注意して行ってください。
・保管する場合は、高温になる場所は避けて、屋内で立掛けてください。

①左右の上部はずれ止めのねじを１回転程度ゆるめ、はずれ止めを下げる
※ねじは絶対にはずさないでください。

②左右下部のツマミを矢印方向に「カチッ」と音が鳴るまで動かす
※下部のはずれ止めが解除されます。

③網戸を両手で持ち上げ、室外側に押し出してはずす
※網戸をしっかり持ってはずしてください。
※網戸を落とさないよう注意してください。

■両袖片引き窓　引違い用網戸の場合
・専用はずれ止めのはずし方

室外側
網戸レール
下げる
室内側
上框
ゆるめる
専用はずれ止め部品

・専用はずれ止めのねじを１回ほどゆるめ、はずれ止めを下げる

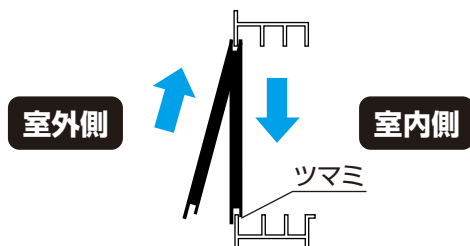
● 網戸の取付け方

⚠注 意

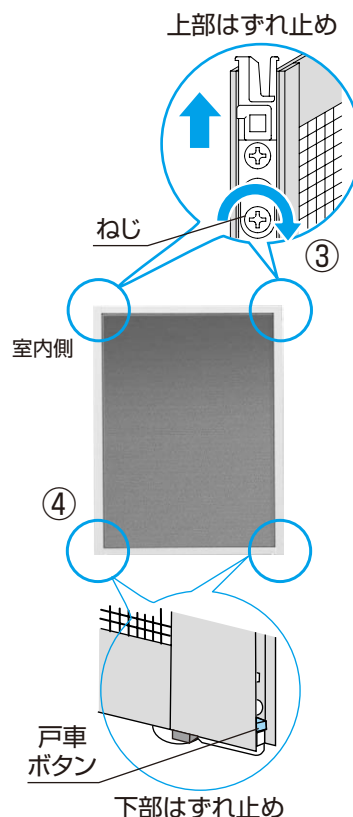
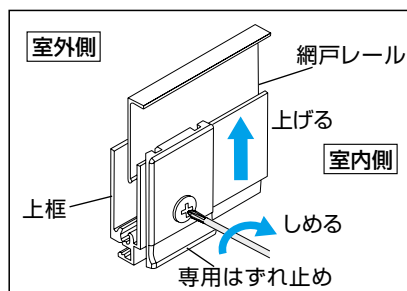
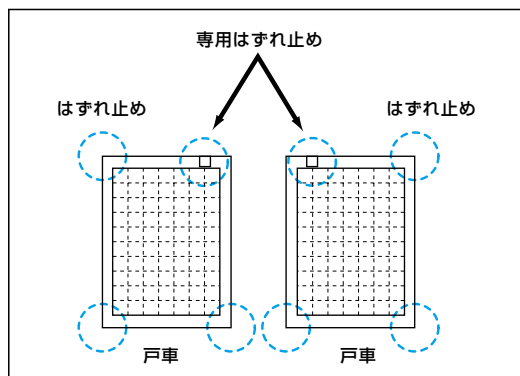
❗お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けるときは、落下防止のため表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

❗落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。

・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認のうえ、安全に十分注意して行ってください。

①網戸を室外側から上レールに合わせて押し上げ、下部を手前に引き、下レールにのせる
※網戸をしっかり持って取付けてください。
※網戸を落とさないよう注意してください。

②左右上部のはずれ止めを開閉に支障のない範囲でいっぱいにあげて、はずれ止めのねじをしっかりしめる
※上部はずれ止めがかかります。

③網戸を左右に動かして枠に当てる
※枠に当てると戸車ボタンが押されて下部はずれ止めがかかります。
※左右のはずれ止めをかけてください。

④網戸がはずれないことを確認する

■両袖片引き窓　引違い用網戸の場合
・専用はずれ止めのかけ方

・専用はずれ止めを網戸レールに軽く当たるまで上げ、専用はずれ止めのねじをしっかりしめる
※専用はずれ止めがかかります。

第4章 お手入れ方法【シャッター手動・内部操作シャッター】

・シャッターにホコリが付いたまま開閉すると、表面がキズ付くおそれがあります。こまめに汚れを取り除いてください。
・水をかける場合は、窓を閉めた状態で行ってください。

● シャッターのお手入れ

①汚れを洗い落す

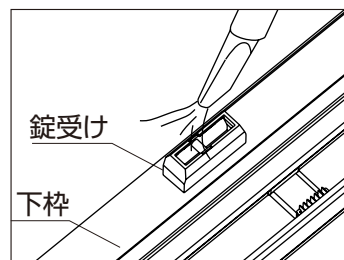
②乾いた布で水分をふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

室外側

● 錠受のお手入れ

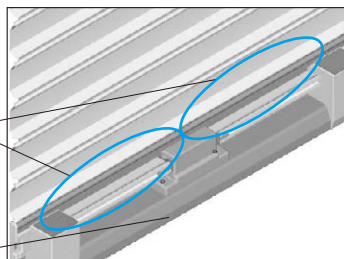
①砂ホコリや異物を掃除機で吸い取る

②柔らかいブラシで汚れを落し、水で洗い流す

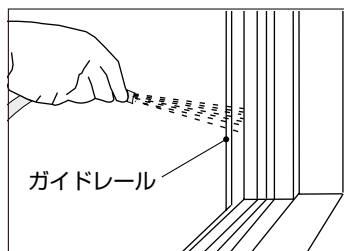
③乾いた布で十分ふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

● 座板のお手入れ

① 解錠レバーの奥に詰まった砂ホコリや異物を掃除機で吸い取る

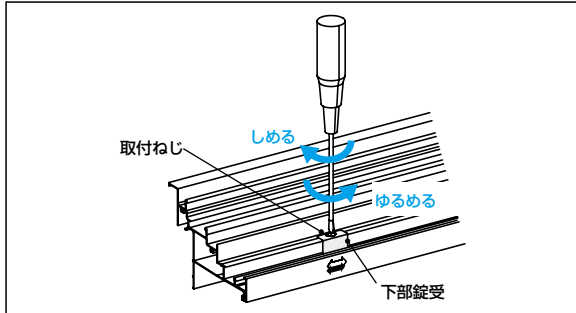
②柔らかいブラシで汚れを落し、水で洗い流す

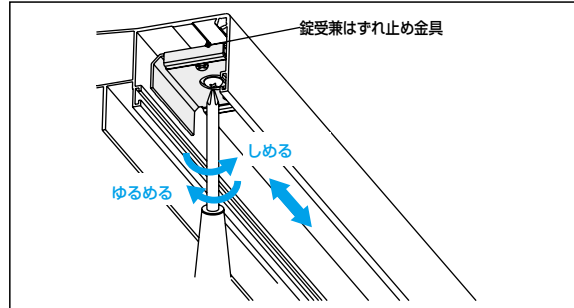
③乾いた布で十分ふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

● ガイドレールのお手入れ

①柔らかいブラシで汚れを落し、水で洗い流す

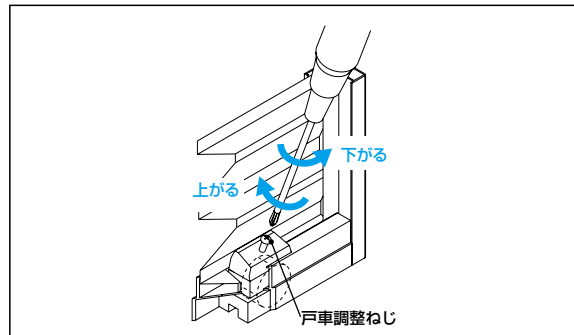
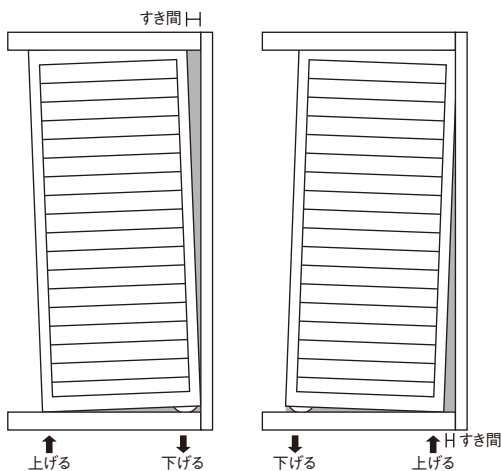
②乾いた布で水分をふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（1～2%水溶液）で軽く洗い、十分な水で洗剤を流してください。

● 雨戸の調整方法

・鍵がかからない・かかりが悪い場合など

下枠錠受の調整

①取付ねじをゆるめる
②下枠錠受を棹に当るように調整する
③取付ねじをしっかりしめる

上枠錠受兼はずれ止めの調整

①取付ねじをゆるめる
②上下錠受兼はずれ止め金具を錠がかかるように調整する
③取付ねじをしっかりしめる

・雨戸がきちんと閉まらない場合など

戸車（建付）調整

戸車の調整ねじをまわし調整する
※雨戸に貼付しています調整ラベルに従い調整してください。

第4章 お手入れ方法【たてすべり出し窓】

● たてすべり出し窓のお手入れ方法

・窓の室外側ガラス面をお手入れする際には、窓につかまり体を支えるなど無理な力をかけないでください。
・取り付ける網戸の種類によっては、窓と窓枠のすき間が狭くなることがあります。
・必要に応じて柄のついた清掃用具などをおすすめします。

窓を全開にすると90°まで開き、窓の外側のお手入れができます。
※窓の操作方法は、P.14を参照してください。

● 横引きロール網戸のお手入れ方法

・お手入れなどでケースのカバーを開閉する際は、指をはさまないように注意してください。
・ケースのカバーを開くとカバーの角や端部が露出した状態となりますの、接触してケガをしないように注意してください。
・お手入れの際は、窓を開けて行ってください。窓を閉じた状況で網戸を下げると引手材が　ハンドルに当ります。

ケースのカバーを開けるとネットの室外面のお手入れができます。

・ネット室内面のお手入れ
①窓を開けて、網戸を閉める

②ホコリを取り除いた後、柔らかい布またはスポンジを水に浸し、軽くふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（１～２%の水溶液）で軽く洗い流してください。

③水を十分にふき取り、乾燥させる

・ネット室外面のお手入れ
①窓を開けて、網戸を閉める

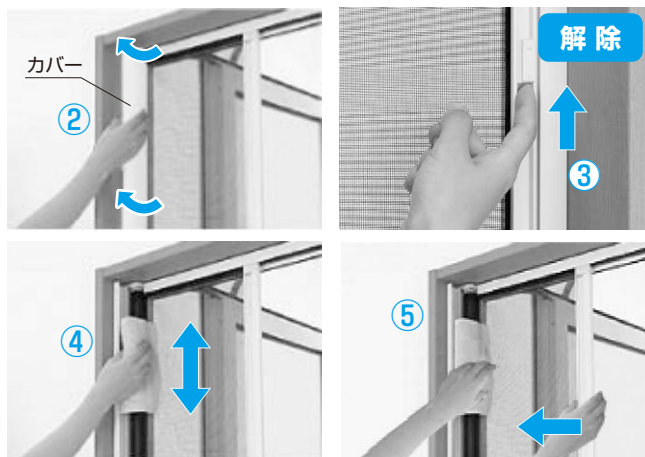
②ケースのカバーを手前に引いて開ける

③引手材を押えながら解除ツマミを上に上げて固定を解除する

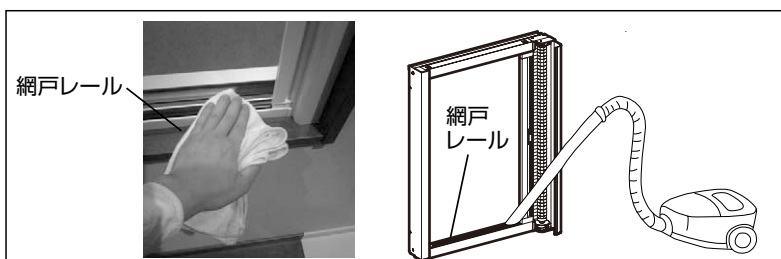
④固く絞った柔らかい布でケース内のネットをたてにふく
※ふいている面が室外側です。

⑤引手材を持ったまま網戸を約5cm巻き戻す

⑥④、⑤の工程を繰り返し、すこしづつネットをふく

⑦お手入れ後ケースのカバーを閉める

・網戸レールのお手入れ
①網戸レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取る

②網戸レールの上面に付着した汚れは、柔らかい布などで水ぶきする

お手入れ方法【たてすべり出し窓】

● 横引きロール網戸のこんな場合は・・・

・お手入れの際は、窓を開けて行ってください。窓を閉じた状況で網戸を下げると引手材がハンドルに当ります。

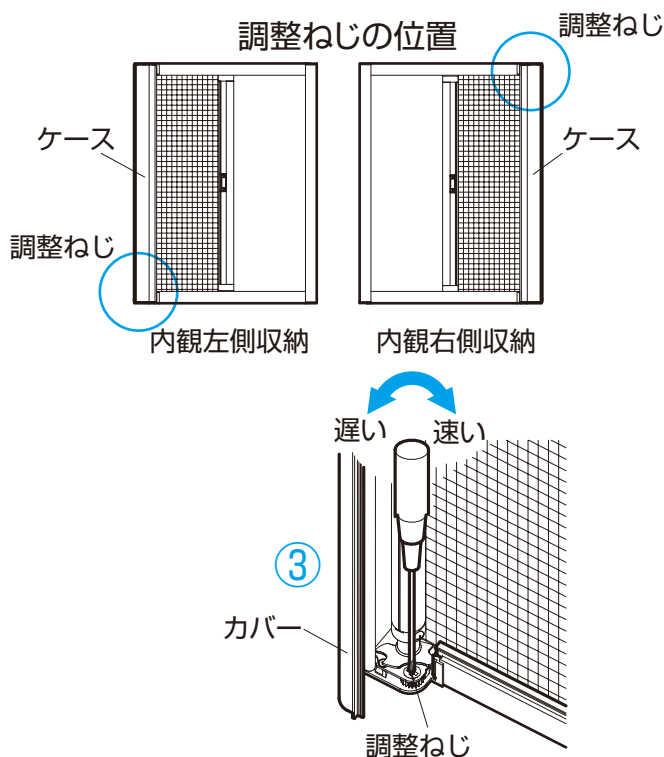
・網戸が巻き取られない、スムーズに巻き取られない場合

・調整を行う前に、網戸を2～3回開閉しネットを巻き直してください。
ネットにくせのあるまま調整をすると、調整時と使用中の巻き取りスピードが異なる可能性があります。

①窓を開けて、網戸を閉める

②ケースのカバーを手前に引いて開ける

③調整ねじをまわし、巻取りスピードを調整する
※ケースの配置により調整ねじの位置が異なります。
※調整ねじを回すときは、一度にまわしすぎないでください。
目安として1/4回転（90°）ぐらいづつ確認しながら調整してください。

④調整後ケースのカバーを閉める

・レールのミゾからネットがはずれてしまった場合

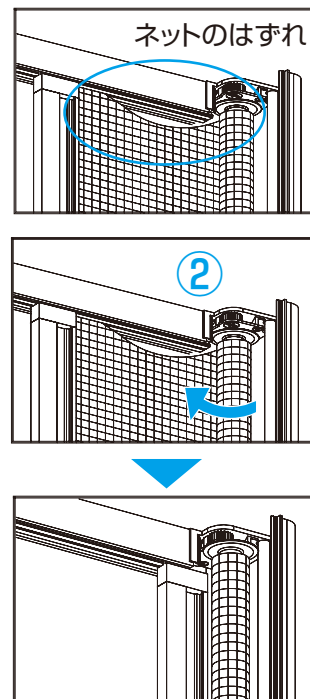
①窓を開ける

②ケースのカバーを手前に引いて開ける

③手でネットを最後まで巻き取る
※ネットがレールに入ります。
※ネットが折れないようにゆっくりと巻き取ってください。

④網戸を 2 ～ 3 回開閉し、ネットを巻き直す

⑤調整後ケースのカバーを閉める

第4章 お手入れ方法【たてすべり出し窓】

● 上げ下げロール網戸のお手入れ方法

・お手入れなどでケースのカバーを開閉する際は、指をはさまないように注意してください。
・ケースのカバーを開くとカバーの角や端部が露出した状態となりますの、接触してケガをしないように注意してください。
・お手入れの際は、窓を開けて行ってください。窓を閉じた状況で網戸を下げると網戸がハンドルに当ります。

ケースのカバーを開けるとネットの室外面のお手入れができます。

・ネット室内面のお手入れ
①窓を開けて、網戸を閉める

②ホコリを取り除いた後、柔らかい布またはスポンジを水に浸し、軽くふき取る
※水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤（１～２％の水溶液）で軽く洗い流してください。

③水を十分にふき取り、乾燥させる

・ネット室外面のお手入れ
①窓を開けて、網戸を閉める

②ケースのカバーを上に持ち上げながら手前に引いて開ける

③かたく絞った柔らかい布でケース内のネットを横にふく
※ふいている面が室外側です。

④ケースのカバーを持ち上げながら手前側のボールチェーンを引き、網戸を約5cm巻き上げる

⑤③、④の工程を繰り返し、少しづつネットをふく

⑥お手入れの後、ケースカバーを閉める

● 上げ下げロール網戸のこんな場合は・・・

・スムーズに網戸が開閉できない、ネットが平行に上がらない！
①窓を開けて、網戸を閉める

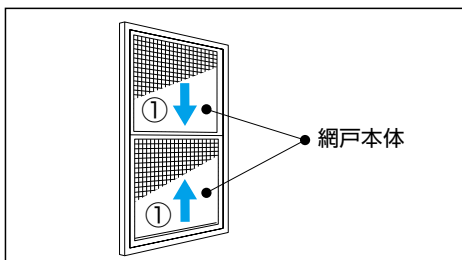
②奥側のポールチェーンを引き､ネットをケースから出しきる

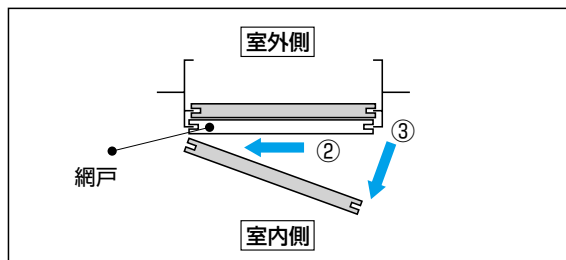
③手前側のポールチェーンを引き､ゆっくりとネットを上げる

・レールからネットがはすれてしまった！
①手前側のボールチェーンを引き､ネットをゆっくり最後まで上げる

②奥側のポールチェーンを引き､ネットを下げ､レールにネット端部が入っていることを確認する

● 上げ下げ網戸のはずし方・取付け方

・お手入れの際は、窓を開けて行ってください。窓を閉じた状況で網戸を下げると網戸がハンドルに当ります。

はずし方

①網戸を窓の中央部に移動する

②網戸を左側に押しつける
③右側から室内側に引く
※内側の網戸から1枚づつ行ってください。

取付け方

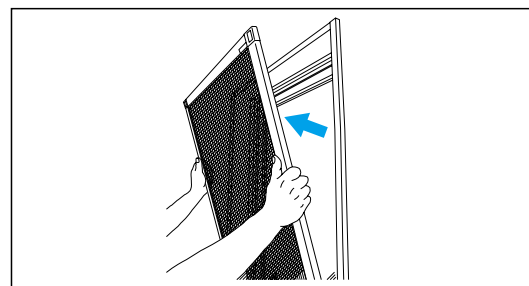
①網戸の左側のミゾをレールに入れる
②網戸の右側を室外側に押し、ミゾをレールに入れる
③網戸を前後上下に軽くゆすり、はずれないことを必ず確認する
※室外側の網戸から1枚づつ取付けてください。

● （室内）固定網戸のはずし方・取付け方

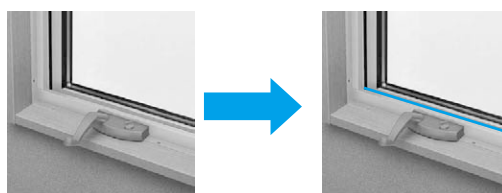
⚠注 意

・落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

はずし方

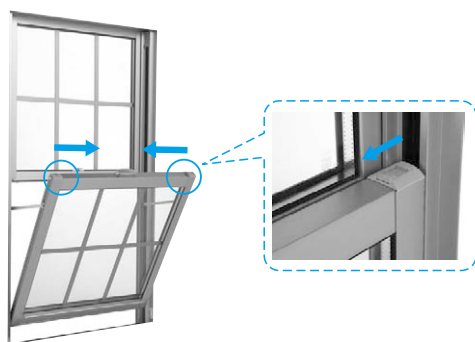
①網戸を倒れないように押さえながら四隅に付いているツマミを下から順に矢印方向へスライドする

②網戸の上部を持ち、室内側（手前）に引く

取付け方

①網戸を下枠のミゾに入れる
②網戸を室外側に押す
③網戸が倒れないように押えながら、四隅についているツマミを上から順に外側へスライドする
※はずれ止めがかかります。
④網戸を前後上下に軽くゆすり、はずれがないことを必ず確認する

①網戸を下枠（青色部）にのせる

● 室外側ガラス面のお手入れ方法

お 願 い

- 下窓の室外側ガラス面をお手入れする際や網戸の脱着するとき以外は、下窓を室内側に倒さないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 下窓を室内側に倒した状態での放置、窓の開閉や無理な荷重をかけないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ず両手で静かに操作し、窓に無理な荷重をかけないでください。

下窓のたおし方

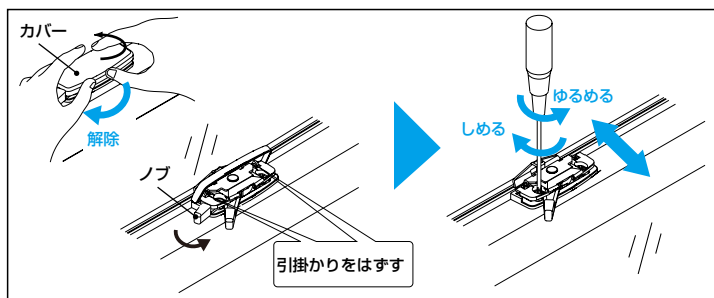
①窓を10cm程度上げる
②両端にあるシフターを矢印方向にスライドさせる
③窓を静かに室内側へ倒す

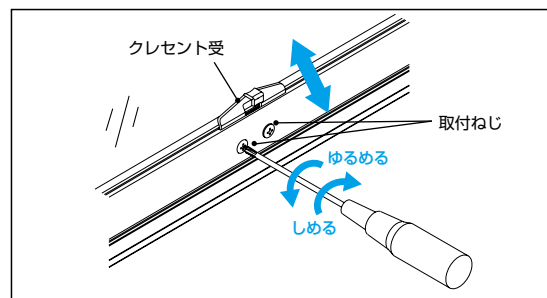
下窓の戻し方

①窓を静かに起こす
②両端にあるシフターを「カチッ」と音がするまで、窓を室外側へ押す
③窓を前後と上下にかるく動かし、はずれないことを必ず確認する

● 上げ下げ窓の調整方法

クレセント（主錠）をかけても窓ががたつく場合などは、クレセントやクレセント受けの調整を行ってください。

・クレセント（主錠）の調整

①クレセントを解除し、両手でカバーを手前に引くように開く
②引掛かりを片側ずつはずし、カバーをはずす
③ノブをかくれている取付ねじが見える位置まで戻す
④取付ねじをゆるめ、前後に動かし調整する
※取付ねじは絶対にはずさないでください。
⑤取付ねじをしっかりしめ、カバーを取付ける

・クレセン受の調整

①下窓をたおす
※下窓のたおし方を参照してください。
（P.64　参照）
②取付ねじをゆるめる
※取付ねじは絶対にはずさないでください。
③クレセント受を上下に動かし調整する
④取付ねじをしっかりとしめる
⑤下窓を戻す
※下窓の戻し方を参照してください。
（P.64参照）

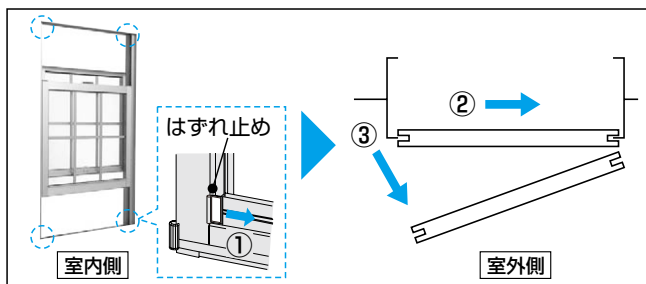
第4章 お手入れ方法【上げ下げ窓】

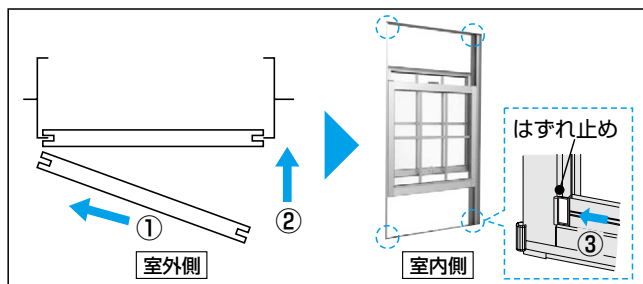
● 固定網戸のはずし方・取付け方

⚠注意

・落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

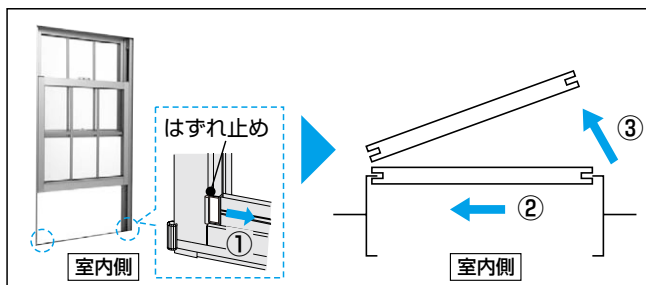
・室外側から取りはずし、取付けを行いますので、二階以上に取付けている場合はお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。

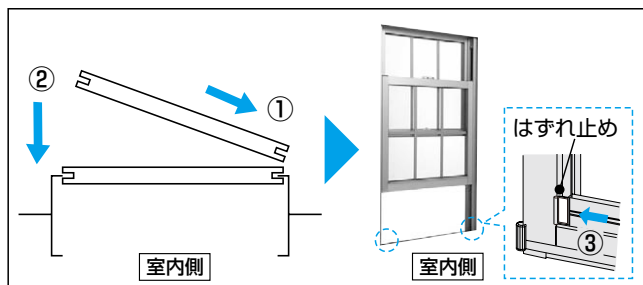
はずし方

①室内側より上下左右4ヶ所についているはずれ止めを矢印の方向にスライドする
②室外側より網戸の右側に押しつける
③網戸の左側から室外側に引く

取付け方

①室外側より網戸の左側のミゾをレールに入れる
②網戸の右側を室内側に押し、ミゾをレールに入れる
③室内側より上下左右4ヶ所についているはずれ止めを矢印の方向にスライドしてかける
④室内側より網戸を前後左右に軽く動かし、はずれないことを必ず確認する

● 上下スライド網戸のはずし方・取付け方

・落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

はずし方

①室内側より下部両端についているはずれ止めを矢印の方向にスライドする
②室外側より網戸の左側に押しつける
③網戸の右側から室外側に引く

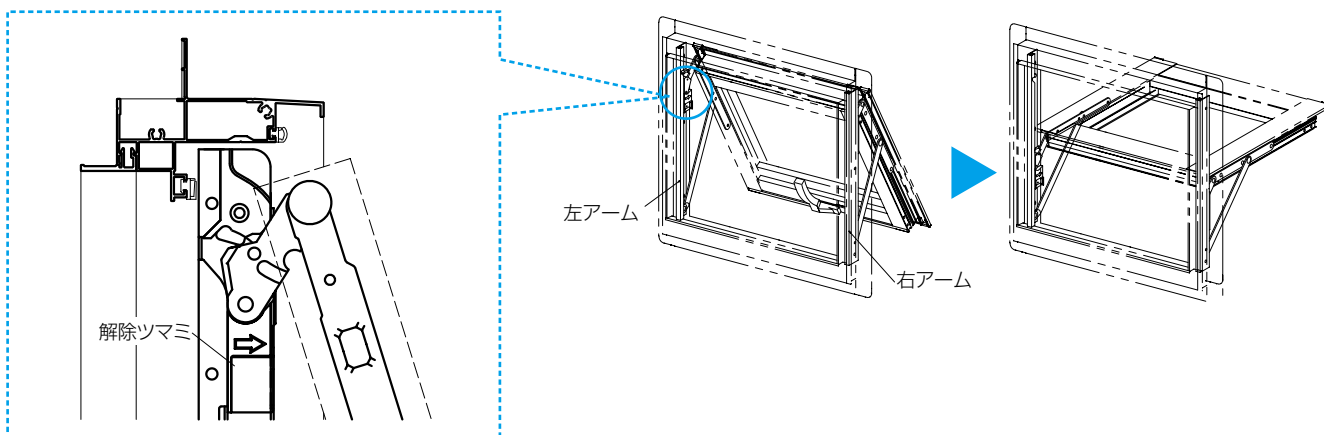
取付け方

①網戸を一度、室外側に出してから網戸の右側のミゾをレールに入れる
②網戸の左側を室内側に引き、ミゾをレールに入れる
③室内側より下部端部についているはずれ止めを矢印の方向にスライドする
④室内側より網戸を前後左右に軽くゆすり、はずれないことを必ず確認する

第4章 お手入れ方法【すべり出し窓】

● すべり出し窓のお手入れ方法

・窓の室外側ガラス面を掃除する以外、開放状態にしないでください。
・お掃除モードでの放置や、無理な荷重をかけないでください。無理な力がかかると破損や開閉不具合のおそれがあります。
・ガラスの重量がありますので、しっかり確実に手で押さえて開けてください。
・必要に応じて柄のついた清掃用具などをおすすめします。

570<H≦770のサイズは約62°、370<H≦570のサイズは90°に開放して外側ガラス面の清掃ができます。
※上記以外のサイズは、お掃除モードになりません。

■カムラッチハンドルの場合

お掃除モード

・室内側から見て左アームの解除ツマミを室外側にへ押しながら、窓を押し開く
※解除ツマミが固くて押せない場合は、少し窓を押し上げると動きやすくなります。

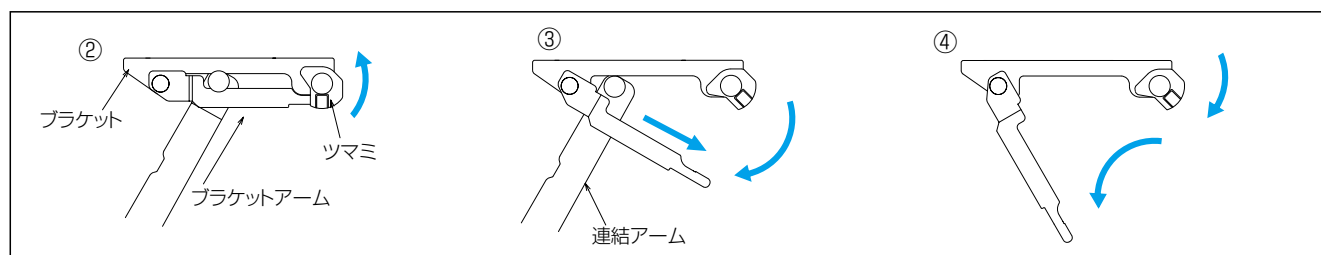
お掃除モード　解除

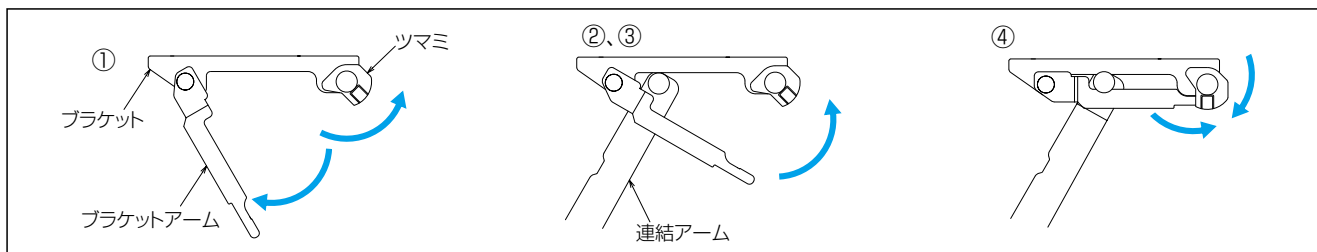
・室内側から見て左アームの解除ツマミを室外側にへ押しながら、窓を閉める
※解除ツマミが固くて押せない場合は、すこし窓を押し上げると動きやすくなります。

■オペレーターハンドルの場合

（内観）

お掃除モード

①窓を開ける
②ブラケットのツマミを矢印方向に回す
③ブラケットアームを開き、連結アームをブラケットからはずす
④ブラケットアームを閉じ、ブラケットのツマミを矢印方向にまわす

お掃除モード　解除

①ブラケットのツマミを矢印方向にまわし、ブラケットアームを開く
②連結アームをブラケットに押し当て、連結アームの突起部をブラケットとブラケットアームにはさみ込む
③ブラケットのツマミを矢印方向にまわす
※ブラケットアームが固定されます。

● 横引きロール網戸のお手入れ方法

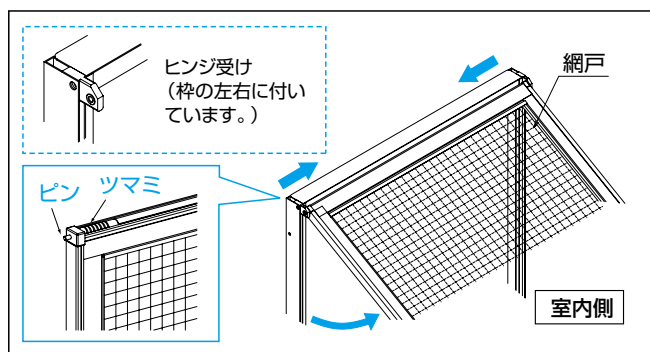
・たてすべり出し窓の横引きロール網戸のお手入れ方法と同じです。（P.60　参照）

● 上げ下げロール網戸のお手入れ方法

・たてすべり出し窓の上げ下げロール網戸のお手入れ方法と同じです。（P.62　参照）

● 上げ下げ網戸のはずし方・取付け方

・たてすべり出し窓の上げ下げ網戸のはずし方・取付け方と同じです。（P.63　参照）

● 内開き網戸のお手入れ方法

はずし方

①網戸を開く
②片手で網戸をしっかり持ち、片側のツマミを矢印の方向にスライドさせる
③ツマミをスライドさせた状態で、室内側に少し引く
④網戸をしっかり持ち、もう片側のツマミを矢印の方向にスライドさせる
⑤ツマミをスライドさせた状態で網戸を持ち、室内側に引いて網戸をはずす

取付け方

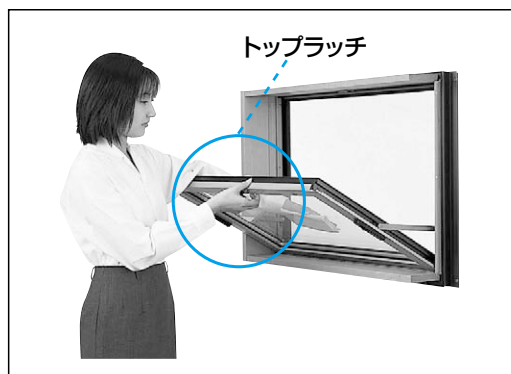
①網戸をを両手しっかりと持ち、両側のヒンジをヒンジ受にあわせる
②片手をはなし、片側のツマミをスライドさせ、ヒンジ受にヒンジを入れる
③同様に、もう片側のヒンジをヒンジ受に、ツマミをスライドさせ入れる
④網戸を両手で持ち、上下左右に軽く動かし必ずはずれないことを確認する

第4章 お手入れ方法【内倒し窓】

● 内倒し窓のお手入れ方法

- 窓の室外側ガラス面をお手入れする際や網戸を脱着するとき以外は、お掃除モードにしないでください。
- お掃除モードでの放置や、無理な荷重をかけないでください。無理な力がかかると破損や開閉不具合のおそれがあります。
- ガラスの重量がありますので、しっかり確実に手で押さえて開けてください。

室外側ガラス面のお手入れする場合、お掃除モードにするとお手入れできます。

お掃除モード

①窓を閉める
②開き角度調整レバーを下げる
※お掃除モードになります。

③トップラッチを持ち窓を手前に倒す

お掃除モード　解除

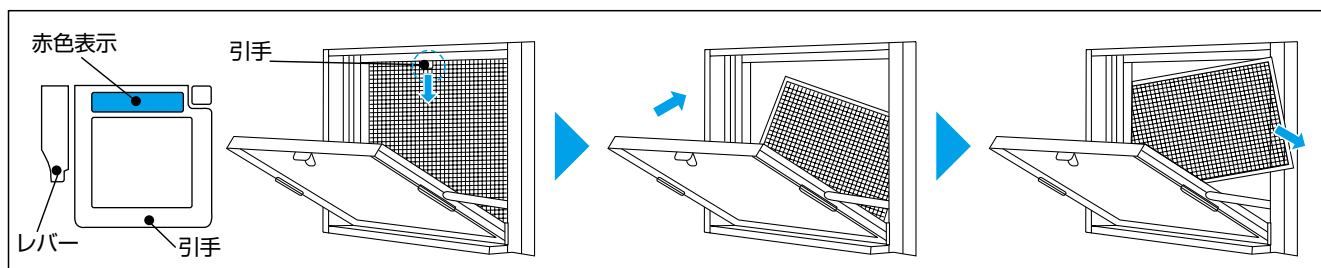
・窓を静かに閉める
※窓を閉めるとお掃除モードが解錠されます。

● （室外）固定網戸のはずし方・取付け方

⚠注意

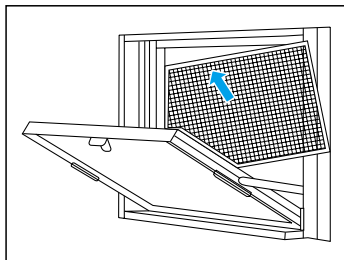
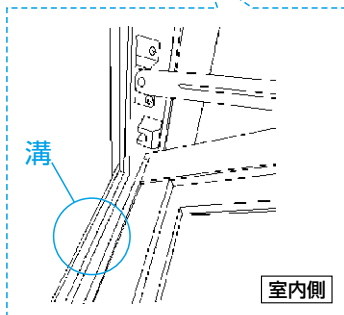
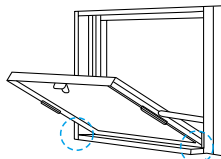
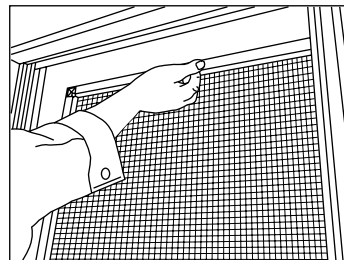
❗ 網戸引手の赤字表示が見えると網戸が落下するおそれがあります。
網戸を手前に引き寄せ、はずれ止めの赤字表示が見えなくなるよう確実に取付けてください。

- 網戸をはずす場合、室内側からはずしてください。
- お掃除モードの設定がない窓に取付いている場合は、室外側から取付け・取はずしを行いますので、2階以上に取付いている場合は、お取扱いの建築会社様、工務店様または販売店様にご相談ください。

はずし方

①お掃除モードにする
②上部中央に付いているレバーを引手側に寄せながら引手を下方向へ引く
※ラッチが下がり網戸がはずせる状態になります。

③引手を下方向に引きながら、網戸を室外側に倒す

④網戸を斜めにしながら室内に取り込む

取付け方

①網戸を室外側に出す
※網戸を落とさないように
注意してください。

②網戸上部中央の引手と網戸のたて部分を持ち、下部をサッシに沿わせるようにおろし、ミゾにのせる

③網戸上部中央の引手を下方向に引きながら、室内側に引きよせる
※このとき、網戸のたて部分を持っていた手を離してください。
④網戸が室内側いっぱいに引き寄ったら、下方向に引いていた引手をゆるめ、認識ラベルが見えなくなることを確認する
⑤網戸を前後左右に軽く動かし網戸がはずれないことを確認する

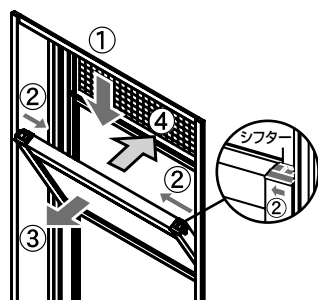
● 上下窓の室外側ガラス面のお手入れ方法

お願い

・上下窓の室外側ガラス面をお手入れする際や網戸の脱着するとき以外は、下窓を室内側に倒さないでください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・上下窓を室内側に倒した状態での放置、窓の開閉や無理な荷重をかけないでください。
破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・必ず両手で静かに操作し、窓に無理な荷重をかけないでください。

・上下窓は連動するため、同時に内倒しにしないでください。
・外から水をかけてお手入れする場合は、必ず窓を閉めてください。室内側に水が入る原因になります。
・網戸がついている場合は、網戸をはずしてください。
※固定網戸のはずし方・取付け方を参照してください。（P.71　参照）

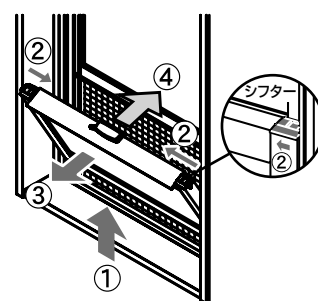
上下窓の室外側ガラス面のお手入れする場合、上下窓を内側にたおしてお手入れできます。

・上窓のたおし方、戻し方

たおし方

①窓を全開にする
②左右にあるシフターを矢印方向にスライドさせる
③窓を静かに室内側へ倒す

戻し方

①窓を静かに起こす
②室外側へ両端にあるシフターを「カチッ」と音がするまで窓を室外側へ押す
③窓を前後と上下に軽く動かし、はずれないことを必ず確認する

・下窓のたおし方、戻し方

たおし方

①窓を10cm程度上げる
②両端にあるシフターを矢印方向にスライドさせる
③窓を静かに室内側へ倒す

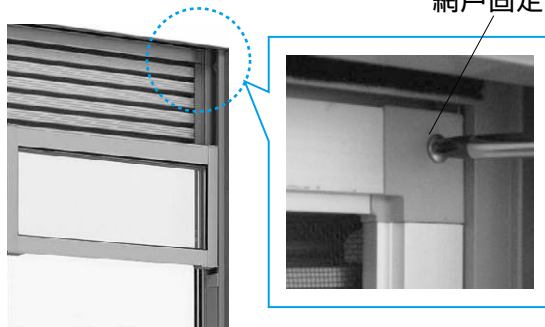
戻し方

①窓を静かに起こす
②室外側へ両端にあるシフターを「カチッ」と音がするまで窓を室外側へ押す
③窓を前後と上下に軽く動かし、はずれないことを必ず確認する

● 固定網戸のはずし方・取付け方

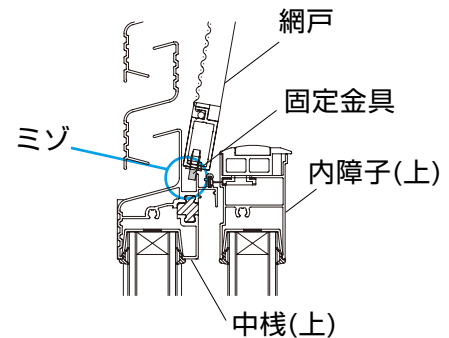
・上窓の固定網戸

はずし方

①上窓を全開にする

②網戸固定ねじをはずす
※網戸固定ねじはなくさないでください。

③網戸を室外側に倒し、斜め方向に持ち上げてはずす

取付け方

①網戸を下枠のミゾに入れる
②網戸を室外側に押す
③網戸が倒れないように押えながら、網戸固定ねじを2ヶ所しっかりしめる
④網戸を前後上下に軽く動かし、はずれがないことを必ず確認する

・下窓の固定網戸

はずし方

①下窓を約5cm開ける

②窓を内側に倒す
※たおし方はP.70を参照ください。

③網戸固定ねじをドライバーではずす
※網戸固定ねじはなくさないでください。

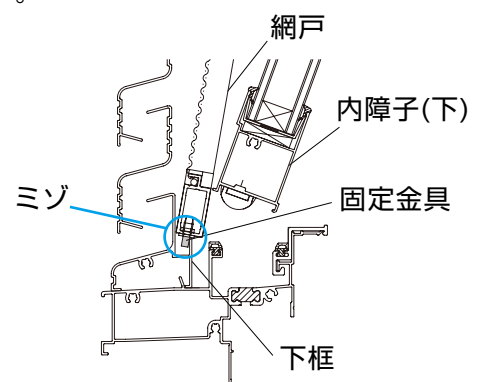
④網戸を室外側に倒し、斜め方向に持ち上げてはずす

取付け方

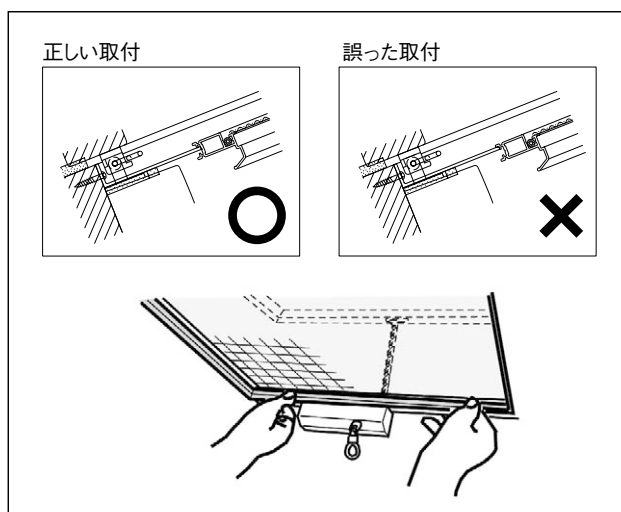
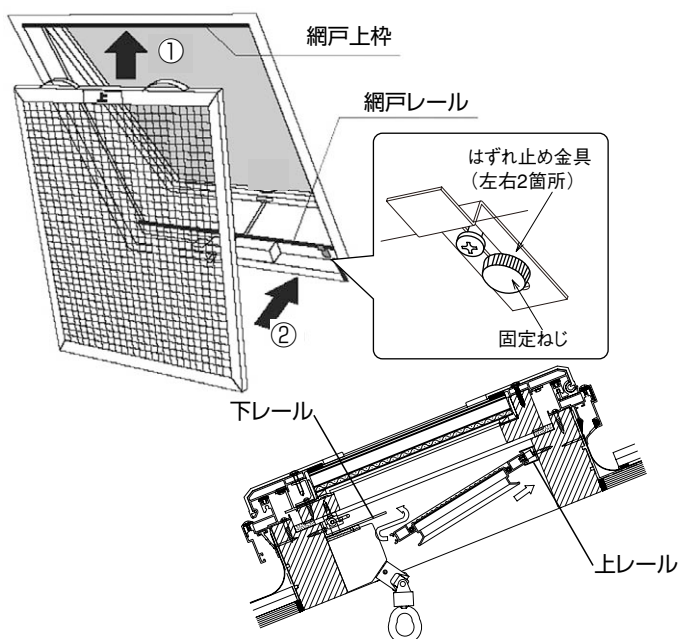
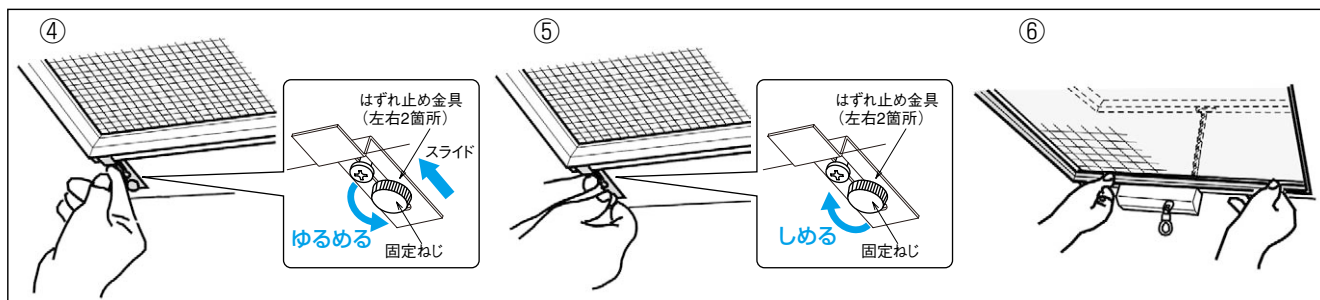
①網戸を下枠のミゾに入れる
②網戸を室外側に押す
③網戸が倒れないように押えながら、網戸固定ねじを2ヶ所しっかりしめる
④網戸を前後上下に軽く動かし、はずれがないことを必ず確認する

第4章 お手入れ方法【天窓】

● 網戸の取付け方・はずし方

⚠注 意

❗ 落下防止のため、はずれ止めを確実にかけ、網戸取付け後は網戸がはずれないことを必ず確認してください。はずれ止めが正しくかかっていないと、網戸がはずれて落下し、思わぬ事故につながるおそれがあります

・網戸脱着の際は、周囲に人がいないことを確認の上、安全に十分注意して行ってください。
・外部（屋根上）からは、網戸の取りはずし、取付けはできません。
・高所など手のとどかないところについている場合は、お取扱いの建築業者様、工務店様に作業をご依頼することをおすすめします。

取付け方　網戸取付けの際は、上表示ラベルが室内側上部になるように取付けてください。

①上レールのミゾに網戸上部を差込む
②網戸を上レール方向に押し上げながら、網戸下部のミゾを下レールに引っ掛ける
③網戸を軽く動かし、正しく取付いていることを確認する

④網戸レール両端に付いているはずれ止め金具の固定ねじを軽くゆるめ、網戸に軽く当たるまでスライドする
※はずれ止め金具の固定ねじははずさないでください。
⑤はずれ止め金具の固定ねじを、必ずしっかりしめる
⑥網戸を軽く動かし、はずれないことを確認する

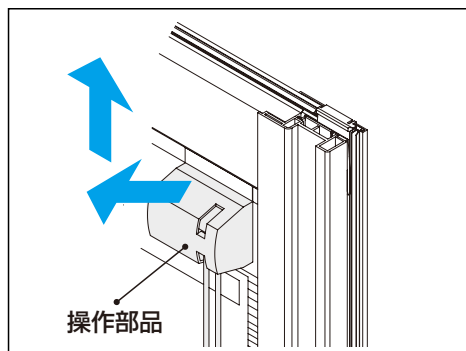
はずし方

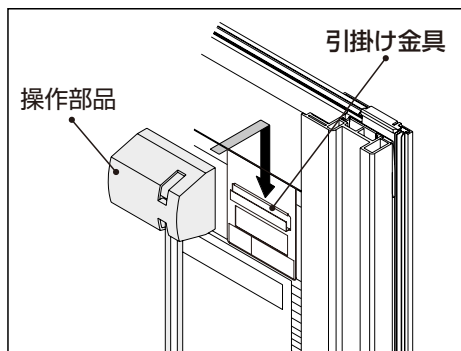
①網戸レール両端についているはずれ止め金具の固定ねじを軽くゆるめ、固定ねじに軽く当たるまでスライドする
※はずれ止め金具の固定ねじははずさないでください。
②はずれ止め金具の固定ねじをしめる
③網戸を両手で持ち、網戸を上レール方向に押し上げながら、網戸下部を下に引く
④上レールより網戸上部を抜く

● 操作部品のはずし方・取付け方

⚠ 警 告

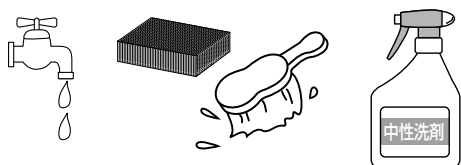
❗ ブラインド操作部品およびブラインド上部のボックスに強力な磁石が内臓されています。
ペースメーカー等の電子医療機器を付けた方が、操作部に近づいた場合、磁力の影響を受ける可能性がありますので医療機器の取扱説明書等で安全を確認してください。

・磁力の影響を受けやすい機器は操作部に近づけないでください。故障の原因になります。

はずし方

操作部品上部を少し手前に引き寄せて引掛け金具の出っ張りを避けながら、真上に引き上げる

取付け方

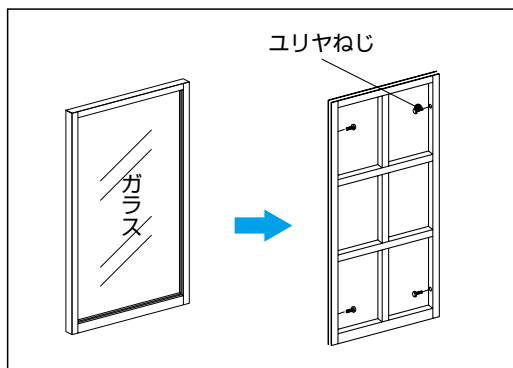
引掛け金具に引掛けて取付ける

※引っ掛りが浅いと部品が落下するおそれがあります。

● 操作ひものお手入れ方法

・操作ひもを柔らかいブラシやスポンジで水洗いする
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、十分洗い流します。

● 装飾格子のはずし方・取付け方

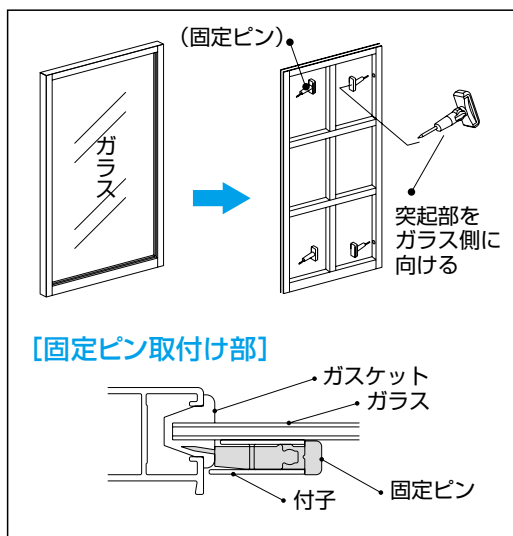
・作業を行う際は、装飾格子の落下に十分ご注意ください。
・固定ピンは、先がとがっていますので、取り扱いにはご注意ください。

■ねじタイプ

はずし方

①装飾格子を倒れないように軽く押さえる
②ユリアねじをはずす
※はずしたユリアねじをなくさないように注意してください。
③装飾格子をしっかり持ちはずす

取付け方

①装飾格子をガラス面内側に下枠側からはめ込む
②装飾格子にすべてのユリアねじをしっかりとめる
③装飾格子を前後上下に軽く動かし、はずれにことを確認する

■ピンタイプ

はずし方

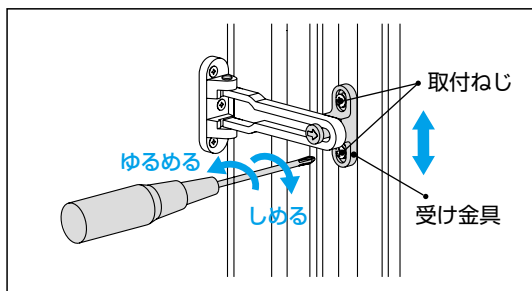
①装飾格子を倒れないように軽く押さえる
②固定ピンを抜く
※はずした固定ピンをなくさないように注意してください。
※固定ピンにはミゾがあるのでマイナスドライバーを使用
　すると簡単に抜けます。
③装飾格子をしっかり持ち、はずす

取付け方

①装飾格子をガラス面内側に下枠側からはめ込む
②固定ピンの突起部をガラス側に向けて、装飾格子にすべて
　の固定ピンをとめる
※単板ガラスと複層ガラスで取り付ける位置がかわります。
③装飾格子を前後上下に軽く動かし、はずれにことを確認する

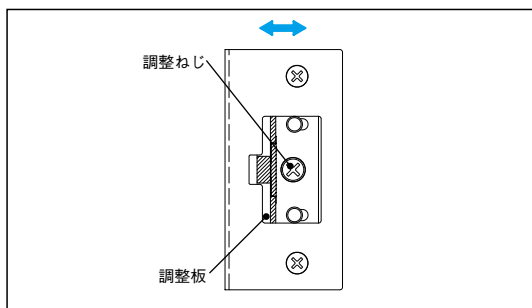
第4章 お手入れ方法【玄関ドア・勝手口ドア】

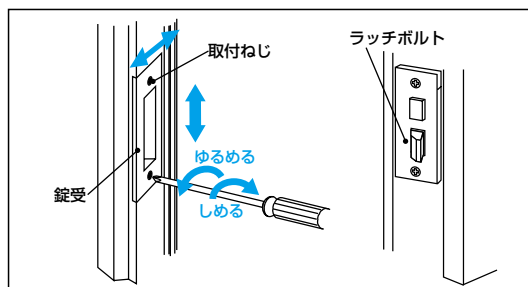
● ドアガードの調整方法

・ドアガードがかかりにくい場合

①取付ねじをゆるめる
※取付ねじを絶対にはずさないでください。
②受け金具を上下にスライドし調整する
③取付ねじをしっかりしめる

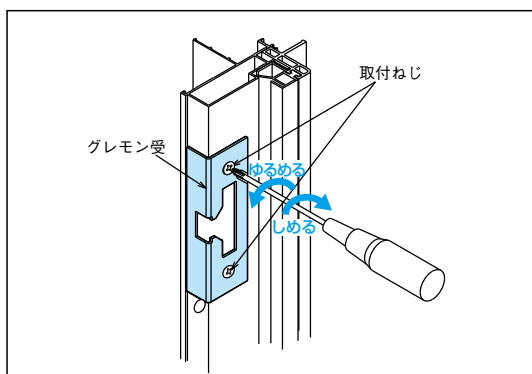
● ラッチ受、錠受の調整方法

・錠やラッチボルトがかかりにくい場合

■玄関ドア「ヴェナート」「プロント」

・調整ねじをまわし、調整板移動させて調整する
※1/8回転(45°)ごとに1mmきざみで調整ができます。

■その他の玄関ドア・勝手口ドア

①取付ねじをゆるめる
※取付ねじを絶対にはずさないでください。
②錠受を上下左右にスライドし調整する
③取付ねじをしっかりしめる

● グレモン受の調整方法

・グレモンのグレモンピンがかかりにくい場合

①取付ねじをゆるめる
※取付ねじを絶対にはずさないでください。
②グレモン受を上下にスライドし調整する
③取付ねじをしっかりしめる

● ドアクローザーの点検と調整方法

ドアクローザの付いたドアの開閉に異常を感じられた際、次のとおりドアクローザの点検と調整を行ってください。なお、ご自分での調整が難しい場合や、ご自分で調整しても不具合が改善されない場合はまずお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。

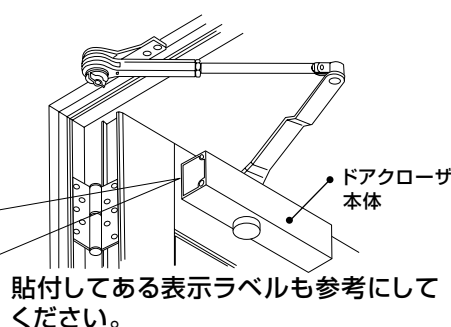
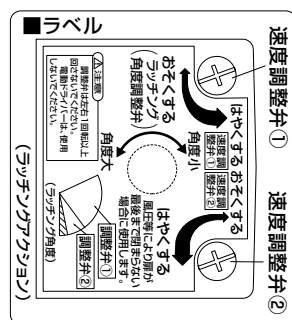
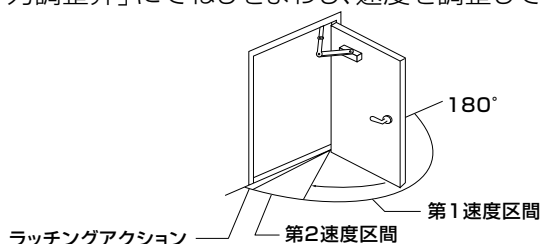
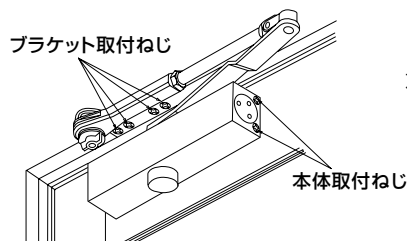
（現　　象）	（考えられる原因）	（点検箇所）	（対処方法）
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁（ねじ）	速度を調整してください。 1 へ
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油もれ	ドアクローザ本体	修理依頼が必要です。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れがつまってる	速度調整弁（ねじ）	速度を調整してください。 1 へ
閉じる際に「バタン」と大きな音がする	ねじの緩み	取付ねじ	取付けねじをしめ付けてください。 2 へ
	油もれ	ドアクローザ本体	修理依頼が必要です。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチングアクション（ねじ）	速度を調整してください。 1 へ
ドア開閉時のストップ位置が違う	ストップ装置ねじの緩み	ストップ装置	修理依頼が必要です。
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった	ねじの緩み	取付ねじ	取付けねじをしめ付けてください。 2 へ
	第1速度区間、第2速度区間の速度が合っていない	速度調整弁（ねじ）	速度を調整してください。 1 へ

1 速度調整の方法

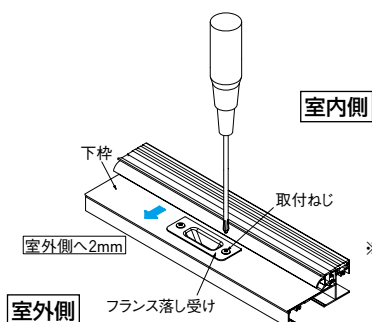
- 調整に必要な箇所以外のねじをゆるめたりしないでください。商品の不具合や思わぬケガの原因となります。
- 調整弁（ねじ）を回しすぎないでください。油もれをおこす可能性があります。
- ラッチングアクション区間の角度を必要以上に大きくしないでください。そのままの状態で使用しますと、指などをはさみケガをするおそれがあります。

※調整する場合は第1速度区間→第2速度区間→ラッチングアクションの順に調整してください。
※ラッチングアクションは、風が強くドアが閉まりきらない場合に、少しずつ調整してください。

第1速度区間は「速度調整弁①」にて、第2速度区画は「速度調整弁②」にてラッチングアクションは「ラッチング力調整弁」にてねじをまわし、速度を調整してください。

貼付してある表示ラベルも参考にしてください。

2 取付けねじのしめ付け方

本体取付ねじ、ブラケット取付ねじをドライバーでしっかりとしめ付けてください。

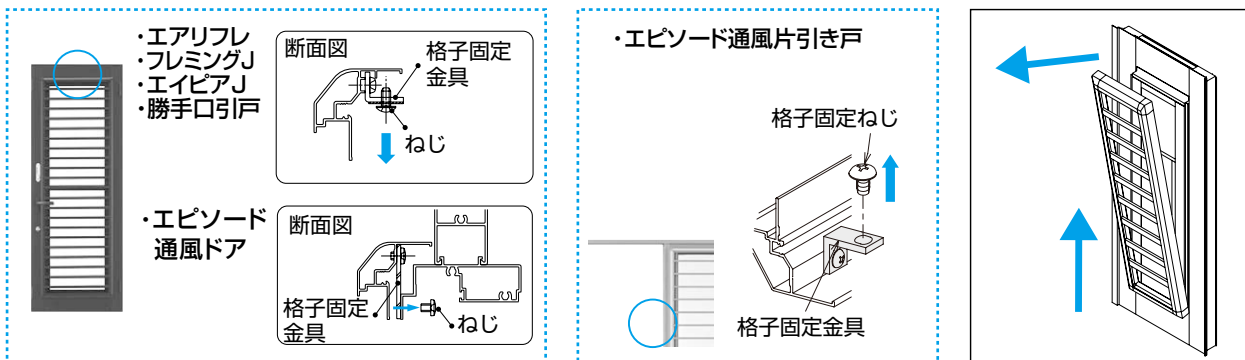
● フランス落し受の調整方法

※上下のフランス落し受の調整を行ってください。

※図は、フランス落し受け（下枠側）を示しています。
上枠側も同様の調整を行ってください。

・フランス落しがかかりにくい場合
①フランス落し受の取付ねじをゆるめる
※取付ねじを絶対にはずさないでください。
②フランス落し受を室外側へスライドさせる
③フランス落し受の取付ねじをしっかりしめる

・フランス落しのがたつきが大きい場合
①フランス落し受の取付ねじをゆるめる
※取付ねじを絶対にはずさないでください。
②フランス落し受を室内側へスライドさせる
③フランス落し受の取付ねじをしっかりしめる

● 通風タイプ格子のはずし方・取付け方

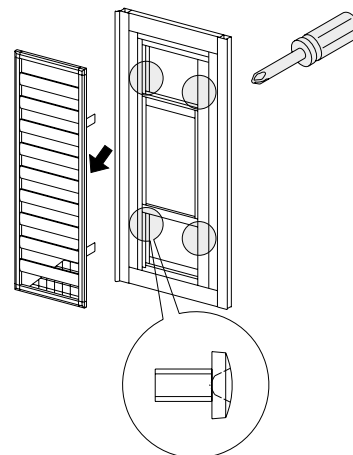
はずし方

①上げ下げ障子を開ける
②室内側よりすべての固定ねじをはずす
※はずした固定ねじをなくさないように注意してください。
③室外側より格子を1cmほど持ち上げ、手前に引く

取付け方

①室外側より格子の格子固定金具を上げ下げ障子に引っかけ、さげる
②室内側よりすべての固定ねじをしっかりしめる
③格子を軽くゆらし、はずれないことを確認する

■玄関ドア 「プロント 通風」

はずし方

①上げ下げ障子を開ける
②室内側から上げ下げ障子の上下2ヶ所の固定ねじをはずす
※はずした固定ねじをなくさないように注意してください。
※格子がはずれないように手で支えてください。
③室外側から手で支えながら、手前に引く

取付け方

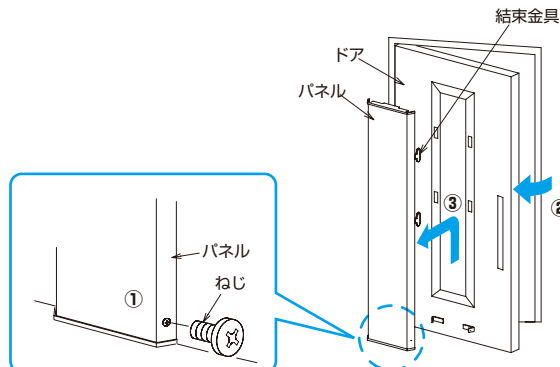
①室外側より格子を上げ下げ障子に取付ける
②室内側よりすべての固定ねじをしっかりしめる
※格子がはずれないように手で支えてください。
③格子を軽くゆらし、はずれないことを確認する

■玄関ドア 「ヴェナート」の網戸ネットのお手入れ方法

はずし方

①格子パネルのねじをはずす
②ドアを格子パネルが上枠に当たらない程度あける
※ドアを開けずに格子パネルを上げると上枠にぶつかります。
③格子パネルを持ち、1～2cmほど持ち上げ、手前に引く

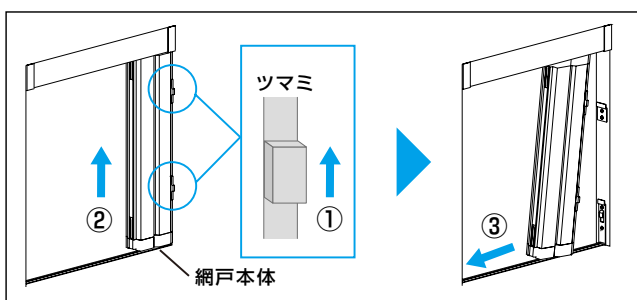
取付け方

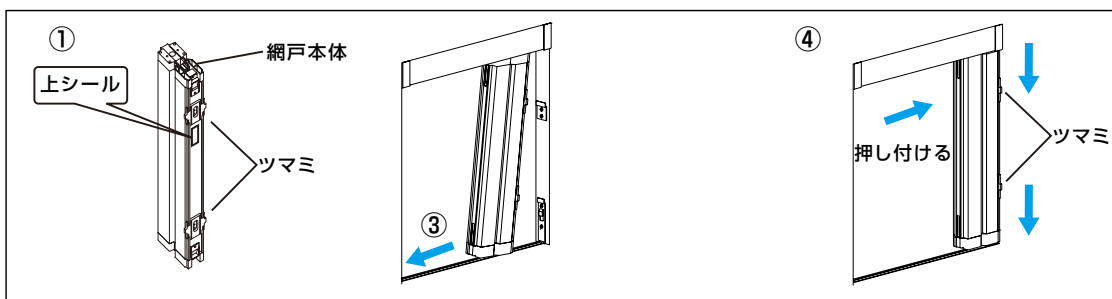
①格子を拘束金具をドアに引っかけ、さげる
②格子パネルの下部の固定ねじをしっかりしめる
③室外格子パネルを軽くゆらし、はずれないことを確認する

● 横引ロール網戸のお手入れ方法

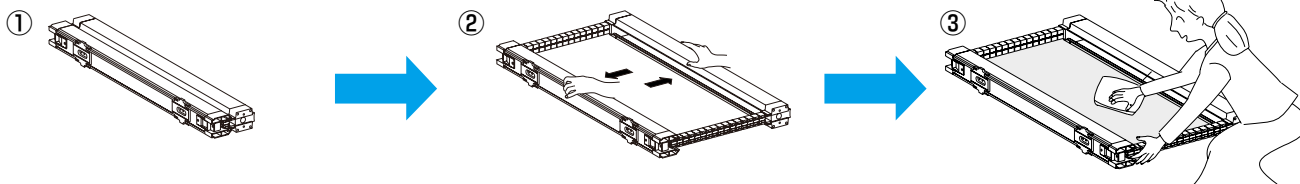
・たてすべり出し窓の横引きロール網戸のお手入れ方法と同じです。（P.60　参照）

● 横引ロール網戸（フラットタイプ）のお手入れ方法

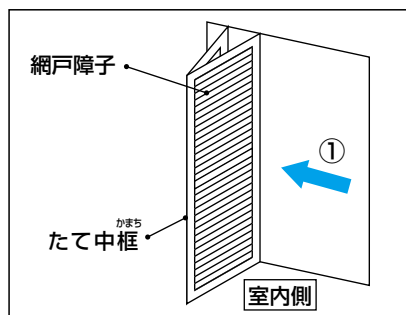
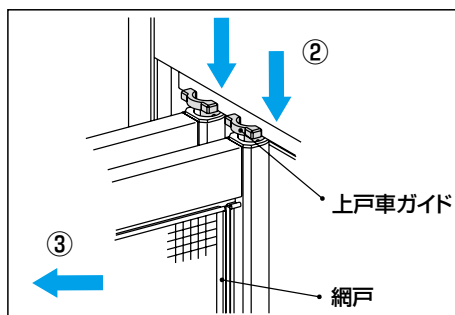
・網戸を完全に収納した状態で取りはずしをしてください。商品が破損するおそれがあります。
・下レールの周りに砂・ほこりなどが溜まりますと、使用上不具合が生じる可能性がありますので、こまめに取り除いてください。
・ネットがはずれる事がありますので、強風の際は網戸を使用しないでください。
・水洗い、浴槽などでの漬け込み洗いはしないでください。

はずし方

①ツマミを上にスライドさせ、ロックを解除する
②網戸本体を持ち上げる
③網戸本体を持ち上げた状態で、矢印の方向に動かし下レールからはずす

取付け方

①網戸本体をについている∮シールを上側にし、網戸の上下方向を合わせる
②網戸本体を上に持ち上げ、上枠レールに樹脂キャップミゾをはめる
③網戸本体を矢印の方向に動かし、下レールにタイヤをはめる
④網戸本体を矢印の方向に押し付けながら、ツマミを下にスライドし固定する
⑤網戸本体を数回開閉し、はずれず正常に動作することを確認する

・網戸本体のお手入れ方法

①網戸ネットを収納した状態で、平らな場所に置く
※地面等に置く場合は、網戸本体がキズ付かないようにシートなどを敷いてください。
②網戸本体を両手でしっかり持ち、まっすぐ平行にゆっくり広げる
※スライドレール端部の破損に注意してください。
③網戸（ネット部）のお手入れ方法（P.50参照）に従いお手入れする
※網戸内部に水が入ると故障の原因になりますので、水洗いはしないでください。
④網戸本体を両手でしっかり持ち、まっすぐ平行にゆっくりとじる

● 中折れ網戸のはずし方・取付け方

はずし方

①網戸を全開にする

②上部にある上戸車ガイドを指で下に押す
③指で押したまま、網戸を室内側へ倒す

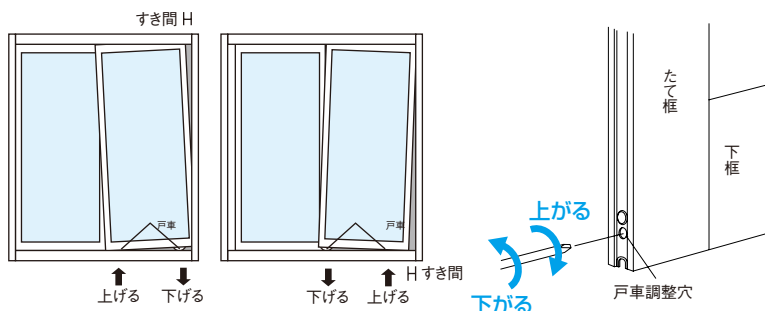
取付け方

・はずし方の逆の手順で行います。

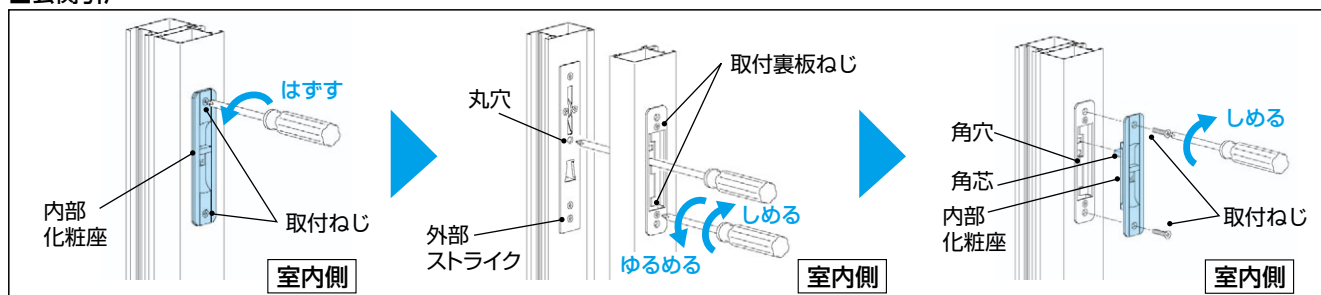
第4章 お手入れ方法【玄関引戸・土間引戸・勝手口引戸】

引戸を閉めても引戸がしっかり閉まらない場合など、戸車調整を行ってください。

・戸車（建付）の調整を行ったときは、召し合せ錠、戸先錠も調整してください。

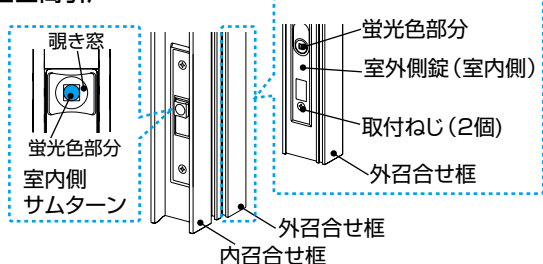
● 戸車（建付）の調整方法

・戸車調整穴にドライバーを差込み
　調整ねじをまわして調整する
※右にまわすと引戸は上がります
※左にまわすと引戸は下がります

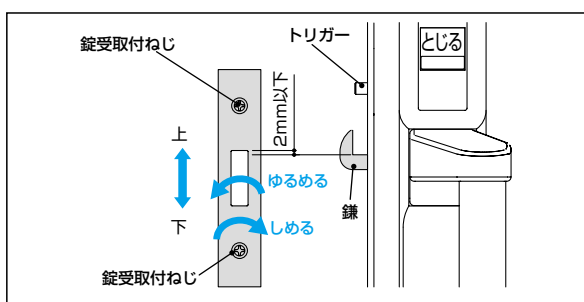
● 召し合わせ錠の調整方法

■玄関引戸

①取付ねじをはずし、内部化粧座を取りはずす
※はずした取付ねじをなくさないように注意してください。

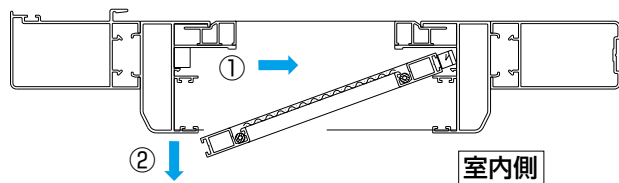
②取付裏板ねじをゆるめる
※取付裏板ねじは絶対はずさないでください。
③プラスドライバーを取付裏板の中央部を通して、外部ストライクの丸穴に差し込む
④差し込んだドライバーで水平・垂直を調整し、もう1本のドライバーで取付裏板ねじをしっかりしめる

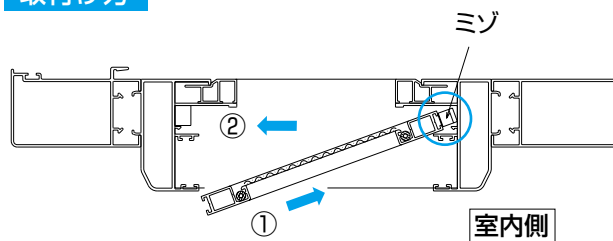
⑤差し込んだドライバーを引き抜く
⑥各穴に内部化粧座の角芯をあわせ、取付ねじをしっかりしめる
⑦召し合せ錠がかかることを確認する

■土間引戸

①サムターンを「開」にする
②室外側錠の取付ねじをゆるめる
※取付ねじは絶対はずさないでください。
③サムターンの中央の透明ののぞき窓をのぞき、外部の蛍光色部分がのぞき窓の中心になるように調整する
④蛍光色の部分が中心にあること確認し、取付ねじをしっかりしめる
⑤召し合せ錠がかかることを確認する

● 戸先錠の調整方法

①トリガーを押しながら、錠を「とじる」にする
※鎌が出ます。
②錠受取付ねじをゆるめる
※錠受取付ねじは絶対はずさないでください。
③鎌の位置を確認しながら、錠受を上下にスライドし調整する
④錠受取付ねじをしっかりしめる
⑤トリガーを押しながら、錠を「あける」にする
⑥引戸を閉めて、戸先錠がかかることを確認する

● 通風タイプ　網戸のはずし方・取付け方

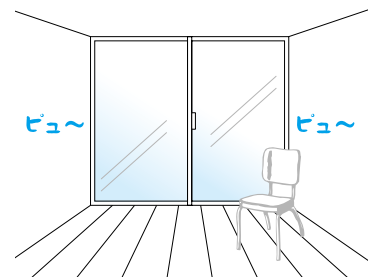
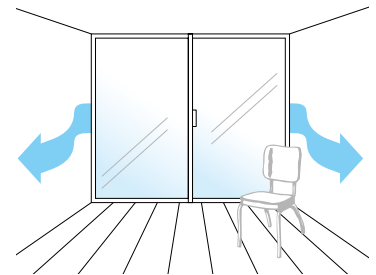
はずし方

①網戸の右側に押しつける
②網戸の室内側から室内側に引く

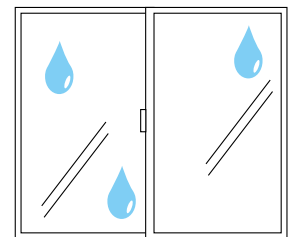
取付け方

①網戸の右側のミゾに入れる
②網戸の左側を室外側に押し、ミゾに入れる
③網戸を前後上下に軽く動かし、はずれないことを必ず確認する

第5章 知っていただきたい現象

日常生活の中で窓について『何かおかしいな･･･』と感じる現象が発生することがありますが、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。
お住まいの中で発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明していますので、暮らしの中でお役立てください。

● 窓を閉めきった時のすき間風について
● 強風時、換気扇使用時の笛鳴り現象について

窓を閉めた時、窓のすき間を防ぐためにパッキンなどの気密部品を取付けていますが、強風時や換気扇使用時には室外と室内に気圧の差が生じ、気密部品の接触部分から空気が出入りし、すき間風が発生することがあります。
また窓やドアを閉め切った状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されるため、笛鳴り現象が発生することがあります。
これらの現象は窓の構造上完全になくすことはできません。

● 結露について

結露とは、水蒸気を多く含んだ暖かい空気が、冷たいものの表面に触れることで冷やされ、空気中に含みきれなくなった水蒸気が、水滴となってガラスなどに付着する現象です。
これは自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。
結露が発生した場合は、凍結に至る場合もありますので、早めにふき取ってください。

結露の発生を抑えるポイント

①過度な過湿の防止
（室内の湿度の上限は60%程度までにコントロールする）
②換気の促進
③室温は適温に保つ
（冬20℃～23℃、夏25℃～28℃）
④空気の流れをよくする。

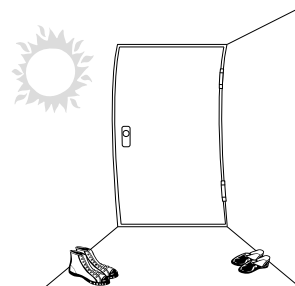
『脱･結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。
ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡をお願いいたします。（ 0120-72-4134）

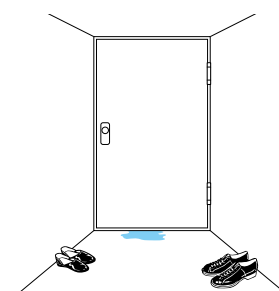
第5章 知っていただきたい現象

● 玄関ドアなどからの音鳴り現象について

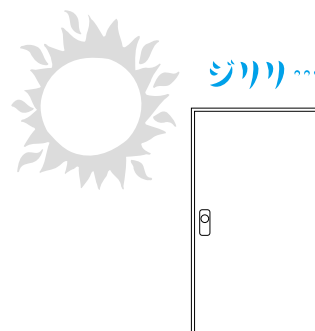
玄関ドア・引戸の特徴として、表面積が大きいために太陽光を直接受けて温度上昇が生じる室外側と太陽光を受けない室内側とで表面の温度差が生じやすく、この温度差に伴い室内外面にわずかなゆがみと、たて横・大小の構成部材間で異なる熱膨張とが重なって生じる摩擦により、異音が発生することがあります。これは気温・立地条件・季節・使用材料の特性などのちがいにより起きる不可抗力現象であり、玄関ドア・引戸の不具合によるものではなく、また必ず発生するものでもありません。
音は陽が高くなって外気温が上がったり、陽がかげったりすれば自然に止みます。

● 断熱ドア・引戸の熱反りについて

断熱ドア・引戸は室内外の温度を伝えにくい構造にしてあるため、日差しや室内外の温度差により、ドア・引戸本体室外側の面と、室内側の面で伸びる量に差が生じ、反りが発生する場合があります。
また立地条件、ひさしの形状により反り量は一定ではありませんが、一時的な現象であり、ドア本体の室外側と室内側の表面温度差が小さくなると元に戻ります。

● 玄関ドアなどからの雨水浸入について

強風雨時など、玄関ドア・引戸または勝手口ドア・引戸から雨水が浸入することがありますが、商品の不良ではありません。玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、濡れても問題ではなかったことなどから、居室に使用される窓と同等の水密性能は要求されていません。また、ドア・引戸の施錠機構は窓に採用されているような、枠と窓を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。

● 玄関ドア・引戸の表面温度について

商品をご使用中、ドア全体が熱くなることがありますが、これは玄関ドア本体に長時間直射日光があたり、表面温度が上昇することで発生します。ドアの表面やハンドル等で特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇しますので、直射日光が強い時間帯はヤケドをするおそれがありますので、開閉の際はご注意ください。

第5章 知っていただきたい現象

● 扉表面の白亜化現象（チョーキング）について

玄関ドア･玄関引戸などの扉表面材はカラー鋼板（表面に樹脂塗料を塗布し、意匠性を高めた鋼板）を使用しているものがあり、ご使用いただいている間に紫外線、風、熱、雨、など様々な環境要因によって少しずつ色や艶があせて、建物の外観に即した落ち着いた風合いになっていきます。更に永い期間が経過すると樹脂塗料の塗膜が劣化して白っぽいチョークの粉をふいたような状態になることがありますが、これは白亜化現象（チョーキング）と呼ばれている、カラー鋼板の特性による経年劣化です。
白亜化現象（チョーキング）は避けることが出来ないものですが、ドアの表面に付着した汚れを早めにお手入れをいただくことで、その経年劣化の進行を遅らせることは可能です。

● ガラスの熱割れについて

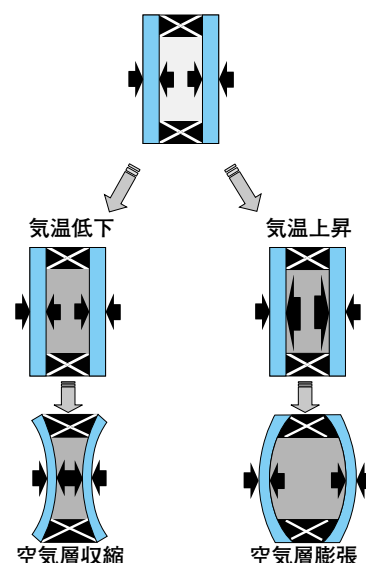
ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れることとなります。
この現象が「熱割れ」と呼ばれ、網入りガラスに多く見られる現象です。
ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント
①ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
②暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
③ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
④室内に熱だまりを作らない。

● 複層ガラスのゆがみについて

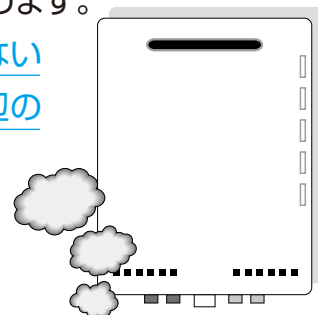
複層ガラス面に反射して写る映像がゆがんで見えることがありますが、複層ガラスの構造上さけられない現象となりますのでご了承ください。

複層ガラスの中間層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気が収縮したり膨張したりするために、ガラスが湾曲しガラスの表面に反射して写る映像がゆがんで見えます。特にLow-E複層ガラスでは反射率が高いためゆがみが目立つことがあります。

第5章 知っていただきたい現象

● ステンレスの錆について

ステンレスは表面に独自の保護皮膜が形成され、この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので錆が発生することがあります。
例えば「塩素系の洗剤がステンレス部品に付着した場合」・「海岸沿いなどの環境において塩分が付着した場合」などに錆が発生します。また、鉄くぎの錆がステンレス表面に付着した場合に発生する「もらい錆」と言われるものがあります。
錆は台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合表面にこすりキズがつくことは避けられません。「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行しステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。
一旦発生した錆は落とすことが難しいので、日頃から中性洗剤でこまめにお手入れをしてください。

● ガス給湯器などの排気ガスによる腐食ついて

アルミ製品の塗膜の剥がれなどの表面異常は、ガス給湯器などからの排気ガスが原因になっていることがあります。ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があり、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。これらの酸が塗膜表面に付着し、長期間のうちに塗膜自体を劣化させ、塗膜の下に浸入し、アルミと化学反応を起こすことによって塗膜剥がれなどの表面異常の原因となることがあります。
ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当らないようにご注意ください。
また、直接ではなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜の剥がれなどの表面異常が発生する場合があります。
排気口近辺にアルミ製品を設置する場合は、排気ガスが直接当らないようにしていただくか、こまめにお手入れしていただくとともに周辺の通気を確認した上でご使用をお願いいたします。

引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
施錠する際にクレセントがかかりにくくなった、またはかからない。	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていなかったり、取付ねじがゆるんでいる。	クレセント調整をしてください。本書P.51をご参照ください。
	戸車の高さがあっていない。	戸車調整をしてください。本書P.52をご参照ください。
	クレセント本体が動かない、クレセント受がまがってしまった。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
窓の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止めの位置が合っていない。	はずれ止め調整をしてください。本書P.55をご参照ください。
	下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。	清掃をしてください。本書P.50をご参照ください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	気密材の経年劣化により、ねじれたり、縮んだりしている。	
	枠と窓の部品（振れ止め、気密材）にこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり、柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を閉じ、施錠した状態で窓がガタガタする。	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていない。	クレセント調整をしてください。本書P.51をご参照ください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなどの不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	クレセント本体が動かない、クレセント受がまがってしまった。	
	振れ止め、気密材、戸当りなどが経年劣化により破損している。	
窓を閉じ、施錠した状態ですき間が見える。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。本書P.52をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていない。	クレセント調整をしてください。本書P.51をご参照ください。
	経年変化により鴨居が下がり、柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
窓を閉めて、施錠した状態ですきま風、ホコリなどが入る。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。本書P.52をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていない。	クレセント調整をしてください。本書P.51をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれたり、縮んだりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ねじ穴キャップのはずれている箇所がある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓の開閉時に異音がする。	下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。	清掃をしてください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	枠と窓の部品（振れ止め、気密材）にこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
下枠レール部分に雨水がたまり下枠からあふれるおそれがある。	水密性能を保持するために、下枠に水をためる構造にしている。	サッシの不具合によるものではありません。くわしくはサッシの水密性能について本書P.94をご参照ください。
	下枠レールにゴミがついている。	清掃をしてください。
	気密材が経年劣化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
窓を閉じ、施錠した状態で下枠部分から水しぶきが入る。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。本書P.52をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていない。	クレセント調整をしてください。本書P.51をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

第6章 困った時には

網　戸

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
網戸の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止めの位置調整が合っていない。	はずれ止め調整をしてください。本書P.56をご参照ください。
	戸車がレールに乗っていないなど網戸が正常に取り付けられていない。	網戸を一度はずして、取付けし直してください。本書P.56をご参照ください。
	下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。	清掃をしてください。
	網戸のすき間ふさぎ材と窓とのこすれが強すぎる。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	網戸が反っている。	
	上枠･下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
網戸がはずれる、または落下する。	はずれ止めの位置が合っていない。	はずれ止め調整をしてください。本書P.56をご参照ください。
	はずれ止めが破損している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
網戸を開け閉めする時に異音がする。	戸車がレールに乗っていないなど網戸が正常に取付けられていない。	網戸を一度はずして、取付けし直してください。本書P.56をご参照ください。
	下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。	清掃をしてください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	網戸のすき間ふさぎ材が経年劣化により、ねじれたり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	
	上枠･下枠レールにキズ、変形がある。	
窓を開け閉めすると網戸が一緒に動く。	網戸の反りで、網戸のすき間ふさぎ材と窓とのこすれが強すぎる。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

シャッター（手動タイプ）

※電動商品の場合は、専用取扱説明書（お施主様保存版）をご覧ください。

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
シャッターを開けることができない。	座板についている錠を施錠したまま操作している。	錠を解錠してから操作をしてください。本書P.10をご参照ください。
	シャッターが凍結している。（冬季）	解けてから操作をしてください。
	座板の解錠レバーの奥に砂･ホコリが詰まっている。	詰まっている砂･ホコリを掃除機で吸い出してから操作してください。本書P.58をご参照ください。
シャッターをスムーズに開け閉めできない。	シャッターボックス内、ガイドレール、スラットに異物がはさまっている。	異物を取除いてください。困難な場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、錆がある。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	スラットが片側によってずれている。	
	モヘヤが経年劣化によりすりへっている。	
シャッターを開け閉めすると異音がする。	シャッターボックス内、ガイドレール、スラットに異物がはさまっている。	異物を取除いてください。困難な場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、錆がある。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	スラットが片側によってずれている。	
	モヘヤが経年劣化によりすりへっている。	
施錠できない。	座板についている錠が破損している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
スラットが片寄り、シャッターボックスに収納されない。	スラットが左右均等に巻き取られていない。	シャッターを閉め、座板の中央付近を持ち、水平を保ちながら開けてください。

第6章 困った時には

雨　戸

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
施錠する際に錠がかかりにくくなった、またはかからない。	雨戸錠本体と受けの位置が合っていない	受けを調整してください。本書P.59をご参照ください。
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。本書P.59をご参照ください。
	雨戸錠本体と受けが破損している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
雨戸がスムーズに開け閉めできない。	はずれ止めの高さが合っていない。	はずれ止め調整をしてください。本書P.59をご参照ください。
	下枠レールにごみなどがついている。	清掃をしてください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	枠と窓の部品（振れ止め、気密材）にこすれがある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
全閉施錠した状態ですき間が見える。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。本書P.59をご参照ください。
	雨戸錠本体と受けの位置が合っていない。	受けを調整してください。本書P.59をご参照ください。
	経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
雨戸を開け閉めする時に異音がする。	下枠レールにごみなどがついている。	清掃をしてください。
	戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	枠と雨戸の部品（振れ止め、気密材）のこすれがある。	
	上枠、下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	

たてすべり出し窓・すべり出し窓

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
施錠時にロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ロック本体、受けが破損している。	
窓の開け閉めがスムーズにできない。	アーム部品に変形やすりへりが生じている	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ハンドルが破損している。	
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓を閉めて施錠した状態ですき間、ホコリなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を開け閉めする時に異音がする。	アーム部品、ハンドルに変形やすりへりが生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓が閉まらなくなった。	アーム部品が破損している	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ハンドルが破損している。	
窓を閉めて施錠した状態で、枠と障子の間から水しぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

第6章 困った時には

上げ下げ窓

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
施錠する際にクレセントがかかりにくくなった、またはかからない。	クレセント本体が動かない、クレセント受けが曲がってしまった。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	クレセント本体とクレセント受の位置が合っていない。	クレセント調整をしてください。本書P.64をご参照ください。
窓の開け閉めがスムーズにできない。	窓をお掃除モード(内倒し状態)からもとの状態にもどす際に、正しい位置に戻らない。	窓をもう一度お掃除モード(内倒し状態)にし、枠に組み込み直してください。本書P.64をご参照ください。
	窓を開け閉めする機構の調整が合っていない。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	枠と窓の部品(振れ止め、気密材)にこすれがある。	
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
お掃除モード(内倒し状態)ができない。またはもとの状態に戻せない。	お掃除モード用(内倒し用)部品が破損している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
窓を閉めて施錠した状態で窓がガタガタする。	クレセント本体が動かない、クレセント受が曲がってしまった。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	振れ止めの位置が合っていない、または破損している。	
	クレセント本体·クレセント受の取付ねじがゆるんでいる。	取付ねじをしっかり締めてください。
窓を閉めて施錠した状態ですき間、ホコリなどが入る。	クレセント本体が動かない、クレセント受がまがってしまった。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を開け閉めする時に異音がする。	内倒し状態からもとの状態にもどす際に、正しい位置に組み込まれていない。	窓をもう一度内倒し状態にし、枠に組み込み直してください。本書P.64をご参照ください。
	枠と窓の部品(振れ止め、気密材)にこすれがある。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を閉めて施錠した状態で、枠と窓の間から水しぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
バランサーの被覆チューブが割れる、はがれる。	経年変化(主に紫外線の影響)により、被覆チューブの劣化が発生している。	まず、お取扱いの建築業者様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

横引きロール網戸

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
網戸の開閉がスムーズにできない	巻き取りスピードが調整されていますか?	巻き取りスピードを調整してください。本書P.61をご参照ください。
	レールから網戸ネットがはずれていませんか?	レールの溝に網戸ネットを入れてください。本書P.61をご参照ください。
	可動桟の端部を持って開閉していませんか?	可動桟の中央を持って開閉してください。本書P.16をご参照ください。

上げ下げロール網戸

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
網戸の開閉がスムーズにできない	レールから網戸ネットがはずれていませんか?	レールの溝に網戸ネットを入れてください。本書P.62をご参照ください。

第6章 困った時には

オーニング窓

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
窓の開け閉めがスムーズにできなかったり閉まりきらない場合。	ロック本体と受けの位置が合っていない。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	オペレーター装置、ロック本体、受けが破損している。	
	アーム部品やオペレーター装置に変形やすりへりが生じている。	
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓を閉めた状態ですき間風、ホコリが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を開け閉めする時に異音がする。	アーム部品やオペレーター装置に変形やすりへりが生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓を閉めた状態で枠と窓の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

ガラスルーバー窓

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
窓のルーバー（ガラス）が閉まりきらない。	ルーバー（ガラス）の間に異物がはさまっている。	異物を取り除いてください。
	ルーバー（ガラス）ホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ルーバー（ガラス）ホルダーやオペレーター装置に変形やすりへりが生じている。	
ルーバー（ガラス）の開け閉めがスムーズにできない。	ルーバー（ガラス）ホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ルーバー（ガラス）ホルダーやオペレーター装置に変形やすりへりが生じている。	
窓を閉めた状態ですき間風、ホコリが入る。	ルーバー（ガラス）のシール材が経年変化により、はがれが生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を開け閉めする時に異音がする。	アーム部品やオペレーター装置に変形やすりへりが生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ルーバー（ガラス）ホルダーと枠の気密材が強くこすれている。	

内倒し窓

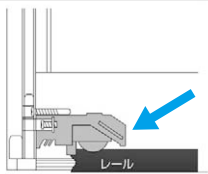
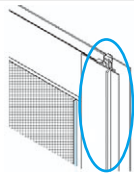
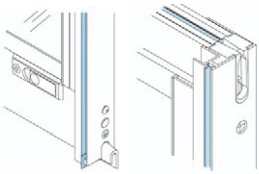
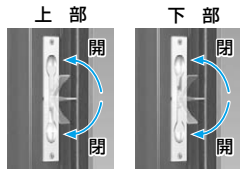
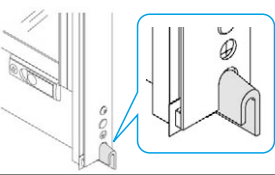
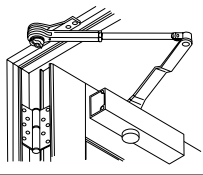
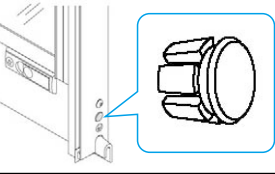
現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
ロック（ラッチ）がかかりにくくなった、またはかからない。	ロック（ラッチ）本体と受けの位置が合っていない。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	ロック（ラッチ）本体、受けが破損している。	
窓の開け閉めがスムーズにできない。	アーム部品に変形したりすりへったりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓を閉めた状態ですき間風、ホコリが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	
窓を開け閉めする時に異音がする。	アーム部品に変形やすりへりが生じている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	アーム部品に砂などの異物がついている。	清掃をしてください。
窓を閉めた状態で枠と窓の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれたり、縮んだり、ひび割れたり、ちぎれたりしている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。

アルミ製商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
アルミ商品表面などにつぶ状の汚れが浮き出てきた。	商品にゴミなどがついている。	清掃をしてください。本書P.47をご参照ください。
	ハウスクリーニング時に中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われた、またはその洗剤がついて商品が腐食した。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。日常のお手入れについてはアルミ製商品のお手入れ方法をご参照ください。
	窓・ドア枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入したモルタルが使用されていたため、商品が腐食した。	
	窓・ドア枠まわりの外壁、土間などのモルタルに急結材が使用されていたため、商品が腐食した。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスにより商品が腐食した。	
	ガス給湯器の排気ガスにより商品が腐食した。	
	海岸地帯のため、空気中に含まれる塩分がついたりして商品が腐食した。	
	工業地帯のため,大気中に含まれる腐食を誘発する成分がついたりして商品が腐食した。	

玄関ドア・勝手口ドア

現象・兆候	考えられる原因	対 処 方 法
ドアを閉じた状態でドアがガタガタする。	ラッチボルト、デットボルトと錠受の位置が合っていない。	錠受を調整してください。本書P.75をご参照ください。
ドアを開け閉めするとドアがグラグラする。	丁番取付ねじがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取付ねじを締めつけるとともに、併せて錠受を調整してください。本書P.75をご参照ください。
ドアを開け閉めするとドアが枠にこすれる、または当る。	丁番取付ねじがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取付ねじを締めつけるとともに、併せて錠受を調整してください。本書P.75をご参照ください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
ドアの開閉ができなくなった。	丁番・ピボットヒンジが破損している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	錠が破損している。	
	ハンドルの内部機構が破損している。	
ドアを開け閉めすると、きしみ音などの異音がする。	ドアクローザ取付ねじがゆるんでいる。	取付ねじを締めつけてください。本書P.76をご参照ください。
	ドアクローザから油が漏れている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	丁番・ピボットヒンジの軸部品部分が経年劣化によりすりへっている。	
キーの差し込みがスムーズに出来ない、または差し込んでもスムーズに操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	正規のキーで操作をしてください。
	鍵穴内部が凍結している場合があります。(冬季)	市販の凍結防止材・解氷材(スプレー式)をふきかけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	鍵穴内部に汚れ、ホコリがついている。	キー、鍵穴の清掃をしてください。本書P.50をご参照ください。それでも操作出来ない場合は錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	キーが変形している。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に新しく正規のキーを手配してください。
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	ラッチボルト、デットボルトと錠受・ラッチ受の位置が合っていない。	錠受・ラッチ受を調整してください。本書P.75をご参照ください。
	丁番取付ねじがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取付ねじを締めつけるとともに、併せて錠受を調整してください。本書P.75をご参照ください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
フランス落しが作動しにくくなった、または動かない。	フランス落しロッド棒の操作機構が錆びている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	フランス落しロッド棒が曲がっている。	
ドアの閉じる速度が変わった。	ドアクローザの調整速度がずれた。	ドアクローザ速度の調整をしてください。本書P.76をご参照ください。

第6章 困った時には

玄関引戸・勝手口引戸

<table>
<tr><th>現象・兆候</th><th>考えられる原因</th><th>対 処 方 法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">錠がかかりにくくなった、またはかからない。</td><td>錠と錠受の位置が合っていない。</td><td>錠と受の調整をしてください。本書P.80をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>戸車の高さが合っていない。</td><td>戸車を調整してください。本書P.80をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>錠が破損している。</td><td>まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">キーの差し込みがスムーズにできない、または差し込んでもスムーズに操作できない。</td><td>合鍵が正規のキーと一致していない。</td><td>正規のキーで操作をしてください。</td></tr>
<tr><td>鍵穴内部が凍結している場合があります（冬季）。</td><td>市販の凍結防止剤・解氷材（スプレー式）をふきかけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>鍵穴内部に汚れ、ホコリがついている。</td><td>キー、鍵穴の清掃をしてください。本書P.50をご参照ください。それでも操作出来ない場合は錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td>引戸の高さがあっていない。</td><td>戸車の調整をしてください。本書P.80をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>キーが変形している。</td><td>まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に新しく正規のキーを手配してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">引戸をスムーズに開け閉めできない。</td><td>戸車がレールに乗っていないなど、引戸が正常に取付けられていない。</td><td>引戸を一度はずして、取付けし直してください。</td></tr>
<tr><td>下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。</td><td>清掃をしてください。本書P.50をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>戸車にキズがついたり、すりへっている、など不具合が生じている。</td><td rowspan="4">まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td>振れ止めにキズ、すりへりなどが生じている。</td></tr>
<tr><td>上枠・下枠レールにキズ、変形がある。</td></tr>
<tr><td>経年変化により鴨居が下がり柱に傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">引戸を閉じた状態で枠と引戸の間にすき間がある。</td><td>戸車の高さが合っていない。</td><td>戸車調整をしてください。本書P.80をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>錠と錠受の位置が合っていない。</td><td>錠と受の調整をしてください。本書P.80をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>経年変化により鴨居が下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。</td><td>まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">引戸を開け閉めすると異音がする。</td><td>戸車がレールに乗っていないなど、引戸が正常に取付けられていない。</td><td>引戸を一度はずして、取付け直してください。</td></tr>
<tr><td>下枠レールにゴミなどがついている、またはたまっている。</td><td>清掃をしてください。本書P.50をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>戸車にキズがついたり、すりへっているなど不具合が生じている。</td><td rowspan="3">まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td>振れ止めにキズ、すりへりなどが生じている。</td></tr>
<tr><td>上枠・下枠レールにキズ、変形がある。</td></tr>
</table>

玄関引戸（引戸クローザ付きの場合）

<table>
<tr><th>現象・兆候</th><th>考えられる原因</th><th>対 処 方 法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">引戸の閉じる速度が変わった。</td><td>引戸クローザの速度調整がずれた。</td><td rowspan="2">まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td>引戸クローザの内部機構が経年劣化により破損した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">引戸が最後まで閉まりきらない。</td><td>戸車の高さが合っていない。</td><td rowspan="3">まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。</td></tr>
<tr><td>引戸クローザの閉じ位置調整がずれた。</td></tr>
<tr><td>引戸クローザの内部機構が経年劣化により破損した。</td></tr>
</table>

第6章 困った時には

用語集

用語	説明	用語	説明
戸 車	開け閉めをスムーズに行うために、窓･引戸･網戸の下部左右についているローラー部品。	網戸のすき間ふさぎ材	網戸と窓のすき間から虫などの侵入を抑えるために網戸に取付けられてる部品。
気密材	風の侵入、雨の浸入を抑えるため窓に取付けられているヒレ状のパッキン。	フランス落し	子扉を固定するためドアの上･下に取付けられた部品。
振れ止め	窓･引戸をスムーズに開け閉めするために取付けられている樹脂の部品。	ドアクローザ	ドアをゆっくりと閉める部品。
ねじ穴キャップ	窓を組立てる際に使ったねじ穴を隠すための樹脂部品。	引戸クローザ	引戸をゆっくりと閉める部品。

第7章 窓の性能

● 水密性能について…

・片引き窓、引違い窓、引違いテラス戸の下枠に雨水がたまることがあります。
これは一般的な窓の構造上、水密性能を保持するために必要なことであり、不具合ではありません。

●水密性能とは、屋内への雨水の浸入をどの程度防げるかを示す性能です。

・一般的に窓の水密性能はW-2、W-3、W-4などJIS等級で表示しています。

・W-4等級とは、1時間あたり240mmの降雨時に風速23m/S程度の風が吹いても窓からの雨水浸入がない性能です。

● 気密性能について

●気密性能とは、窓のすき間からどの程度の空気の出入りがあるかを示す性能です。

・一般的に窓の気密性能はA-2、A-3、A-4などJIS等級で表示しています。

・A-4等級とは、風速4m/S程度の風（木の葉や小枝が休みなく動く程度の強さ）が窓の正面に当たっている時に、窓表面1m²あたり1時間に2m³以下の空気が出入りする性能です。窓のすき間から出入りする空気の量が少ない方が性能が良いということになります。

● 耐風圧性能について

・耐風圧性能は、窓に風圧が均一に加わることを想定しているため、飛来物などである箇所に集中的に力が加わった場合は窓が破損することもあります。

●耐風圧性能とは、強風など内外からの力に対してどの程度耐えられるかを表す性能です。

・一般的に窓の耐風圧性能はS-1、S-2、S-3などJIS等級で表示しています。

・S-3等級とは、風速50m/S程度の風が窓の正面に当たっても窓が破損しない性能です。

※風が強い時に、窓の中央が風でおされて変形しますが風がおさまった時には、元の状態に戻ります。

第7章 窓の性能

● 遮音性能について…

・遮音性能は、ガラスの厚さによって変わりますので、指定の厚さ未満のガラスを使用すると本来の性能がでないことになります。
・室内の騒音レベルを低くする簡単な対策として、室内に厚地のカーテンやじゅうたんなど、吸音効果のあるものを使用すると効果的です。

●遮音性能とは、屋内・外への音の出入りをどの程度遮ることができるかを示す性能です。

・一般的に窓の遮音性能はT-1、T-2などJIS等級で表示しています。

・T-2等級とは、外の騒音などが80ホンあった場合、室内ではおおよそ50ホン以下になる性能です。

※これはあくまで基準としての窓の性能であり、お住まいで実測する数値とは異なります。

● 断熱性能について…

●断熱性能とは、屋内の熱移動をどれくらい抑えることができるかを示す性能です。

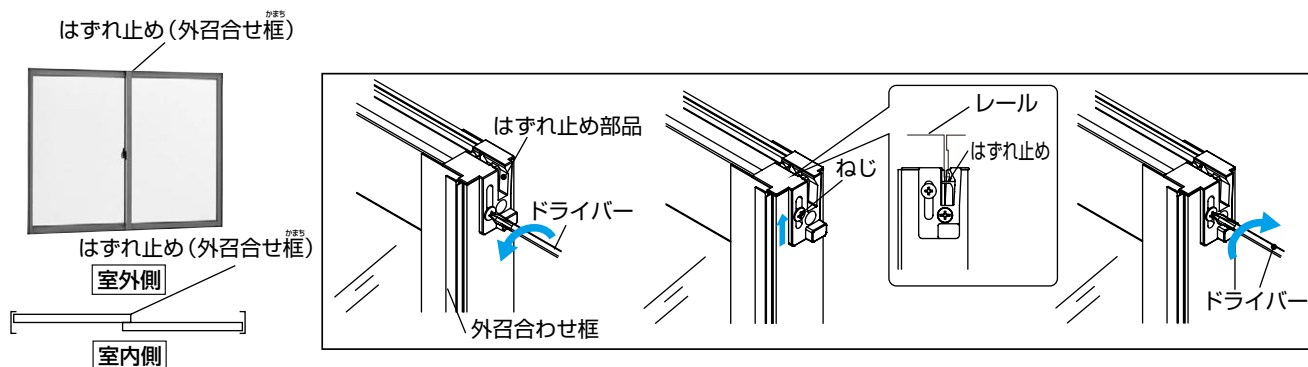
・一般的に窓の断熱性能はH-1、H-2、H-3、H-4、H-5などJIS等級で表示しています。

第8章 安全に関するポイント

けがの防止

ドア・窓などは日常、何気なく使用していると思いますが、ちょっとの不注意がけがにつながることがあります。日常生活の中で注意していただきたいポイントを以下に紹介しますので、家庭内でのけが防止の参考にしてください。

●窓・出窓についての注意

・お手入れなどのためにガラス窓をはずした後、再び窓枠に取付けた時は、表示ラベルに従って**はずれ止め部品を必ずかけてください。**
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス窓が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

・窓のそばを通るときは、開いている窓にご注意ください。
開いている窓にぶつかり、けがや窓の破損につながるおそれがあります。

・地板には人が乗ったり、重い物を載せないでください。
出窓の破損や転落事故につながるおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

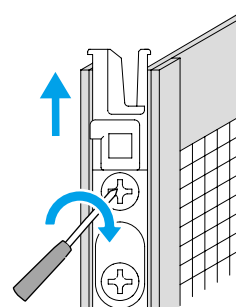
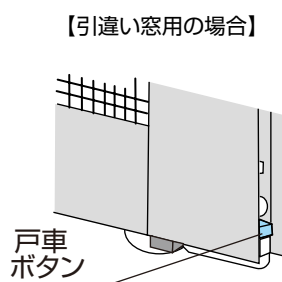
・出窓の屋根に乗ったり、はしごをかけたりしないでください。
無理な重さをかけると、変形したり、転落によりけがをするおそれがあります。

・シャッターを閉める際は、開閉位置に手や足を出さないでください。また周りに人や物がないことを確認してください。手や足をはさまれけがをしたり、物がはさまり破損や故障の原因となるおそれがあります。

第8章 安全に関するポイント

・強風雨時にはシャッターだけではなく内側の窓も閉めて、必ず施錠してください。シャッターの破損による事故や漏水につながります。
・窓用シャッターの使用を続けていると、部品の摩耗や劣化により開閉異常が生じることがあります。継続的にご使用していただくために、定期的な点検をお願いします。

・お手入れなどのため網戸をはずした後、再び網戸を取付ける時は、表示ラベルに従ってはずれ止め部品などを必ずかけてください。
また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

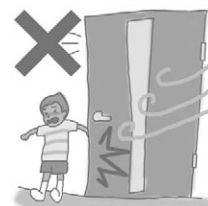
【引違い窓用の場合】

●ドア開閉時の注意

・ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。
指をはさんで大けがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

・ドアの開閉時に、扉の下端部に足があたらないようにしてください。
足を挟んでけがをするおそれがあります。
特にお子様やサンダル履きでの開閉の際にはご注意ください。

・ドアの開閉にあたっては必ずドアハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉ったとき、ドアと枠の間で指をはさみ思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

・風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

第8章 安全に関するポイント

● 引戸開閉時のご注意

・引戸の開閉時には、引戸のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

・引戸の開閉にあたっては必ず引手を持って操作してください。

● 折れ戸開閉時のご注意

・折れ戸の開閉にあたっては、扉どうしのすき間や扉と枠のすき間に手を置かないでください。扉を折りたたむ時に、扉と扉の間にすき間が生じ、このすき間に指をはさんだまま扉を閉めると大きなけがにつながるおそれがあります。
乳幼児が単独で操作を行わないよう、また乳幼児が近くにいる時の扉の開閉に十分ご注意ください。

● フラワーボックスについての注意

・フラワーボックスには絶対のらないでください。無理な重さをかけると、落下・転落につながるおそれがあります。
また厳しい自然環境にさらされる場合、経年劣化により腐食が促進されるおそれがあります。
（特に、格子などを接続しているリベットは、定期的な点検をお願いします。）

● 窓手すりについての注意

・窓手すりには、身を乗り出すなど無理な力をかけないでください。落下・転落につながるおそれがあります。
また厳しい自然環境にさらされる場合、経年劣化により腐食が促進されるおそれがあります。
（特に、格子などを接続しているリベットは、定期的な点検をお願いします。）

第9章 保守点検

保守点検について

長期間、製品をご使用になりますと、いろいろな不具合が発生します。そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。そうなる前に、保守点検をお願いします。下記の項目についてお手入れの時に点検してください。特に、エクステリア商品は、風雨にさらされておりますので、台風や暴風雨後の点検をお願いします。もし、不具合がありましたら、まずお取扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

また点検の際、雨樋部のあるものは、ごみや落ち葉などをきれいに清掃しておきましょう。ごみや落ち葉などが詰まっていますと雨水が雨樋部よりあふれ出ることがあります。（お手入れ方法についてはP.26をご覧ください。）

共通点検項目

・商品のねじ部品がはずれたり、ゆるんでいないか。
・商品の各部が腐食していないか。

バルコニー・ハンドレール

・笠木を手でゆすると、たて枠と外壁との取付部などがグラグラしないか。
・手すり子(パネル)がはずれていないか。
・バルコニーの床材(デッキ材)が破損していないか。

バルコニー屋根・テラス屋根・外部収納・囲い商品

・屋根ふき材がはずれていないか。
・屋根ふき材が破損していないか。
・商品に付いている端部キャップがはずれていないか。

目隠し

・ルーバーがスムーズに動くか。
・目隠しの各部が破損していないか。

フラワーボックス

・格子が折れ曲がり、すき間か広がっていないか。
・格子がはずれていないか。
・フラワーボックスを手でゆするとグラグラしないか。

手すり

・手すり子が折れ曲がり、すき間か広がっていないか。
・手すり子がはずれていないか。
・窓手すりを手でゆするとグラグラしないか。

第10章 商品の保証について

商品の保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に修理をご依頼ください。

■対象商品

□一般住宅用建材商品

■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）。
ただし、商品からの雨水浸入については10年間。
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠をこえて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出したりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）またはこれに伴うさび、かびまたはその他の不具合
⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑥商品または部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合・キクイムシなどによる虫害
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問合せください。
*この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

※補修用部品の供給期間について
補修用部品（機能を維持するために必要な部品・互換性のある部品を含む）の最低供給期間は、当社における商品の販売完了後10年間です。ただし、10年に満たない場合でも、補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますので、ご了承ください。

第10章 商品の保証について

複層ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料保証を行うことをお約束するものです。保証期間中に保証性能項目に関する不具合が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、販売店様、または当社お客様相談室にご相談ください。

■複層ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間（製造後）	免責事項（保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
Low-E複層ガラス 複層ガラス アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ペアハートシルキー	複層ガラスの内部結露（ガラスとガラスの間の中空層内部での結露）が発生しないこと	10年	・複層ガラスを構成する板ガラスに亀裂または破損が生じている場合 ・海抜1,000 m 以上での使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※
アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ペアハートシルキー	アタッチメント・格子・ブラインドの変色が目立たないこと	2年	
ペアハートシルキー	内部ブラインドの昇降・開閉に不具合がないこと	2年	・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・海抜1,000m 以上での使用に関して、事前に打ち合せがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※

※商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、及び製造年月等を確認致します。

■熱処理ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間（製造後）	免責事項（保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
強化ガラス 耐熱強化ガラス	自然破損しないこと※1	10年	・必要な強度検討がなされずに破損した場合 ・ガラス表面に付いたキズが成長して破損した場合 ・特に強い外力の衝撃が加わった場合 ・破損したガラス片を回収、調査した結果、破損原因となる不純物が検出されなかった場合 ・ガラスが脱落しにくい施工方法や強化合わせガラスを採用するなど破損落下、飛散防止の対応を講じていないことにより発生した人体及び器物への損害賠償 ・ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※

※商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、及び製造年月等を確認致します。
※1）自然破損とはガラス中に存在する不純物による、外から力が加わっていない状態での不意の破損を指します。
　　現在の技術では自然破損を無くすことができないことをご理解ください。

■複層ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

①当社標準施工法および取扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合
②使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
（ガラス表面にフィルムやポスター等を貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます）
③火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
④事前のお打ち合せで商品保証の対象外であることをご了承頂いている場合
⑤実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合
⑥熱割れ、自爆などのガラスの破損
⑦板硝子協会・（社）日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取合いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

■保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合は、免責事項に該当する場合を除き、代替品（不具合が生じた当社製複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料支給致します。（交換費用、及び不具合による2次的災害の費用は保証の対象外とさせて頂きます。）

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問合せください。
*この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

お客様メモ

■お問い合せなどのために、記入しておくと便利です。

お引き渡し日 （または入居日）	年　　　月　　　日
工務店・建築会社	社名 TEL　　－　　－
販売店	社名 TEL　　－　　－
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみ、扉のがたつきなどの不具合が発生することがあります。
そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。
対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様にご相談ください。

メモ

YKK AP株式会社

●表示内容は2012年2月現在のものです。
●改良のため予告なく商品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本紙上で使用する「コンコード」、「エピソード」、「エアリフレ」、「エイビア」、「ハーフロック」、「ヴェナート」、「プロント」、「デュガード」、「ジュオン」、「れん樹」、「冴」、は YKK AP（株）の出願・登録商標です。
●発行／2012年2月（1版）① Printed in Japan

商品に関するご相談、お問い合せは
お客様相談室

携帯・PHSからは
0570-07-4134（有料）
受付時間　月～土 9:00～17:00
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

●お問い合せ、ご用命は……

ホームページ www.ykkap.co.jp/

NO XAAAE H11-001-1